(1次評価調書)

1. 事業内容

事務事業名	びほろの活力共創事業	課・グループ名 町民活動課町民活動グループ				町民活動グループ				
于初于木石	いはりの石乃六尚事未	1	評価者名	町月	是生活部 县	長 関 弘法				
総 基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり		款	02	総務費					
総	O 1 町民との協働によるまちづくり	予算	項	01	総務管	理費				
	02 まちづくり活動の促進	科	目	08	住民活	動推進費				
画 施策(小)	03 まちづくり活動への反映を意識した研修の実施	B	大事業	01		動推進事業				
事業期間	終期未定		中事業	06	びほろ	の活力共創事業				
要求区分	継続 <mark>町長重点政策</mark> -									
根拠法令等	びほろの活力共創事業補助金交付要綱			経費	区分	政策的経費				
事業概要	地域課題の解決や地域の活性化に向けて、町民団体が企画、実施す 会の実現、地域コミュニティの活性化を図る。	る事	業に対し	補助金	を交付	し、活力ある地域社				
事業目的	地域コミュニティ活性化や活力ある地域社会をめざす。									
事業の対象	自治会、NPO法人、その他3人以上の町民団体。									
実施結果	【実施結果】 町民団体から提案があった事業について補助金を交付し、提案事業に	より	地域コミニ	ュニテ	ィの活	性化が図られた。				
現状と課題	【現状と課題】 制度の周知を図り、町の活性化に資する事業を共創により実施するた	め制	度活用の排	 推進か	 i必要。 					
事業進捗度	3 一部で予定どおり進ん									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

		令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費	(千円	1, 311	592	2, 300	499	2, 400	2, 400
国支出金		0	0	0	0	0	0
道支出金		0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0
その他		1, 311	592	1, 800	400	1, 800	0
一般財源		0	0	500	99	600	2, 400
人件費	(千円	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費	千円) (人工	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	(千円	1, 311	592	2, 300	499	2, 400	2, 400

(見込値)

J. n	ГІЩ	指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度			
指	補助	交付件数		目標	件		9	9	5	5	5			
指標				実績	件		5	4	1					
1				達成率	%		55. 56	44. 44	20					
塢				目標										
指 標				実績										
2				達成率	%									
指				目標										
指 標 3				実績										
3				達成率	%									
	項目		評価の視点		部	平価			理由					
	亚亚	/	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	<u> 12</u>	妥当 団体等から提案される事業計画等について、				:ついて、町の	活性化を図り広			
	妥当性うかを評価する。				3	T =	く町氏	に還元され波	及効果もある事	業を決定して	おり妥当。			
	有効性	性	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	並	通	地域問	題の解決、地	域活性化のため	の事業であり	、新規事業は審			
	'H WIT		評価する。			1.00	査にま	いて認定して	おり有効性が高	いものを選別	ものを選別できている。			
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	栺	討	補助金	⋭が減額となる□	中でも継続して	きており、町	「の活性化を図る			
	797-1		費は適正かを評価する。				効果は	は図られている:	が、事業後の検	証が必要な場	合もある。			
			- ,,,,,,	現状維持		縮小	0	11-22 //			評価結果			
		事業	対象となる事業につい				本が制度	に則した事業で	であるか判断し	やすい	HI IMARKI			
次年 取組	~	尹未	ような情報提供をし、	・事業の採掘	尺を凶	る 。								
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	皆減			TO 15 6# 14			
善内			制度の周知を図り、時								現状維持			
ш.,	_	予算	より実施するため予算			0 1 1/2	_ / (/4), -	予算反映額	<u> </u>	千円				
								(概 算)						
슾	後の改	盖占	応募者が制度に則した						な制度の説明、	周知を図り、	制度の目的の達			
7	EX VV UX	C D M	成、事業効果が得られ	れるよう、#	引度活.	用を広ぬ	りていく	0						

1. 事業内容

事務事業名	コミュニティ活動促進事業	課・グループ名	町民活動課	町民活動グループ
争伤争未有	コミユーノイ心到促進争未	評価者名	町民生活部	長 関 弘法
※ 基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり	款	02 総務費	Ę
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	O 1 町民との協働によるまちづくり	_予 項	01 総務管	
	03 コミュニティ活動の促進	_ 料 目		5動推進費
画 施策(小)	01 コミュニティ組織や人材の育成と組織の活動支援	大事業 大事業		5動推進事業
事業期間	終期未定	中事業	03 コミニ	ュニティ活動促進事
要求区分	<mark>継続 町長重点政策</mark> C)		
根拠法令等	美幌町自治会活動運営等補助金交付要綱美幌町自治会連合会等運営補	助金交付要	経費区分	政策的経費
事業概要	自治会連合会及び単位自治会(66地区)への補助を行い自治会活動の品等を整備することにより活動しやすい環境を整備する。(1)自治会活動に係る消耗品費(2)行事用備品の業務委託料(3)自治会に係る補助金	の推進を図るる	とともに、活	動時に必要となる備
事業目的	地域コミュニティの活性化や活力ある地域社会を目指して、地域自治:	会活動の育成技	推進を図る	
事業の対象	自治会連合会・単位自治会			
実施結果	【実施結果】 自治会への補助金交付や事業協力及び人的支援を行う			
現状と課題	【現状と課題】 単位自治会の活動の減少や解散が出ていることから、自治会連合会へ 区連絡協議会の活動の推進が必要。	の支援によりE	ョ治会活動の	#持・活性化や、地 # 持・活性化や、地
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
릨	事業費(千円)		9, 725	7, 164	7, 221	6, 930	7, 408	7, 408	
	国支出金			0	0	0	0	0	0
	道支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			2, 132	671	2, 663	2, 663	2, 668	0
	一般財源			7, 593	6, 493	4, 558	4, 267	4, 740	7, 408
	件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	十(事業費+人件費)		(千円)	9, 725	7, 164	7, 221	6, 930	7, 408	7, 408

(見込値)

3. 評	価												
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	度	令和08年度	
指	自治:	会連合会	:三役会・理事会開催	目標	回		15	15	15		15	15	
指 標	回数			実績	回		19	13	15				
1	(H3	1年度ま	で:町内の全自治会	達成率	%	1	26. 67	86. 67	100				
指				目標									
指 標 2				実績									
2				達成率	%								
指標				目標									
標				実績									
3				達成率	%								
	項目		評価の視点		評	F価	理由						
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきか うかを評価する。					半当	│ 地域コミュニティの核となる自治会を支援することは妥当。 │						
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高	ら で い	地域コミュニティに関する支援であるため、有効性は高い。					は高い。	
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	ら ら い	自治会	きでの事業につい	いては対象者が	身近であり	波及	及効果も高い。	
			0 1/2/0	現状維持		縮小	С				-	平価結果	
		古光	自治会活動の継続のフ	とめ引き続き	き各自	治会への	の補助金	を交付。					
次年度 取組 <i>σ</i>	力方	事業											
向性・				現状維持	_	縮小	C	皆減 皆減			Ŧ	見状維持	
善内容	\$	予算	自治会活動の維持・組織	継続のため₹	予算額:	を維持		予算反映額(概 算)	0	千円	-	1 and	
今征	多の改	善点	地区連絡協議会の活動 活動に不可欠な会員(

1. 事業内容

事務事業名	ボランティア活動支援事業	課	・グループ名	社会	≩福祉課]	民生障がい福祉	グループ
尹仍尹未石	パノンティテム到又版事 未	į	評価者名	福礼	上部長 音	吉田善一	
※ 基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり		款	XX			
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	O 1 町民との協働によるまちづくり	予	項	XX			
計 施策(中)	03 コミュニティ活動の促進	算科	目	XX			
画 施策(小)	01 コミュニティ組織や人材の育成と組織の活動支援	目	大事業	XX	ボラン	/ティア活動支	援事
事業期間	終期未定 令和3年度 ~ 令和8年度		中事業	00			
要求区分	継続						
根拠法令等				経費	区分	政策的紀	E費
事業概要	ボランティア人材の発掘と育成を推進するため、社会福祉協議会が実施 美幌町ボランティアセンターに登録した個人・団体が、社会福祉協議会 、ボランティアポイントを付与する。付与されたポイントを景品に交換	会で	認定した社	t会活	動等に	参加・従事し	た場合
事業目的	ボランティア人材の発掘と育成						
事業の対象	町民						
実施結果	【実施結果】 登録ボランティア数が前年度から横ばいで減少とはならなかったが新す	見参	加の発掘が	が必要	である	0	
現状と課題	【現状と課題】 恒常的な参加者の確保と制度の周知による新規参加の発掘						
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況						

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	221	343	397	351	384	384
国支出金	-	_	0	0	0	0
道支出金	_	_	0	0	0	0
地方債	-	_	0	0	0	0
その他	_	_	0	0	0	0
一般財源	221	343	397	351	384	384
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)(千円)	221	343	397	351	384	384
<u>-</u>						(目3.体)

(見込値)

	ГІШ	指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07	年度	令和08年度	
指	ボラ	ンティア	参加人数	目標	人		200	250	270		275	280	
指 標				実績	人		200	233	231				
1				達成率	%		100	93. 2	85. 6				
指				目標									
指 標 2				実績									
2				達成率	%								
指				目標									
指 標 3				実績									
3				達成率	%								
	項目		評価の視点		評	F 価			理由				
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で			今やるべきかど	12	妥当 今後の地域活動の支え手となるポ			え手となるボラ	ンティア	7を発掘	屈・育成するた	
	妥当性 うかを評価する。				3		めにも	必要である。					
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	į	۲U.						丿、ポイント制	
	ונא דו		評価する。		Į=	10.					ーションも維持される。		
	効率性	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	戸	らい		₹景品でないが、	、登録者増との	成果が出	けており	り、経費は適正	
	293 1		費は適正かを評価する。			-	である						
			0 11570	現状維持		縮小	0	71-20-00-			Ī	评価結果	
		事業	現在、地域の"ささ									T IM THE STA	
次年		尹禾	景品と交換することが		ランテ	ィアボイ	(ント事	業(美幌町社会	会福祉協議会が	実施)			
取組(の支援を行っている。 ○ 拡充	現状維持	0	タタ 小	0) 皆減					
向性・改									Į	見状維持			
一百 P 3 4	F	予算	っぱのホランティテラ にも、今後も継続し ⁻					予算反映額	i n	千円			
				、广开旧但で	± 11 /:	€ .₹⅓.()	ه له ر	(概 算)	<u> </u>	. 1 1 3			
슫	後の改	盖占	ボランティア人材を	育成するなた	いで、	複数の力	゙ゕ゙ボラ	ンティア団体に	こ所属している	実態が見	.受けら	れることから	
7			今後、多くのボラン ⁻	ティア人材を	を確保	できるよ	こう 事業	を見直していく	く必要がある。				

1. 事業内容

古	************************************	課	・グループ名	町月	民活動課几	た報相談:	グループ
事務事業名	若者との意見交換事業	1	評価者名	町月	民生活部县	長関	弘法
松 基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり		款	XX			
総 合 施策(大) 計 施策(中)	O 1 町民との協働によるまちづくり	予	項	XX			
	06 広聴の充実	算 科	目	XX			
画 施策(小)	02 町民との意見交換の機会充実	目	大事業	XX	若者と	の意見	交換事業
事業期間	4年度 令和5年度 ~ 令和8年度		中事業	00			
要求区分	継続 <mark>町長重点政策</mark> C)					
根拠法令等				経費	区分	政	策的経費
事業概要	若者との「びほろ未来ミーティング」を定期的に行う。						
事業目的	若者たちと定期的な意見交換を行い、意見提言等を行政施策へ反映	させ	ていく。				
事業の対象	若年層						
実施結果	【実施結果】 令和6年度3回開催(子育て世代、JAびほろ青年部、商工会議所青年	邹)					
現状と課題	【現状と課題】 基本的には団体等からの申込により開催を行う。						
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況						

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円	0	0	0	0	0	0
国支出金	-	_	0	0	0	0
道支出金	-	_	0	0	0	0
地方債	-	_	0	0	0	0
その他	-	_	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)(千円	0	0	0	0	0	0
						(目以前)

<u>3. 評</u>	7価												
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	度	令和08年度	
th	びほ	ろ未来ミ	ーティングの開催回	目標	回		1	1	1		1	1	
指 標	数			実績	回		0	4	3				
1				達成率	%		0	400	300				
塢				目標									
指 標 2	標			実績									
2	<u></u>				%								
指				目標									
指 標 3				実績									
3				達成率	%								
	項目 評価の視点					平価	理由						
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やる				끃	芒当	町として進める諸施策の計画立案にあたって、未来を担う表 の声を聴き、反映させることが重要であるため妥当。						
	有効性	±	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	言	易い	対象を若者として意見を汲み上げることは町の将来像を考える うえで有効性は高い。					将来像を考える	
	効率性	Ξ	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	虐	易い	費用]がかかってい	ないため、効率	性は高い。			
		Alle	O 拡充 ● 事業開催回数の増に	現状維持 句け、広報 ^り		縮小 ムペー:	○ ジ掲載な	FI-12 //L12	を行う。		i	評価結果	
次年 取組(の方し	事業											
向性				現状維持		縮小	0	皆減			:	現状維持	
善内容	「内容」 これまでと同様に予算をかけない方法で事業を取り												
今	今後の改善点 若者世代が開催しやすいよう、土日の開催についても検討を行う。												

1. 事業内容

事務事業名	駐屯地強化充実推進事業	課	・グループ名	危機	機対策課危機対策グループ
平初 平木石	就 七 亿 法 10 九 天 在 左 手 术	Ē	平価者名	総利	務部長 那須 清二
総 基本目標			款	02	総務費
総 合 施策(大) 計 施策(中)	O 1 町民との協働によるまちづくり	予算	項	01	総務管理費
		科	目	11	諸費
画 施策(小)	7 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	B	大事業	02	
事業期間	終期未定		中事業	01	駐屯地強化充実推進事業
要求区分	継続 町長重点政策 〇				
根拠法令等				経費	区分 政策的経費
事業概要	改編後における美幌駐屯地の体制維持・強化に向けて、防衛省及び国 機動連隊への支援活動を継続する。	会	議員等に要	要望活	動を行うとともに第6即応
事業目的	部隊の充実整備を図る。				
事業の対象	充実整備期成会及び関係協力団体				
実施結果	【実施結果】 要望活動及び情報収集並びに賃金、旅費及び賄い料				
現状と課題	【現状と課題】 改編後の第6即応機動連隊の要望等を把握し、適時な支援が実施出来る	5よ	う調整して	ていく	0
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況				

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
틬	業費		(千円)	4, 350	4, 424	4, 508	4, 418	4, 490	4, 490
	国支出金			0	0	0	0	0	0
	道支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			0	0	0	0	0	0
	一般財源			4, 350	4, 424	4, 508	4, 418	4, 490	4, 490
	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	†(事業費+人件費)		(千円)	4, 350	4, 424	4, 508	4, 418	4, 490	4, 490

3. 評	陌										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
tΕ	自衛'	官数		目標	人		800	830	840	840	840
指 標				実績	人		820	820	748		
1				達成率	%		102. 5	98. 8	89. 05		
塢				目標							
指 標				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指 標				実績							
3				達成率	%						
	項目		評価の視点		評	F価	理由				
	妥当怕	/	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど 妥当		5 ग र	美幌駐	屯部隊の充実	強化のため、陳	፣情要望活動を	実施する必要が
	女ヨ	Ι	うかを評価する。		3		あるこ	とから、妥当	である。		
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	並	普通 美幌駐屯部隊の充実強化のため、防衛省及び関係			国会議員に対し		
	ונאגדו	<u> </u>	評価する。			1 1111	て陳情要望活動を実施する必要があることから、適切であ				適切である。
	効率	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	1 高い 「ご		美幌駐屯部隊の充実強化のため、陳情要望活動に必要な経				必要な経費であ
	293-1-1		費は適正かを評価する。					から、適正で	ある。		
				現状維持		縮小	0	70			評価結果
\ <u></u>		事業	第5旅団の機動旅団へ					対象となったこ	ことから、改編	後の充	
次年		尹未	足に向けて積極的な	東情要望 沽動	りを実	施する。					
取組(向性			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	 皆減			
善内			即応機動連隊への改約								現状維持
L	"	予算	を実施するなど計画的					予算反映額	į c	千円	
			C34,007 0 0 C E F E					(概 算)			
슾	後の改	·盖占	即応機動連隊への改約	編後の装備ス	及び隊	員増員に	こ向けた	陳情要望活動の	の検討	_	
/	(X V) (X	M									

1. 事業内容

	古光石	古海影识啦老盐光 士拉声要	部	と グループ名	危机	危機対策課危機対策グループ			
争務等	事業名	自衛隊退職者就労支援事業		評価者名	総利	务部長 非	ß須 渚	=	
松	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		款	хх				
総合計	施策(大)	O 1 町民との協働によるまちづくり		項	ХХ				
	施策(中)	12 自衛隊美幌駐屯部隊と地域住民との更なる一体感の醸成	算 	目	XX				
,,	施策(小)	0 1 自衛隊協力諸団体との連携	<u>_</u>	大事業	XX	自衛隊	退職者	前就労支援事	
	期間	終期未定 令和5年度 ~ 令和8年度		中事業	00				
要求	区分	継続	0						
根拠沒	法令等				経費	区分	Ę	枚策的経費	
事業	∶概 要	自衛隊退職者への就労支援を実施する。							
	目的	責任感や協調性、判断力などの素養が身についている自衛隊退職者 通じた豊富な経験があり即戦力として期待でき、また自治会活動や て必要不可欠な人材であることから、地元就職の斡旋など地域全体	各種ス	ポーツ指	導、ま	きちづく	り活動	の担い手とし	
事業の	の対象	自衛隊退職者							
実施	結果 •	【実施結果】 地元居住者は地元に就職したいため、更に取り組みを進める。 							
現状と	と課題	【現状と課題】 地元に就職出来ない隊員が発生する場合もあるため、適時に地元企	業の説	明会や求	人情報	等を提	洪する	 必要がある。	
事業近	進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況	な な						

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費 (千円)	0	0	0	0	0	0
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	0	0	0	0	0
						(月23.64)

(見込値)

今後の改善点

3. 評	陌										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
塢	就職	希望かつ	美幌居住者で美幌の	目標	人		5	5	5	5	5
指標		への就職		実績	人		8	6	9		
1				達成率	%		160	120	180		
塢				目標							
指 標 2				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
	項目		評価の視点	į	評価				理由		
	妥当	h /-	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	17	妥当 地元に		定住している	隊員は地元で働	けることを求る	めており、次世
	女士	I.T.	うかを評価する。		ダョ 代の担			望い手としての.	人材でもあるた	め、妥当であ	る。
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	힅	通	地元京 る。	^{大労のためには、}	就労情報等の	提供が必要で	あり、適切であ
	ᇸᇴ	h4L	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経				eにおいては、I	即戦力として活	躍できる退職	者も多く、効率
	効率(注	費は適正かを評価する。		ı	ij U '	的であ				
			〇 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С	休止・廃止			評価結果
		viie	美幌駐屯地援護セン	ターとの情報	碬交換	を密にす	けるとと	もに適材適所に	こ配置できる退	職自衛	正
次年		事業	官をPRする。								
取組(
向性			0 ,,,,,,,	現状維持	0	縮小	C	皆減			現状維持
善内容	谷	予算	現状維持のまま実施で	する。				予算反映額	i	m	
		J. 31.						(概 算)	•	千円	
	/// 0 = 1	* -	救護センター及び会	議所との情報	品交換	を実施し	协 元	1100 011	こ沿う形で進め	ていく。	
今後の改善点 救護センター及び会議所との情報交換を実施し、地元退職者の希望に沿う形で進めていく。									10		

1. 事業内容

事務事業名	情報発信推進事業	課・グループ名 町民活動課広報相談グループ				ブループ						
争初争未有	[] [] [] [] [] [] [] [] [] []	į	評価者名	町月	民生活部長	関	弘法					
総 基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり		款	XX								
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	O 1 町民との協働によるまちづくり	予	項	XX								
	13 町の知名度向上に向けた情報発信	算科	目	XX								
画 施策(小)	0 0	B	大事業	XX	情報発信	推進	業					
事業期間	4年度 令和5年度 ~ 令和8年度		中事業	00								
要求区分	継続 町長重点政策 ○											
根拠法令等			経費	区分	政策	策的経費						
	町のできごと等の動画を制作し、YouTubeを使用して情報発信を行う。											
事業概要												
	情報発信を積極的に行い、美幌町の知名度を向上させる。											
事業目的												
 事業の対象	町民及び町外者											
	【実施結果】											
実施結果	7本の動画を制作し、情報発信を行った。											
現状と課題												
	現在は町のイベント等の情報発信にとどまっており、今後は町の政策や	や考	え方等につ	ついて	も情報発	信を強	化していく					
	必要がある。											
	4. 5. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.											
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお 進捗度3又は - 左の具体的な											
	り、順調な進捗状況 4の理由 内容											

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
-	事業費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	国支出金			-	-	0	0	0	0
	道支出金			-	1	0	0	0	0
	地方債			-	1	0	0	0	0
	その他			_	_	0	0	0	0
	一般財源			0	0	0	0	0	0
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ī	計(事業費+人件費)		(千円)	0	0	0	0	0	0
									(目以値)

<u>3. 評</u>	平価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
培	動画	の作成		目標	本			24	24	24	4
指 標				実績	本			22	7		
1				達成率	%			91. 67	29. 17		
指				目標							
指 標				実績							
2				達成率	%						
指標				目標							
標				実績							
3				達成率	%	%					
	項目	l	評価の視点		評価				理由		
	妥当性 目的や現状及び課題から			今やるべきかど	妥当		情報多	&信は町が自ら4	ううものであり	、妥当。	
	Д = 1	1-	うかを評価する。		2						
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	喜	高い 町の情報を町内外へ向けて発信することは、町の			D知名度向上にと		
	13773	-	評価する。			って有効性の高い手段である。					
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	高い		費用カ	「かかっていなし	ハため、効率性	は高い。	
			費は適正かを評価する。	TO .1 N A # 1+	<u> </u>	/ 古 . L					
			- 11	現状維持		縮小	<u>C</u>	11 //	ニミルムソー・エー	o.T. V.	評価結果
次年	⊕の	事業	欠員となっていた職! ンネルの認知度向上(eナヤ	
取組		, ,,,	ンベルの認知及門工	カルスリールギ	以作用以	رد ک کرار	기 사내 / 다 되/	」で 作り「型ロゾート」 .	<i>)</i> 。		
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С) 皆減			現状維持
善内			これまで同様に予算	をかけずに多	そ信を	行ってし	<u>، ۲۷</u>				現
		予算						予算反映額	0	千円	
								(概算)			
今	後の改	善点	イベントのレポート	だけでなく、	事前	周知の	F段とし	.ての活用を検言	すする。		

1. 事業内容

事務事業名	デジタル人材育成事業	課・グループ名	政策推進課	政策統計グループ
于初于木石	プラブルバ州 日処手术 	評価者名	総務部長	那須 清二
総 基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり	款	02 総務費	ŧ
総 基本目標	02 持続可能な行財政システムの確立	予 項	01 総務管	管理費
	02 行政運営、行政サービスの効率化	算 目 大事業	05 企画費	
画 施策(小)	04 電算システムの管理運営、次期システム更新の対応	ハチネ		推進事業
事 業 期 間	終期未定 令和6年度 ~	中事業	98 デジタ	ル人材育成事業
要求区分	新規 <mark>町長重点政策</mark> -			
根拠法令等			経費区分	政策的経費
事業概要	スキル重視の研修プログラムによりデジタル人材を育成し、デジタル人 することで、業務改善が自然と図られるスキームを構築する。	.材をカテゴ	リー分けして	各部に平均して配置
事業目的	デジタル人材の育成を通じた業務改善			
事業の対象	町職員			
実施結果・現状と課題	【実施結果】 年5回研修を実施。研修後に行ったアンケートでは、大半が「研修で学 ており、ネットワーク系のトラブルについてある程度目星を付けて対応 【現状と課題】			
シルC M 区	研修受講者は着実に育成されているものの、組織全体への波及効果が阻	限定的である 	0	
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	1200 1000							
			令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
틕	業費	(千円)	0	0	1, 857	1, 815	2, 695	1, 372
	国支出金		-	_	0	0	0	1
	道支出金		-	_	0	0	0	1
	地方債		-	_	0	0	0	_
	その他		-	_	0	0	0	_
	一般財源		0	0	1, 857	1, 815	2, 695	1, 372
	、件費	(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
言	†(事業費+人件費)	(千円)	0	0	1, 857	1, 815	2, 695	1, 372

(見込値)

今後の改善点

3. 評	呼価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
指	研修	開催数		目標	回				5	5	5
指 標				実績	回				5		
1				達成率	%				100		
指	DΧ	エキスパ	『一ト人数	目標	人				20	19	0
指 標				実績	人				19		
2				達成率	%				95		
指				目標							
指 標				実績							
3				達成率	%						
	項目	l	評価の視点	i	評価				理由		
	妥当	<u></u>	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど			近年σ)デジタル化の:	急速な進展等に	対応して業務	改善へ繋げるた
	女当	ı I	うかを評価する。	3			め、職員のICT知識の向上は必要である。				
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	華	通					課への研修内容
	ו נאי נו	<u> </u>	評価する。		の共有やフィードバックが不十分であり、組織全体へ						
	効率	 ‡	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	」 高い 」				を育成する事業	として、費用	対効果は高いと
	793 1	-	費は適正かを評価する。					ごきる。			
				現状維持		縮小	O				評価結果
\h_F	 ~	事業	DXアドバイザーの育					より専門的な知	識を皆得する#	:め研 <u> </u>	
次年 取組(~	尹未	修内容の難易度を上	げ、人材育原	ズを 看き	実に推加	≛する。				
向性			● 拡充 O	現状維持	0	縮小	0) 皆減			14 4.
善内			2年目の研修はより専				<u></u> 階であ				拡充
	_	予算	り、研修内容の難易					予算反映額	838	千円	
			充する。					(概 算)			
今	後の改	 Z善点	研修で学んだ知識の	組織全体への	カ波及						

1. 事業内容

事務事業名	ふるさと寄附金事業	課・グループ名	政策推進課	政策統計グループ
尹 仍尹未 口	- ふること 司門 立 学 大	評価者名	総務部長	那須 清二
基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり	款	02 総務費	B
総	O 2 持続可能な行財政システムの確立	_予 項	01 総務管	管理費
	05 健全な財政運営の推進	算目	05 企画費	ŧ
画 施策(小)	02 財政基盤の強化と効率的な財政運営	B 大事業		推進事業
事業期間	終期未定 平成20年度 ~	中事業	05 ふるさ	さと寄附金事業
要求区分	継続	0		
根拠法令等	「ふるさとを思う こころが届く 美幌町ふるさと寄附金」取扱要	綱	経費区分	政策的経費
事業概要	ふるさと納税制度を活用した事業推進策として、返礼品の充実及事業者の売上向上、更には寄付金を活用した事業(寄附金充当事業 して、返礼品から寄附金充当事業まで広く町の魅力をPRし、更なる。	の丁寧な説明	と内容充実に	:よって、寄附者に対
事業目的	ふるさと寄附金の増収と寄附金活用事業充実による特色ある魅力的	なまちづくり		
事業の対象	町外者(ふるさと寄附金対象者)			
実施結果	【実施結果】 効果的な広告戦略に取り組んだことにより寄附金額・寄付件数とも	に増加傾向にあ	る。	
現状と課題	【現状と課題】 寄附実績データ等の分析による効果的なプロモーションの実施、事 体制づくりと確立(行政、中間事業者、町内事業者の更なる連携体		、募集経費の	
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - <mark>左の具体的</mark> り、順調な進捗状況			

2. 年度別事業費	. 年度別事業費 (単位:千円)											
	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算						
事業費(千円)	416, 820	423, 229	500, 196	486, 547	550, 871	600, 000						
国支出金	0	0	0	0	0	0						
道支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	416, 820	423, 229	500, 196	486, 547	550, 871	600, 000						
一般財源	0	0	0	0	0	0						
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0						
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0						
計(事業費+人件費)(千円)	416, 820	423, 229	500, 196	486, 547	550, 871	600, 000						

(見込値)

=17./#

<u>3. 評</u>	平価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
塢	寄付金	件数		目標	件	1	5, 000	40, 000	40, 000	44, 000	50, 000
指標				実績	件	4	10, 034	35, 384	39, 392		
1				達成率	%	2	266. 89	88. 46	98. 48		
指	寄附:	金額		目標	千円	15	0,000	400, 000	500, 000	550, 000	600, 000
指 標 2				実績	千円	40	8, 249	423, 167	486, 269		
2				達成率	%	2	272. 17	105. 79	97. 25		
‡	寄附	金活用事	業の庁内募集枠	目標	千円	1	0,000	10, 000	10, 000	10, 000	10, 000
指標				実績	千円		3, 680	1, 600	1, 600		
3				達成率	%		36.8	16	16		
項目 評価の視点 評価							理由				
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかん うかを評価する。					当	町の財	∤源確保対策及₹	ゾ町のPRを行	う上からも妥	当である。
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等か 評価する。	適切かどうかを	启	ξι\		ルサイト及び物 、寄附件数及で		· · - 	や返礼品の充実 有効性は高い。
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	รีเง		付から謝礼品の 実施している。			託し、効率的な
			● 拡充 ○ 民間事業者との連携	現状維持 推進により、		縮小 伏況に基	○ &づく傾		」、SNSや広告等	手によ	評価結果
次年.	の方	事業	る効果的な情報発信 ターを含んだ寄附者	こよる本町特 確保に取り約	寺産品(<u>狙むこ</u>	の認知原 とで更 <i>た</i>	度向上や	返礼品の更なる			
向性				現状維持		縮小	0	- 皆減			拡充
善内	容	予算	SNS、広告等による情 附者数及び寄付額の に対応するため、予	増加を見込∂	4、返			予算反映額(概算)	50, 675	千円	טייייי
今	に対応するため、予算を拡充する。										

1. 事業内容

事務事業名	広域連携事業	課・グル	レープ名	社会福祉部	県・民生障がい福祉グルー
事份事未位	以及足功 学术	評価	者 名	福祉部長	吉田 善一
基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり		款	XX	
総 基本目標	O 2 持続可能な行財政システムの確立		項	XX	
計 施策(中)	09 広域行政の推進	算 _ 科	目	XX	
画 施策(小)	0 1 広域連携事務事業の更なる推進			12.7.7.	連携事業
事業期間	終期未定 令和5年度 ~ 令和8年度		事業	00	
要求区分	新規 <u>町長重点政策</u> 〇)			
根拠法令等	障害者総合支援法		ត៍	经費区分	政策的経費
事業概要	障がいのある方の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築するサービス提供体制を構築する場所の枠組みにより設置し、当事者や家族、障がい者施設や自治体を受付している。また、グループホームの空き室状況の把握や緊急時の短期入所の調整、令和6年度末に基幹相談センターを主とした1市4町の協議会を設立	係機関 育成を	から日常生	生活のさまざまな相談 る。	
事業目的	障がい者福祉分野における、広域での連携や障がい福祉全般の支援に	ついて検	討を行	う。	
事業の対象	障がい者等				
実施結果	【実施結果】 基幹相談センターを定住自立圏(1市4町)の枠組みにより設置し、障 活支援拠点の機能を面的に整備している。また、1市4町協議会を設			地域全体 ⁷ 	で支えるため、地域生
現状と課題	【現状と課題】 町内の事業所や施設だけでは、障がい者への支援が充足されていない。 の連携が必要と考える。	ため、広	域で設	置している	る基幹相談センターと
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - <mark>左の具体的な</mark> り、順調な進捗状況				

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	0	0	0	0	0	0
国支出金	-	_	0	I	0	-
道支出金	-	_	0	1	0	_
地方債	-	_	0	1	0	_
その他	_	_	0	ı	0	_
一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	0	0	0	0	0
						/目17 (4)

(見込値)

今後の改善点

3. 評	严価												
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和0	7年度	令和08年度	
指	基幹村	相談支援	センター数	目標	ヶ所		2	2	2		2	2	
指標				実績	ヶ所		2	2	2				
1				達成率	%		100	100	100				
指				目標									
指 標				実績									
2				達成率	%								
指 標				目標									
標				実績									
3				達成率	%					<u> </u>			
	項目		評価の視点		評	価		理由					
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかっかを評価する。					当	今後σ	後の障がい福祉全般支援の検討を行うためにも必要である。 					
	有効性	ŧ	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普	·通	│ 相談などを通じ、必要なサービス等へつなげているため、有効 │ 及び効率性がある。					るため、有効性	
	効率性	±	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	声	รีเง	相談な	どを通じ、必要	要なサービス等	へつな	げている	るため、有効性	
	жу т 1.	т	費は適正かを評価する。			-	及び刻	<u>物率性がある。</u>					
				現状維持		縮小	0	71			1	評価結果	
次年/	の方し	事業	次年度も引き続き、『	章がい福祉会	全般支持	援の検言	付を行っ	ていく。			-		
向性				現状維持		縮小	0	D #24				現状維持	
善内容	容	予算	今後の大枠の考えがそ いく。	権定した段隊	皆で予算	算計上を	行って	予算反映額(概算)	0	千円	•	20 12 / U.F. 1 .1	

今後も基幹相談センターを広域(定住自立圏の枠組み)で運営しながら、支援内容を拡充していく必要がある。

1. 事業内容

事務事業名	広域連携事業	課・グルー	プ名 政	策推進課	政策統計グループ
于初于木石	以《廷·乃·节·末	評価者	名総	務部長	那須 清二
総 基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり	款	02	総務費	費
総	02 持続可能な行財政システムの確立	予 項	01	総務管	管理費
	09 広域行政の推進	算 目	05	企画費	
画 施策(小)	0 1 広域連携事務事業の更なる推進	大事			車携事業
事業期間	終期未定	中事	業 01	広域道	車携事業
要求区分	継続				
根拠法令等			経費	区分	政策的経費
事業概要	地域の活性化、広域的な課題に対する要望事項の調整や近隣市町とのまた、管内市町村との連携によりオホーツクイメージの発信を推進すした圏域での業務連携の更なる検討を行う。				
事業目的	広域連携事務・事業の連携及び強化を図ることにより、行政課題の解決	や管内市	町村なる	どとの振	長興を図る 。
事業の対象	美幌町、管内市町村の住民及び行政機関。				
実施結果	【実施結果】 管内市町村による協力連携事業の実施。				
現状と課題	【現状と課題】 新たな連携や業務拡大の検討が進んでいない。				
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - 左の具体的な り、順調な進捗状況				

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費 (千円)	266	345	597	405	607	607
国支出金	0	0	0	0	0	_
道支出金	0	0	0	0	0	_
地方債	0	0	0	0	0	_
その他	0	0	0	0	0	_
一般財源	266	345	597	405	607	607
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	266	345	597	405	607	607
						(目3.体)

(見込値)

今後の改善点

3. 評	価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07	年度	令和08年度
指	定住	自立圏協	定に基づく連携事務	目標	件		1	1	1		1	1
指標				実績	件		1	1	1			
1				達成率	%		100	100	100			
指				目標								
指標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指標				実績								
3				達成率	%							
	項目	l	評価の視点		評	価			理由			
	妥当	 	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	77	·····································	広域週	連携による効率(的・効果的な行	政運営は	は、持約	売可能な行政運
	女 曰 !	I.T.	うかを評価する。		3	=	営のた	<u>-</u> め実施すべき	であることから	妥当		
	有効	<u></u>	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	章	รีเง	上記同	様、関係自治	体で事業評価を	しながら	適切な	3手段として実
	ונאלוו	1-	評価する。		IP.	, 0	施する	ため、実現する	ければ有効性は高い。			
	効率	 4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	膚	ξl\	上記同様、検討する時間は要するが実現した場合は、効率性も含					は、効率性も含
	797		費は適正かを評価する。				めて核	試しているたる	め、高い。			
			0 ,,,,,,	現状維持		縮小	C	休止・廃止			į	評価結果
		事業	管内及び管外の自治化	本との広域は	重携を	継続する	5 .					T IM THE STA
次年		争未										
取組(O #: *	現状維持		を	C	LE SER				
向性 善内			○ 拡充 新規の取組が無いこ。	20 P 11 E 3 3		縮小 エナロル		皆減			Ę	見状維持
告內		予算	利別の収組が無いこ	こかり予用		し ひ 近 1	人作任行。	予算反映額	į	千円		
								(概算)		, , , ,		
今:	後の改	養点	関係自治体と意見交換	ぬを通じた!	広域連	携事業の	の方向性	検討				

1. 事業内容

事務事業名	広域連携事業	課・グループ名	社会教育課	社会教育グループ							
学 份学术位	以以足防事未 	評価者名	教育部長	中尾 亘							
総基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり	款	10 教育費	ŧ							
施策(大) 計施策(中)	O 2 持続可能な行財政システムの確立	_予 項	04 社会教	枚育費							
	09 広域行政の推進	予 項 算 目	02 社会教	枚育振興費							
画 施策(小)	0 1 広域連携事務事業の更なる推進	大事業		收育団体育成事業							
事業期間	終期未定 令和6年度 ~	中事業	02 広域週	連携事業							
要求区分	継続			1							
根拠法令等			経費区分	政策的経費							
事業概要	北見地区1市4町(北見市、置戸町、訓子府町、津別町、美幌町)で組織する「北見地区広域社会教育推進協議会」 への負担金支出、および研究調査事業への職員の参画 要										
事業目的	北見地区1市4町の広域における持続可能な社会教育行政推進のため、共力量形成につながる取組への参画を目的とする。	達通する諸問 続	題解決に向け	た研究調査や職員の							
事業の対象	北見地区1市4町教育委員会社会教育·体育担当職員										
実施結果 ・ 現状と課題	【実施結果】 北見地区広域社会教育推進協議会社会教育研究委員会にて北見地区1市 作成に着手し、各市町の事例をまとめ各市町の事業等の交流を図るとと 【現状と課題】 北見地区広域社会教育推進協議会は昭和49年度に設立され、現在まで構	: もに、事業	効果について	<u>振り返り職員のスキ</u>							
	継続して組織活動が行われている。	7/20 LI /LI PT V/ :	~~~	TI A M C M C / 'G (
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況										

2. 年度別事業費

(単位:千円)

_	. 1							, ,	<u> </u>
				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
=	事業費		(千円)	0	0	30	30	30	30
	国支出金			-	-	0	0	0	0
	道支出金			-	1	0	0	0	0
	地方債			-	-	0	0	0	0
	その他			_	_	0	0	0	0
	一般財源			0	0	30	30	30	30
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
	計(事業費+人件費)		(千円)	0	0	30	30	30	30

(見込値)

<u>3.計</u>	<u> </u>														
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	度	令和08年度			
坮	社会	数育・社	:会体育各研究委員会	目標	□		11	13	20		20	10			
指 標	の実績	 包数		実績	回		11	13	11		\neg				
1				達成率	%		100	100	55						
指				目標											
指 標 2				実績											
2				達成率	%										
指				目標											
指 標 3				実績											
3				達成率	%										
	項目		評価の視点	i	部	呼価			理由						
	妥当性	£	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	<u> </u>		北見地	2区1市4町の実	践事例集の作成	は成果物と	して	活用が見込ま			
	У = 1.		うかを評価する。						作業においても						
	有効性	ŧ	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを		通	数值的	こには半減して	いるが、今年度	は社会教育・体育で合同開					
	13221		評価する。					いるためであり:							
	効率性	‡	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	唐	高い	来年度の成果物作成のための費用として活用されるため妥当で					ため妥当であ			
	775 1 15		費は適正かを評価する。			-	る。								
			0 ,,,,,,,	現状維持		縮小	0	休止・廃止			Ē	平価結果			
\h_ /= !		事業	現状維持のまま実施	することがi	適当で	ある。									
次年 取組(尹木													
I 取組(O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	 皆減							
善内			現状維持のまま実施								Ŋ	見状維持			
- F 1 3 1	"	予算	20八年190065天池	, QCC23		ه که رین		予算反映額	Į (千円					
(概 算)															
_	後の改	————————————————————————————————————	実践事例集活用のた	めの周知活動	助及び	使い方に	こついて	も整備する必要	要があり、作成	に係る実施	回数	の見直しが必			
7	今後の改善点 英語 対象 大阪														

1. 事業内容

事務事業名	国際交流事業	課・グループ名	町民活動課	町民活動グループ							
尹 仍尹未石	当际 人派 节未	評価者名	町民生活部	長 関 弘法							
基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり	款	02 総務費	Ē.							
総 合 施策(大) 計 施策(中)	03 国際・国内交流の推進	_予 項	01 総務管	管理費							
	0 1 国際交流の推進	予 項 算 目	05 企画費								
画 施策(小)	02 友好姉妹都市を中心とした、地域間交流活動の充実	大事業		き流事業							
事業期間	終期未定	中事業	01 国際3	き流事業 ニューニー							
要求区分	継続										
根拠法令等	美幌町ふるさとづくり事業の推進に関する規則 美幌町高校生短期交換	全留学事業	経費区分	政策的経費							
事業概要	国際交流を推進するため、友好姉妹都市ケンブリッジとの交流により、高校生のケンブリッジ高校への短期交換留 学事業及びケンブリッジからの訪問団受入れ事業を実施する。 (1) 高校生短期交換留学事業 (2) ケンブリッジ訪問団受入事業										
事業目的	姉妹都市との交流及び生徒の国外交流により、将来のまちづくりに資す	る人材育成し	こつなげる。								
事業の対象	友好姉妹都市ケンブリッジと美幌町民及び美幌高校生、町内の高校生										
実施結果	【実施結果】 美幌高校生及び町外高校へ通学する高校生の短期留学事業及びケンブリ 施した。 	ッジ訪問団勢	受入事業によ	り姉妹都市交流を実 							
現状と課題	【現状と課題】 高校生短期留学の対象拡大、訪問団の受入れにより町民の関心が高まり、国際交流の裾野が広がった。										
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況										

2. 年度別事業費

(単位:千円)

							, ,	
			令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費		(千円)	20	3, 917	4, 016	2, 635	2, 973	2, 973
国支出金			0	0	0	0	0	0
道支出金			0	0	0	0	0	0
地方債			0	0	0	0	0	0
その他			20	3, 000	3, 000	2, 100	1, 000	0
一般財源			0	917	1, 016	535	1, 973	2, 973
人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)		(千円)	20	3, 917	4, 016	2, 635	2, 973	2, 973

3. 評	価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
坮	高校:	生による	友好姉妹都市間の交	目標	人		2	2	4	4	4	
指標	流			実績	人		0	2	4			
Ĩ.				達成率	%		0	100	100			
指	<mark>붑</mark>			目標								
指標	票			実績								
2	2			達成率	%							
指				目標								
指 標				実績								
3				達成率	%							
	項目 評価の視点				部	平価	理由					
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で うかを評価する。			今やるべきかど	3	2 当		流として高校: 当である。	生短期交換留学	が実績を重ね	ており、事業と	
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普通 高校生短期留学については、将来のまちづくり という点で有効である。				まちづくりに	資する人材育成		
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	言	高い	高校生	短期交換留学	については、負	担額は適正で	ある。	
			○ 拡充●美幌高校生及び町外。	現状維持 高校へ通学で		縮小 徒を対象	<u>0</u> まとして	11-22-702	奥留学事業を実	施する	評価結果	
次年度の事業。 取組の方												
向性			0 10-75	現状維持		縮小	0	H #74			現状維持	
善内容	容	予算	高校生短期留学として 学する生徒2名の計		€幌高校生2名、町ダ 名を派遣するため予算				5 0	千円	380000	
。 今後の改善点 高校生短期留学事業の継続実施を推進。短期留学以外のインターネット等を利用した交流方法についても検討							ついても検討。					

1. 事業内容

事務事業名	移住定住促進事業	讃	課・グループ名 政策推進課政策統計グループ						
争扬争未有	物任定任促進事末		評価者名	総務	系部長 那須 清二				
総 基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり		款	02	総務費				
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	03 国際・国内交流の推進	予 算	項	01	総務管理費				
計 施策(中)		算 科		05	企画費				
画 施策(小)			大事業	01	政策推進事業				
事業期間	終期未定		中事業	06	移住定住促進事業				
要求区分	継続	策 〇							
根拠法令等				経費	区分 政策的経費				
事業概要	特設サイトをはじめとしたプロモーション、移住相談拠点施設験により、移住相談から生活体験、完全移住へと段階的な取組をやサテライトオフィス利用を通じた関係人口・協働人口の創出を	実施する							
事業目的	移住相談・体験移住を通じた移住者の増加 関係人口・協働人口の創出・拡大								
事業の対象	移住に関心があるまたは、検討されている方								
実施結果	【実施結果】 移住相談拠点施設「KITEN」の開設後、利用者数は順調に推移し	ており、	道外の利用	者もタ	着実に増えている 。				
現状と課題									
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - 左の具体 り、順調な進捗状況 - 内容	i 的な							

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
耳	事業費 (千円)		120, 515	25, 197	28, 657	24, 255	30, 427	30, 427	
	国支出金			76, 394	0	0	0	0	0
	道支出金			5, 000	1, 100	2, 700	900	2, 751	2, 751
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			22, 441	8, 535	4, 500	4, 769	2, 501	2, 501
	一般財源			16, 680	15, 562	21, 457	18, 586	25, 175	25, 175
J	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	†(事業費+人件費)		(千円)	120, 515	25, 197	28, 657	24, 255	30, 427	30, 427

3. 🖺	平価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
坮	移住	相談件数	Ţ	目標	件		70	70	100	100	100	
指標				実績	件		93	151	146			
1				達成率	%	1	32. 86	215. 71	146			
指	移住体験者			目標	組		10	10	10	10	10	
指標				実績	組		16	15	14			
2	2			達成率	%		160	150	140			
指	指 移住相談窓口を通じた移住者			目標	人		3	5	5	5	5	
指標				実績	人		8	4	2			
3				達成率	%	2	66. 67	80	40			
	項目		評価の視点		部	価	理由					
	妥当性 目的や現状及び課題から、町でうかを評価する。			今やるべきかど	3	当	人口洞	ば少対策の観点: な	から妥当。			
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	膏	高い 完全移住いただくための手段としては、段階的に移住相 移住と設定することが手段として適切であり、高い。						
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	槆	討	*******	で援も現在は豊況 移住者数だけ			は認められるが 対必要あり。	
			● 拡充 ○ 当町の強みを活かした	現状維持 こ2地域居住		縮小 進と、私	〇 8住検討	11-22 //	度に応じた移住	施策の	評価結果	
次年 取組	の方	事業	実施を図る。また、和 図る。	多住相談拠点	点施設(の事業に	こついて		との協働による	推進を		
向性			- 11-11-	現状維持		縮小	0	<u> пил</u>			拡充	
善内	容	予算	民間事業者と協働に。 談拠点施設の運営に加 。						i 1, 770	千円	IIA 9 G	
今	後の改	今後の改善点 民間事業者と連携した移住相談体制の構築及び移住検討者等に対する情報発信の在り方										

1. 事業内容

事務事業名	美幌ふるさと会の拡充	課・グループ名	総務課総務	グループ						
尹 份尹未 	天性かるでと云の加力	評価者名	総務部長	那須 清二						
総基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり	款	xx							
合 施策(大) 計 施策(中)	03 国際・国内交流の推進	予 項	XX							
	04 美幌ふるさと会の充実	算 科 目	XX							
画 施策(小)	0 0	上 大事業		ふるさと会の拡充						
事業期間	終期未定 ~ 令和8年度	中事業	00							
要求区分	継続			T						
根拠法令等			経費区分	政策的経費						
事業概要	美幌に縁のある、縁のあった人達やこれから地域に関わってくれる人人々の動きを積極的に受け止め、美幌町と積極的なつながりを持つ機会るさと会を拡充する。									
事業目的	ふるさと会への出席、特産品の提供をはじめとした支援や、情報交換な 幌圏における町のPR活動基盤や人的ネットワークが構築され、地域設 愛着あるまちづくりにつなげる。									
事業の対象	ふるさと会(東京美幌会、さっぽろ美幌会)									
実施結果	【実施結果】 ふるさと会の総会・懇親会が4月、7月に開催され、懇親会での特産品 のお知らせなどを配布し、情報交換などの相互交流を実施した。	品のPRや移f 	主定住促進の 	PR、ふるさと納税 						
現状と課題	【現状と課題】 美幌町の関係人口創出のため、新規会員について、広報やHP等で継続的に周知を図っているが、会員数の伸び悩み を抱えており、ふるさと会の活動事業以外の手段も含めて検討する必要がある。									
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度 3 又は</mark> り、順調な進捗状況									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	1 200 1 1100							<u> </u>
			令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
틬	業費	(千円)	0	0	0	0	0	0
	国支出金		0	ı	0	_	0	-
	道支出金		0	1	0	-	0	-
	地方債		0	-	0	_	0	-
	その他		0	-	0	_	0	_
	一般財源		0	0	0	0	0	0
	、件費	(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費 千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	十(事業費+人件費)	(千円)	0	0	0	0	0	0

(見込値)

		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	度	令和08年度
指	ふる	さと会活	動参加者数	目標	人		150	150	150		150	150
指標				実績	人		0	135	124			
1				達成率	%		0	90	82			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点		部	呼価			理由			
	亚虫	生	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	<u>12</u>		ふるさと会の総会・懇親会が年に1度開催され、美幌町と継					美幌町と継続的
	妥当性 うかを評価する。				3		なつた	いがりを持つ機:	会があるため、	妥当である	5。	
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	並	通	「ふる	うさと応援隊」の	のような取組で	、地域を	艮定 t	せず、全国から
	'H W H'	Τ	評価する。			#### 若年層など世代を越えて想いを持つ者とつながる取組が必要。					収組が必要 。	
	効率性	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	喜	ましい	総会・	懇親会の開催	時に、地元の品	、ふるさん	ヒ納種	说のお知らせ等
	793 — 1.	<u> </u>	費は適正かを評価する。			•	を配布	うし、一定程度の	の費用対効果が	<u>゙あるため、</u>	適፲	Eである。
				現状維持		縮小	<u>C</u>	111-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11			1	評価結果
		事業	首都圏や札幌圏で開作									T IM THE STATE OF
次年		尹未	り(参加機会)を提									
取組の性			を図り、新規会員にで				<u>で継続的</u> こ		会員券集に努	める。		
向性 善内:			O 拡充 ● 現状維持のまま実施 ⁻	<u>現状維持</u> まることが3		縮小) 皆減			Į	見状維持
晋 内		予算	現仏維持のまま美施	9 のここが1	到日で	める。		予算反映額	i n	千円		
		- 2.						(概算)		' ' ' '		
슼	後の改	·盖占	美幌町の関係人口創設		ふるさ	と会との	の関係性	を継続し、関係	系する企業との	連携など、	その)他の手段も含
プログラーが めて、取り進める必要がある。												

1. 事業内容

事務事業名	高齢者交通安全推進事業	課	・グループ名	町月	尺活動課	活動課町民活動グループ	
争协争未有	同即行义应义主任连手术	į	評価者名	町月	生活部	長 関 弘法	
総 基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり		款	02	総務費	Ì	
総 基本目標	04 地域の安全対策の充実	予算	項	01	総務管	押 費	
	02 交通安全活動の推進	_ 科	目	07	交通安		
画 施策(小)	03 高齢者の交通安全対策の推進		大事業	01		全対策推進事業	
事業期間	終期未定		中事業	03	高齢者	f交通安全推進事業	
要求区分	継続						
根拠法令等	美幌町高齢者等運転免許自主返納支援事業実施要綱			経費	区分	政策的経費	
事業概要	運転に不安のある高齢者等の運転免許証自主返納を奨励し、高齢者 交通事故防止の推進と、町内路線バス・申込バス・タクシーの共通助別						
事業目的	高齢者等の交通事故防止を推進するため、運転免許の自主返納を奨励る	する	0				
事業の対象	65歳以上又は障害者手帳を持っている方の自動車運転免許の自主返納	者又	は免許失效	力者			
実施結果	【実施結果】 公共交通バス・タクシー利用券の交付						
現状と課題	【現状と課題】 町民への運転免許証自主返納による助成は定着してきているが、全国的ない。	 的に	は高齢運車		よる交	 通事故は減少してい	
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況						

2. 年度別事業費

(単位:千円)

			令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費		(千円)	1, 036	1, 923	2, 700	2, 141	2, 472	2, 472
国支出金			0	0	0	0	0	0
道支出金			0	0	0	0	0	0
地方債			0	0	0	0	0	0
その他			987	1, 825	2, 700	2, 141	2, 340	0
一般財源			49	98	0	0	132	2, 472
人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)		(千円)	1, 036	1, 923	2, 700	2, 141	2, 472	2, 472

(見込値)

3. ET	<u>-1m</u>	指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
坮	免許	自主返納	者及び免許失効者の	目標	件		160	160	160	120	120
指 標	申請	数		実績	件		118	96	116		
1				達成率	% 73. 75 60 72. 5						
指				目標							
指 標 2				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指標				実績							
3				達成率	%						
	項目 評価の視点 評価 理由										
	亚当	<u></u>	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	妥当		高齢者の事故防止のために町が補助することは妥当			当	
	妥当性 うかを評価する。										
	有効性	4	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	卢	ましい	高齢運	転者やその家族	族など、高齢者	fの交通事故を	考える機会と交
	13 553 1		評価する。			通事故防止に有効である。					
	効率性	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	膚	ลีเง	自主返	納の契機とな	っており、返納	時1回限り助	成で適正である
	773 1 1		費は適正かを評価する。				0				
				現状維持		縮小	0	70	- 41 4 12 -1 1		評価結果
\m /= 5	<u>.</u> _	事業	町民への制度の周知							共通助	
次年原 取組(-	尹木	成券2万4千円分の	切成を行う。	_ 215	より父』	1事 政 [5]	止を推進する。			
向性 向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	 皆減			
善内容			助成券の使用枚数に								現状維持
ш.,	"	予算	、支払いするため現		F / A D /		N E Z 17	予算反映額	į o	千円	
			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					(概 算)	,		
<u></u> 会:	後の改	- 盖占	制度の定着が図られて	てきているだ	が、高	齢運転す	皆による	事故が減少して	ていない現状を	踏まえ、今後	も町民への周知
-71	・										

1. 事業内容

事務事業名	公共交通維持確保改善事業	課・グループ名 町民活動課町民活動グループ				町民活動グループ				
于初于木石	4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4	部	平価 者 名	町月	民生活部:	長 関 弘法				
総 基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり		款	02	総務費	ŧ				
総	_ 05 公共交通の充実									
	0 1 総合的な公共交通体系の構築	算 科	目	06	辺地対	対策費				
画 施策(小)	0 1 交通網形成における協議・検討		大事業	01		バス路線等維持事業				
事業期間	終期未定		中事業	<mark>Þ事業 03 公共交通維持確保改</mark> 額						
要求区分	継続 <mark>町長重点政策</mark> ()								
根拠法令等	地域公共交通活性化再生法、道路運送法			経費	区分	政策的経費				
事業概要	交通事業者への支援事業や美幌町地域公共交通計画に基づく事業により、公共交通の維持確保、利用増進を図る。 (1)生活バス路線運行維持費補助金(路線バスや乗合タクシーに対する赤字補填補助) (2)JR北海道の路線維持支援に係る経費 (3)美幌町地域公共交通活性化協議会負担金 (4)公共交通維持確保のための運転手確保支援・地域おこし協力隊に関する経費									
事業目的	公共交通路線の維持・充実									
事業の対象	美幌で路線運行しているバス・タクシー・鉄道事業者、美幌町地域公	共交i	通活性化協	協議会	₹					
実施結果	【実施結果】 町内路線を運行するバス会社・タクシー会社に補助金交付。美幌町地 通運転手確保のため支援策を実施。	域公	共交通活性	主化協	議会へ	負担金支出。公共交				
現状と課題	【現状と課題】									
	地域公共交通計画に基づく路線バスの見直しとデマンドバスの導入に	よる/	バス運行地	边域σ	拡大を	実施し効率的な運行				
	を図るとともに、不足する運転手の確保策を継続して実施する。									
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度 3 又は</mark> - 左の具体的なり、順調な進捗状況									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

1 122111 1 1112							• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
			令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費	事業費(千円)		38, 687	40, 985	56, 783	48, 500	68, 740	68, 740
国支出金			7, 021	0	0	0	0	0
道支出金			0	0	0	0	0	0
地方債			0	0	0	0	0	0
その他			1, 132	15, 477	30, 200	30, 635	60, 440	0
一般財源			30, 534	25, 508	26, 583	17, 865	8, 300	68, 740
人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)		(千円)	38, 687	40, 985	56, 783	48, 500	68, 740	68, 740

(見込値)

პ. ∄	H. Dec											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年原	隻	令和08年度
指	運行	バス路線	Į.	目標	本		6	6	6		6	6
指 標				実績	本		6	6	6			
1				達成率	%		100	100	100			
指				目標								
指 標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標				実績								
3		達成率 %										
	項目 評価の視点 評価 理由											
	亚亚亚		目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	77	*当	公共交	通の路線を維持	持することは必	要であり妥	当	
	妥当性 joho e評価する。				3							
	有効性	<u>+</u>	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	章	รีเง	公共交	通の路線を維持	持するための補	助であり有	効	
	ו נאל דו	<u> </u>	評価する。		IP.	10.						
	効率性	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	卢	ξι\	国から	の補助もあり、	、経費は適正で	ある		
	793 — 1.		費は適正かを評価する。		·	-						
				現状維持		縮小		1111 /JUAN			評	価結果
		中来	地域間幹線系統路線、								HI	IM THE STA
次年	~	事業	行維持費補助金を交付									
	双組の方 ス運行をする。運転手確保支援、地域おこし協力隊制度を利用し運転手の確保を図る。							<u> </u>				
向性				現状維持		縮小 デー、	<u> </u>	<u> </u>			現	状維持
善内	谷	予算	生活バス路線運行維持					予算反映額	i ^	. T m		
		1 71	運行委託、運転手確作	木又抜束のき	モ他の)	にの現る	人推打	(概算)	· 0	千円		
^	// 0 = 1	* •	国・道の補助が安定	的に継続され	1.るこ	とが路約	泉維持確		カ、国の動向を	情報収集す	る。;	軍転手確保支
今後の改善点 国・道の補助が安定的に継続されることが路線維持確保の前提の 援、地域おこし協力隊制度による運転手の確保により、公共交通										U O X		

1. 事業内容

事	事務事業名 防災物資等整備事業				と対策課:	危機対策グループ				
于初于木石	的 文 物负夺走佣争未	評価:	者 名	総系	務部長 :	那須 清二				
総 基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり		款	02	総務費	Ę				
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	07 防災体制の強化		項	01	総務管	管理費				
	0 1 防災体制の充実、強化		目	11	諸費					
画 施策(小)	02 備品の整備や訓練による防災意識の向上、体制の強化		事業	01		対策事業				
事業期間	終期未定 平成25年度 ~	中	事業	02	防災物	物資等整備事業				
要求区分	継続									
根拠法令等	災害対策基本法、水防法、災害救助法、河川法、美幌町災害時備蓄計画									
事業概要	地震・大雨などの災害に備え、現在保有している防災資機材に加え、地域防災計画及び災害時備蓄計画を基に計画 的に整備する。また、転入者に対する防災意識の向上を目的とした非常用持出品の配布について、継続した普及・啓 発を推進する。なお、避難所生活において最も重要なトイレに関しては、普段のトイレに被せて使用可能な凝固剤を 活用した使い捨てトイレを令和5年度までに備蓄済であり、今後は期限切れの製品を更新する。【投資的経費】									
事業目的	災害時に必要とされる資機材・保護具・安全具の整備充実を図る。									
事業の対象	避難所(避難所を利用する避難者)、町民、災害対応職員									
実施結果	【実施結果】 必要とされる資機材等についての検討・購入を図る。									
現状と課題										
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお 進捗度3又は り、順調な進捗状況									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	61, 157	4, 168	3, 117	2, 436	3, 238	1, 650
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	3, 100	1, 800	600	500	1, 000	0
地方債	52, 700	0	0	0	0	0
その他	0	1, 000	500	500	1, 000	0
一般財源	5, 357	1, 368	2, 017	1, 436	1, 238	1, 650
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	61, 157	4, 168	3, 117	2, 436	3, 238	1, 650
						(目17 体)

(見込値)

	ГІШ	指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
指	災害	時備蓄計	-画に基づく備蓄状況	目標	%			100	100	100	100
指 標				実績	%			100	100		
1				達成率	%			100	100		
指				目標							
指 標				実績							
2				達成率	%						
指 標				目標							
標											
3	達成率 %										
	項目 評価の視点 評価 理由										
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、				<u> </u>	3当	避難所	fで使用する資	幾材については	、町が整備す	る必要があるた
	ادی		うかを評価する。				め。ま	た、非常用持	出品の配布につ	いては、町民	の防災意識の向
	有効性	4	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	卢	引い					材を年次的に整
	12 293 1		評価する。			., •					常用持出品を配
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	層	高しい	l				により、公正な
	773 1 1		費は適正かを評価する。					確保しながら、	. より安価な業	者より調達し	ている。
				現状維持		縮小	0	FI 70			評価結果
\h. /T.	<u>_</u> _	事業	防災備蓄計画に基づ							、一定	
次年/		尹木	の防災用品を無償でき	主尸配布 し、	防災	L_对 9 名	らざつか	いけつくりを日間	りとする。		
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	 皆減			TO 15 6/6 14
善内			転入者向けの非常用			440.1					現状維持
ш.,	_	予算	140 CH 117 CO 31 1137131	1 PH HH ** W11 ×	_			予算反映額	i o	千円	
								(概 算)			
今	<mark>今後の改善点</mark> 日頃からの備えとして、避難所等における備蓄品の見直し、検討を図る。										

1. 事業内容

事務事業名	防災訓練事業	課・グループ名 危機対策課危機対策グループ									
于初于木石	则 炎则株争未	評 価 者 名	総務部長	那須 清二							
総 基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり	款	02 総務費	Ę							
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	07 防災体制の強化	予 項	01 総務管	管理費							
計 施策(中)	O 1 防災体制の充実、強化	科目	11 諸費								
画 施策(小)	02 備品の整備や訓練による防災意識の向上、体制の強化	大事業		対策事業							
事業期間	終期未定 平成27年度 ~	中事業	03 防災訓	練事業							
要求区分	継続 <u>町長重点政策</u> 〇										
根拠法令等	美幌町地域防災計画		経費区分	政策的経費							
事業概要	美幌町自治会連合会や単位自治会等の地域及び消防や警察等の各関係機関と連携した避難行動訓練を実施する。 町が主催する総合防災訓練を3年に一度実施する。(次回令和7年度実施) また、美幌駐屯地隊区内2市8町防災担当職員による災害対処研修会を実施し、更なる連携強化を図るほか、厳冬期における災害を想定した訓練を実施することで、防災意識の向上と体制を強化する。										
事業目的	自助、共助、公助の役割について理解し、災害に対する町民の防災意識 最小限度にとどめる。	戦の高揚を促	し、発災後に	おける被害や混乱を							
事業の対象	職員、町民、自衛隊、消防、警察、気象台										
実施結果	【実施結果】 職員、住民、自衛隊、消防、警察、気象台等と連携した避難行動訓練、	図上訓練等	を行う。								
現状と課題											
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - <mark>左の具体的な</mark> 内容										

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費 (千円)	317	39	73	39	486	73
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	200	0	0	0	0	0
一般財源	117	39	73	39	486	73
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	317	39	73	39	486	73
						(目3.体)

(見込値)

今後の改善点

3. 評	严価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和0	7年度	令和08年度
指	防災	訓練実施	回数	目標	回		4	4	4		4	4
指標				実績	回		3	4	4			
1				達成率	%		75	100	100			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指標	<u>目標</u>											
標												
3 達成率 %												
	項目		評価の視点		評	F価			理由			
	妥当性	<u></u>	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	<u> </u>	 {当	地域に	対し、自助、	共助、公助の役	割の理解	解と防災	災意識の高揚を
	Д = 1.	<u> </u>	うかを評価する。					とで、災害時の				
	有効性	4	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	膚	ξι\	い 地域や関係機関と連携して各種訓練を開催することで、災害への					
	13 293 1.		評価する。									図ることができ
	効率性	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	信	らい		5災訓練を通じ、			或の防災	災意識の高揚を
	773 1 1.		費は適正かを評価する。			-		かつ関係機関	との連携強化を	·図る。		
				現状維持		縮小	C		. —	15 1 =	1	评価結果
\h. /T.	<u>_</u> _	事業	美幌町自治会連合会	や単位目治会	会なと:	地域と連	単携した	:避難行動訓練な	2凶上訓練を実	施する		
次年 取組 (~	于木	0									
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	C) 皆減			-	日小44++
善内			近年の災害状況を踏っ		_			ζ			‡	現状維持
		予算	発に即した訓練を実施					予算反映額	0	千円		
	(概算)											

全町的な訓練は3年に1度であるが、単位自治会との訓練や図上訓練を通じて、防災意識の向上を図る。

1. 事業内容

事務事業名	災害時避難者支援体制強化事業	課・グ	ループ名	危機:	対策課危機	対策グループ					
学 初学未包	火台时赶我往又该体制强化事术	評価	者 名	総務	部長 那須	清二					
基本目標	O 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり		款	хх							
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	O 7 防災体制の強化	予	項	хх							
	0 1 防災体制の充実、強化	算 科	目	XX							
画 施策(小)	04 災害時における避難者支援体制の強化	_	大事業		災害時避	維者支援体制強					
事業期間	単年度	디	中事業	00		華難者支援体制強 政策的経費 時避難行動要支援 難先や避難支援等					
要求区分	新規 <mark>町長重点政策</mark> 一										
根拠法令等	災害対策基本法、美幌町地域防災計画		;	経費区	<mark>区分</mark>	政策的経費					
事業概要	自ら避難することが困難であって、円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する災害時避難行動要支持者への対応。 避難行動要支援者名簿の作成。さらに、避難行動要支援者ごとに避難支援等を実施するため、避難先や避難支援等 実施者を記入した個別避難計画を作成し、更なる避難の円滑化や迅速な避難の確保を図る。										
事業目的	災害時における避難者支援体制の強化を図る。										
事業の対象	災害時避難行動要支援者										
実施結果	【実施結果】 避難行動要支援者名簿と個別避難計画の作成により、災害時における	る避難者	者支援体	制の引	強化を図る						
現状と課題	【現状と課題】 対象者と避難支援実施者の整理と情報更新が課題。										
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況										

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	0	0	0	0	0	0
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)(千円)	0	0	0	0	0	0
						(目17 体)

3. 評	価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和0	7年度	令和08年度
垖	個別:	避難計画	i整備率	目標	%				0		100	100
指標				実績	%				3			
1				達成率	%							
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指												
指標												
3				達成率	%							
	項目		評価の視点		部	呼価	理由					
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、				<u>1</u>		避難行	動要支援者の:	災害時の被害を	最小限的	こ抑えら	られるため。
	女ヨロ	Τ	うかを評価する。		3							
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	į	ลี เ	避難計	画を作成する	ことで、自助、	共助の征	殳割を╕	戸時から備える
	ו נאי כו	<u> </u>	評価する。		-	., •	ことができ、実災害時に実用性のある避難が可能となるため。					
	効率性	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経		_						
	293-1-1		費は適正かを評価する。									
			- ,,,,,,	現状維持		縮小	0	休止・廃止			1	評価結果
35 to 5	_	事業	全地区を対象に個別	壁難計画の作	作成に.	取り組む	·.`.					T IM THE STATE OF
次年月		尹未										
取組の 向性			○ 拡充 ●		0	縮小	0					
善内容			今後のシステム導入									改善
一百四十	F	予算	対象のフステム等人						[[)千円		
			組む。	WV B C O	ارو٠،۵۰	01 E 1 1 F /4	~1~4X 7	(概算)		´'''		
今往	今後の改善点 福祉部局との連携を図り、実用的で更新可能な運用を目指した仕組みを構築する。											

1. 事業内容

事 淼	事務事業名	温泉入浴料助成事業	課	・グループ名	保優	建福祉課i	高齢介護グループ
	于木石	温水八 石 杆切风事未	Ē	评価 者 名	福礼	上部長	吉田 善一
総	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		款	03	民生費	Ì
総合計	施策(大)	02 高齢者福祉の充実	予算	項	01	社会福	証 社費
	施策(中)	02 自立生活の支援	算 科 日	月 大事業	03		首福祉費
	施策(小)	O 1 健康づくり・疾病予防の推進	01		首福祉推進事業		
	<u> 期間</u>	4年度 令和5年度 ~ 令和8年度		中事業	06	温泉入	、浴料助成事業
要习	区分	継続 <u>町長重点政策</u> 〇					
根拠	·法令等	美幌町温泉入浴料助成事業実施要綱			経費	区分	政策的経費
		温泉入浴料の1/2を助成することで福祉風呂の利用促進を図り、介護者	の負	担軽減及	び要:	介護者の	D健康増進を図る。
	le ing ar						
争身	農概要						
		介護者の負担軽減及び要介護者の健康増進					
事当	美目的	7 版 6 0 英 II					
1	, ,						
事業	の対象	要介護1~5及び介助者					
		【実施結果】					
実が	拖結 果	温泉施設入浴料金の一部助成を実施した。					
	•						
現状	と課題	【現状と課題】					
		・自宅で入浴する際は介護者が抱きかかえるなど介護負担が大きい	,, ,				
		・介護負担軽減にはデイサービスによる入浴もあるが家族との入浴は糞	Eし	<u>۱۱</u>			
		2 予定どおりに進んでお 進捗度3又は - 左の具体的な					
事業	進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - <mark>左の具体的な</mark> り、順調な進捗状況 4の理由 内容					
		り、順調は延沙仏が					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
Infl	業費		(千円)	0	26	612	42	283	283
	国支出金			-	0	0	0	0	_
	道支出金			-	0	0	0	0	_
	地方債			-	0	0	0	0	_
	その他			_	26	0	0	0	_
	一般財源			0	0	612	42	283	283
	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	(事業費+人件費)		(千円)	0	26	612	42	283	283

(見込値)

<u>3. 評</u>	平価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	度	令和08年度
tΕ	利用	者(延べ	人数)	目標	人			100	250		200	200
指 標				実績	人			86	161			
1				達成率	%			86	64. 4			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3	3			達成率	%							
	項目 評価の視点					呼価			理由			
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかっかを評価する。				妥	半当	介護者の負担軽減及び要介護者の健康増進を図ることは妥当である。					ことは妥当であ
	有効	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高	ξι\	定期和	川用に繋がり有る	効である。			
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	ξι ν	自己負	負担もあり適正7	な経費である。			
			O 拡充 ● 周知を継続し、利用	現状維持		縮小	С	休止・廃止			Ī	評価結果
次年 取組 (の方	事業	/ii/시대 전 배환하였 (C) 각각//ii/	た								
向性				現状維持		縮小	С	」 皆減			3	現状維持 📗
善内	容	予算	事業継続のための予算	算の確保が必	必要。			予算反映額 (概 算)	0	千円		N N ALE 1 / 1
今	今後の改善点 周知により入浴証交付者数を増加させることが必要。							•				

1. 事業内容

事務事業名	地域福祉活動支援事業	課・グループ名	保健福祉課	高齢介護グループ		
争仍争未有	心场佃位石划又汲于木	評価者名	福祉部長	吉田善一		
総基本目標		款	03 民生費	ŧ		
合 施策(大 計 施策(中		予 項	01 社会社	冨 祉費		
		予 項 算 目		03 高齢者福祉費		
画 施策(小		大事業		音福祉推進事業		
事業期間	終期未定 平成21年度 ~	中事業	01 地域社	冨祉活動支援事業		
要求区分	継続					
根拠法令等			経費区分	政策的経費		
事業概要	市街地の自治会単位で活動している「たすけあいチーム」に対し、地域町で全ての高齢者宅等の間口除雪を行うことは不可能であり、「たすけ担軽減のために、「たすけあいチーム」に家庭用除雪機を貸与する事業	けあいチーム	」に協力を依	頼している。その負		
事業目的	たすけあいチームに除雪機を貸与することにより、高齢者宅等の間口隙	(雪作業を支	援していく。			
事業の対象	各自治会たすけあいチーム					
実施結果	【実施結果】 町所有の除雪機を貸与し、高齢者世帯への間口除雪を実施。					
現状と課題	【現状と課題】 チーム員の高齢化や人員の確保が困難となっている。					
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費 (千円)	1, 110	3, 363	1, 667	1, 246	1, 734	1, 734
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	600	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	1, 000	2, 000	1, 000	1, 010	1, 000	1, 000
一般財源	110	763	667	236	734	734
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	1, 110	3, 363	1, 667	1, 246	1, 734	1, 734
						(目3.値)

3. 評	严価										(元之祖/
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
培	除雪	機貸与台	汝	目標	台数		21	24	24	24	24
指 標				実績	台数		21	20	20		
1				達成率	%		100	83. 33	83. 33		
指	除雪	除雪対象世帯数		目標	世帯		134	134	134	150	150
指 標 2				実績	世帯	世帯 14		177	122		
2				達成率	%	1	05. 22	132. 09	91.04		
指				目標							
指 標 3			実績								
3				達成率	%		T				
	項目	1	i	評	呼価	理由					
	妥当	<u></u> 性	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	7	~~				高齢者等の除	雪負担軽減のた
		-	うかを評価する。					可欠であり妥			
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等か 評価する。	適切かどうかを	高い 除雪作業の負担軽減のために、小型除雪機の貸与は					は有効である。	
			計画する。 費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経 _{古」、} 「たすけあいチーム」のボランティアによ					マにトリ宝体	ナカアセル 奴	
	効率(性	費は適正かを評価する。	00 (Stil over	高	ましい	1	ぱに貢献してい.		アにより天心	ピイレ て 63 り、 小主
			〇 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С				評価結果
次年	中の こうしょう	事業	高齢者世帯への間口	除雪支援は	今後も	必要でも	あり事業	を継続する。			计测师未
取組		子术									
向性	• 改		○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С) 皆減			現状維持
善内:	容	マ畑	事業を維持するため	の予算を確信	呆して	いく。		マ 体 口巾+ かる			シレ・ハヘル氏 3寸
		予算						予算反映額	0千円		
			BA T 100 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		_ , ,_			(概算)			
今	後の改	Z善点	除雪機が老朽化して	いるため適切	刃な修	語が必 引	要 。				

1. 事業内容

事務事業名	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	課・グループ名	4 保健福祉課	高齢介護グループ		
争协争未位	11七個性 9 ころ又汲事未	評 価 者 名	福祉部長	吉田善一		
総基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ	款	03 民生費	ŧ		
合 施策(大) 計 施策(中)	02 高齢者福祉の充実	予 項		社会福祉費		
	02 自立生活の支援	予 項 算 目		首福祉費		
画 施策(小)	04 生活環境の整備	大事業		量祉事業		
事業期間	終期未定	中事業	02 在宅福	冨祉サービス支援事		
要求区分	継続 町長重点政策 〇					
根拠法令等	美幌町介護予防・生活支援事業条例		経費区分	政策的経費		
事業概要	高齢者の自立した在宅生活を確保するために、介護予防・生活支援事業などの支援や在宅高齢者の住環境整備支援を拡充する。	に基づく特	宇定高齢者訪問	介護や移送サービス		
事業目的	高齢者等に介護が必要な状態に陥り、さらに悪化しないような介護予防できるよう支援を行う。	を推進させ	、自立した生	活を確保することが		
事業の対象	要介護状態等となるおそれのある高齢者等					
実施結果	【実施結果】 要介護状態等となることを予防し、自立した日常生活を営むことに寄与	できた。				
現状と課題	【現状と課題】 当サービスを必要とする方への制度の周知を徹底する必要がある。					
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況					

2. 年度別事業費

(<u>単位:千円)</u>

		令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費	(千円)	3, 317	3, 358	13, 921	8, 409	16, 117	16, 117
国支出金		0	0	0	0	0	0
道支出金		0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0
その他		3, 317	3, 358	13, 000	8, 000	16, 000	16, 000
一般財源		0	0	921	409	117	117
人件費	(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	(千円)	3, 317	3, 358	13, 921	8, 409	16, 117	16, 117

3. 評	陌										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
tΕ	移送·	サービス	利用回数	目標	回				400	450	450
指標	(延	ベ回数)		実績	回				418		
1				達成率	%				104. 5		
指	住宅	改修助成	件数	目標	件		4	5	5	2	2
指標				実績	件	件 2		0	1		
2				達成率	%		50	0	20		
指	指			目標							
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
	項目		評価の視点		部	P価	理由				
	妥当性 目的や現状及び課題から、町			今やるべきかど	끃	妥当 高齢者等の自立した生活を送るための支援であり妥当:					妥当である。
	有効性	华	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高	ξι\	自立した生活を確保するための介護サービスに準じた支援等を 供しており有効である。				
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	ξιν		耐単価を基本		な経費である。	2
			○ 拡充サービスの提供は今行	現状維持 後も必要とる		縮小 おり、『	C 事業は継	11-2 /02			評価結果
次年 取組	の方	事業									
向性				現状維持		縮小	C) <u></u> 皆減			現状維持
善内	容	予算	事業継続のための予算	算の確保が必	必要。			予算反映額(概 算)	i o	千円	
今										必要。	

1. 事業内容

事務事業名	福祉担い手育成推進事業	課・グループ名	保健福祉課	高齢介護グループ						
于初于木石	個位担い子月以往進事末	評 価 者 名	福祉部長	吉田 善一						
総 基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ	款	03 民生費	ŧ						
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	02 高齢者福祉の充実	予 項	01 社会福	基 社費						
計 施策(中)	07 介護保険事業の安定化	算 科 目	03 高齢者	音福祉費						
画 施策(小)	02 介護人材の確保対策の推進	大事業		首福祉推進事業						
事業期間	終期未定 令和2年度 ~	中事業	05 福祉担	日い手育成推進事業						
要求区分	継続 町長重点政策 ○			,						
根拠法令等	美幌町介護予防・生活支援事業条例		経費区分	政策的経費						
事業概要	町内の介護人材の確保及び資質の向上と定着の促進を図るため、資格取得等に係る経費の一部や町外から転入し町の介護事業所に勤める方に住宅準備費用を支援する。また、町内の介護事業所に新たに就職した方に勤務開始から年経過するごとに3年経過時点まで毎年就業支援補助金を交付する。 国内の担い手不足から介護事業所において外国人介護職員を確保した場合に採用等に係る経費を助成する。									
事業目的	町内の介護人材の確保及び資質の向上									
事業の対象	町内の介護サービス事業所を運営する法人、同事業所に従事及び従事予	定の者								
実施結果	【実施結果】 町内の介護従事有資格者の増									
現状と課題	【現状と課題】 資格取得の後押しにはなっているが、介護事業所での職員不足は続いて	 :いる。 								
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

			令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費		(千円)	2, 256	175	3, 540	549	2, 730	2, 730
国支出金			0	0	0	0	0	0
道支出金			0	0	0	0	0	0
地方債			0	0	0	0	0	0
その他			2, 256	175	3, 540	450	2, 730	2, 730
一般財源			0	0	0	99	0	0
人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)		(千円)	2, 256	175	3, 540	549	2, 730	2, 730

3. 評	陌												
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度		
t⊑	資格:	取得助成	Ì	目標	人		20	20	20	6	6		
指標				実績	人		7	2	4				
1				達成率	%		35	10	10				
塢				目標									
指 標				実績									
2				達成率	%								
指				目標									
指 標				実績									
3				達成率	%								
	項目		評価の視点		部	呼価			理由				
	妥当怕	#	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	<u> 55</u>	2当	町内事業所の介護従事者不足解消のため妥当である。						
	女ヨ	Ξ	うかを評価する。										
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	į	5U1	資格取	マ得の後押しとネ	なるものとして	、介護従事者	から高評価であ		
	ונאגדו		評価する。		り、有効性は高い。								
	効率	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経 高い 町内事業所勤務が補助の条件のため、効率						、効率性は高	い。		
	293 1 1		費は適正かを評価する。			-							
				現状維持		縮小	C	FI-2 /02			評価結果		
>h- h- 1		事業	制度の再周知を行い、							7 /7 #			
次年 取組	~	尹木	令和7年度より、介護		いてタ	ト国人が	護職貝	を帷保した場合	に採用寺に係る	6 栓質			
向性 向性			を助成する制度を追加 ○ 拡充 ●	<u>யしまり。</u> 現状維持	0	縮小	C	 と 皆減					
善内			事業継続のための予算			<u> 세</u> 다 기 .					現状維持		
		予算	于 米市区的1007720707] · ·	H-02 HE IV 12 3	۰٠٠٠			予算反映額	Į O	千円			
								(概 算)	Ĭ				
슫	後の改	·盖占	介護人材の確保に向け	ナ、事業所と	とも連	携しなた	バら事業	周知を徹底して	ていく				
7	IX VY LX	一一一											

1. 事業内容

事務事業名	温泉入浴料助成事業	課・グループ名	社会福祉課	民生障がい福祉グループ
尹扬尹未石	血水八 冶 村助以事未	評価者名	福祉部長	吉田善一
基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ	款	03 民生費	ŧ.
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	03 障がい者福祉の充実	予 項	01 社会社	冨祉費
計 施策(中)	O 2 障がい者の自立生活の支援	予 算 目 目	05 障害科	冨祉費
画 施策(小)	O 1 福祉サービスの提供体制の充実	^目 大事業		冨祉給付事業
事業期間	5年度 令和4年度 ~ 令和8年度	中事業	03 温泉/	、 浴料助成事業
要求区分	継続 <u>町長重点政策</u> 〇			
根拠法令等			経費区分	政策的経費
	身体・知的・精神障がい者に対して、温泉施設を利用する際に入浴料金	会の助成を行	うことで、負	担軽減と利用促進に
	よる健康増進を図る。			
事業概要	これまで回数券は助成対象外だったが、令和6年度より対象とする。			
	令和7年度より一緒に入浴する介助者も対象とする。	. B.L. +v		
	助成対象者:身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳所持者、介	门切首		
* * 0 *	障がい者の負担軽減と健康増進を図る。			
事業目的				
古世の共存	自从除字老毛柜 法充毛柜 使抽几牌短机毛柜几针老 人时老			
事業の対象	身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者、介助者			
実施結果	【実施結果】 温泉施設入浴料金の一部助成(利用料金の1/2を間接助成)			
大 心 心 木	血水池設入沿台並の	- 半翅助成)		
現状と課題	<u> 「現状と課題】</u>			
がいて味色	「関係ではある」 「障がい者への福祉の増進と峠の湯利用促進に向けて行っているが、利用	3者が固定化	されているた	め、障がい者全体の
	負担軽減と利用促進による健康増進を図る必要がある。	, 1 % El % 10	10,1000 010	, o, C + 10 0 1 - 11 11 11 11 11 1
		_		
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - <mark>左の具体的な</mark>			
子不足沙皮	り、順調な進捗状況 4の理由 内容 内容			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

_	1/2/11/11/12								· · · · · · · · · · ·
				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
=	事業費 (千円)			751	875	1, 065	798	1, 056	1, 056
	国支出金			0	0	0	0	0	0
	道支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			0	875	1, 065	797	1, 056	1, 056
	一般財源			751	0	0	1	0	0
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	十 (事業費+人件費)		(千円)	751	875	1, 065	798	1, 056	1, 056

(見込値)

<u>3. 評</u>												
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
指	利用:	者(助成	対象者)	目標	人		2, 300	2, 505	2, 800	3, 200	3, 200	
指 標				実績	人		2, 525	2, 917	3, 092			
1				達成率	%	1	09. 78	116. 45	110. 43			
指				目標								
指 標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標				実績								
3	3			達成率	%							
項目 評価の視点 評価 理由												
	妥当怕	生	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	妥当		□ 障がい者の方々の健康増進を行うため、現在の事業内容は妥当				業内容は妥当だ	
	Д Э 1	т		9		と考え						
	有効性	4	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	単	誦	助成を	行うことで、『	章がいを持つ方	の利用が増え	ることとなり、	
	ונאינו		評価する。			1 112	────────────────────────────────────					
	効率性	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	検討 まだ事業開始2年目であるため、今後の利用				後の利用実績	等を見ながら、┃		
	293-1-1		費は適正かを評価する。			今後の運用内容等を検討していく。						
				現状維持		縮小	0	11 70			評価結果	
		事業	障がいを持つ方の健康							と考え		
次年原 取組の		尹未	、介助者についても何	并せて助成す	するこ	とで更に	こ利用し	.やすい制度とす	「る。			
D 放租 D 自性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0) 皆減			_, ,,,	
尚は 善内名			現段階では、利用料金								改善	
	1	予算	に次年度も実施する				_ ` ^	予算反映額	0	千円		
			1-5(1)2 0 5(1)2 7 0			,		(概 算)	Ĭ			
<u>~</u> 2	後の改	· 善占	介助者についても障	がいを持つフ	ちと一	緒に入済	的成对	象とすることで	で更に利用しや	すい内容に拡	充する。	
71	反り以	告 从	今後も利用者の方か									

1. 事業内容

事務事業名	地域生活支援事業	課	・グループ名	社会	会福祉課民生障がい福祉グループ					
尹仍尹未有	地域工冶文版事業	i	平価者名	福礼	上部長 吉田 善一					
※ 基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		款	03	民生費					
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	03 障がい者福祉の充実	予算	項	01	社会福祉費					
計 施策(中)	O 2 障がい者の自立生活の支援	算科	目	05						
画 施策(小)	O 1 福祉サービスの提供体制の充実	目	大事業	03						
事業期間	終期未定 平成28年度 ~		中事業	02	地域生活支援事業					
要求区分	継続 町長重点政策 〇									
根拠法令等	障害者総合支援法			経費	<mark>区分</mark> 政策的経費					
事業概要	障がい者等が自ら選択した場所に居住するとともに、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会 活を営むことができるよう生活実態の把握や情報提供など、関係機関と連携を図り地域生活支援事業を実施する。 相談支援事業、地域活動支援センター、日中一時支援、移動支援等の業務委託料 日常生活用具等の給付事業 地域生活支援拠点の整備									
事業目的	地域において自立した日常生活を営める									
事業の対象	障害者等									
実施結果	【実施結果】 地域活動支援センター、日中一時支援、移動支援等の支援事業 日常生活用具等の給付事業									
現状と課題	【現状と課題】 当事業により障がい者が利用する関係事業所の縮小等地域資源の減少が続いており、事業継続に向け、地域資源の確保などが必要。									
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
Į.	事業費 (千円)			56, 534	60, 280	67, 390	55, 871	69, 202	69, 202
	国支出金			10, 697	10, 755	11, 874	9, 492	11, 850	11, 850
	道支出金			8, 047	6, 857	9, 222	6, 693	8, 538	8, 538
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			0	0	0	0	0	0
	一般財源			37, 790	42, 668	46, 294	39, 686	48, 814	48, 814
	件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	†(事業費+人件費)		(千円)	56, 534	60, 280	67, 390	55, 871	69, 202	69, 202

(見込値)

今後の改善点

3. 評	呼価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
指	地域	生活支援	事業の利用者数	目標	人			100	105	110	115
指 標				実績	人		92	100	104		
1				達成率	%			100	99		
指				目標							
指 標 2				実績							
2				達成率	%						
指	<mark>造</mark>			目標							
指 標	二			実績							
3	3			達成率	%						
	項目	l	評価の視点	i	評	評価 理由					
	妥当性		目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	3	妥当 法により町での実施が定められているため、妥当である。					である。
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普	F通	相談などを通じ必要なサービスへつなげているため有効性及で 率性がある。				め有効性及び効
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	ξι,	相談などを通じ必要なサービスへつなげているため有効性及び 率性がある。				め有効性及び効
			〇 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	休止・廃止			評価結果
次年	~	事業	必要なサービスを提	供するため	現在の	制度を約	迷続する	0			
取組(向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0				
善内			必要なサービスを提								現状維持
- F 37	п.	予算		N 7 W 1_0/4	νυ IT 0 / Ι	ᄞᄁᄝᅩᇿᄞ	正心し フ つ	予算反映額	į o	千円	
			· ·					(概 算)	Ĭ	· · · ·	
今	後の改	善点	事業内容を検討する。)						-	

1. 事業内容

車 淼	事業名		課・グループ	^{戊名} 農林政策課	農政グループ
于 4万	**************************************	展悟足仍住足事术	評価者	経済部長	河端 勲
松	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ	款	06 農林	水産業費
総合計	施策(大)	03 障がい者福祉の充実	予 項	01 農業	費
	施策(中)	O 4 障がい者の社会参加、生きがい活動の促進	予 項 月 目		辰興費
	施策(小)	02 農福連携の推進	大事		辰興事業
	業期 間	単年度	中事	業 98 農福	連携推進事業
要习	ド区 分	継続 町長重点政策 〇			
根拠	l法令等			経費区分	政策的経費
事業	業概要	農業と福祉が連携することにより、農作業に係る担い手不足解消と障 農福連携を推進していく。	がい者等	の雇用の場の倉	一設が行えるように、
事業	業 目 的	農業と福祉が互いに必要とする分野で連携を図る。			
事業	の対象	農業関係者、福祉関係者			
実が	施結果 •	【実施結果】 農業関係者と農福連携について協議を行った。			
現状	と課題	【現状と課題】 農業現場に導入するための制度設計が必要である。			
事業	進捗度		福祉関係を	者との協議の場	を設けることが出来て

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	1 100 111 1 111 11								
				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事	事業費 (千円)			0	295	0	0	0	0
	国支出金			0	0	0	0	0	_
	道支出金			0	0	0	0	0	-
	地方債			0	0	0	0	0	-
	その他			0	0	0	0	0	1
	一般財源			0	295	0	0	0	0
	件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	†(事業費+人件費)		(千円)	0	295	0	0	0	0

(見込値)

<u>3. 計</u>	<u> </u>										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
塢	農福	連携の調	査研究及び協議回数	目標	回		6	6	6	6	4
指標				実績	回		4	2	1		
1				達成率	%		66. 67	33. 33	16. 67		
指				目標							
指 標 2				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
	項目 評価の視点 評価 理由										
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかん うかを評価する。					討	農業者が必要とする施策か検討を行う。				
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普	通	関係機関と連携を図っている。 				
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	ξι\	関係機	機と連携を図 [.]	っている。		
				現状維持		縮小	С	<u> </u>			評価結果
	.	+ **	障がい福祉サービス	事業所や生産	全者と	連携を決	架め、農	福連携を推進す	ける。		山川岡小山木
取組	次年度の 事業 取組の方										
向性				現状維持		縮小	С	皆減 皆減			現状維持
善内	容	予算	現状予算の範囲内で	事業推進を図	図る 。			予算反映額(概算)	i o	千円	20 Mar 14
今後の改善点 障がいサービス事業所や生産者と連携を深めること。							•				

1. 事業内容

事務事業名	次世代育成支援推進事業	課・グループ名	社会福祉課	児童支援グループ						
于初于木石	次 E N F / 从 文 版 班 座 爭 未	評価者名	福祉部長	吉田 善一						
総 基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ	款	03 民生費	美						
合 施策(大) 計 施策(中)	04 子育て支援の充実	予 項	02 児童科	畐祉費						
	0 1 次世代育成支援	_ <mark>予 </mark>	01 児童科	畐祉総務費						
画 施策(小)	01 子ども・子育て支援事業の推進	大事業		畐祉事務						
事業期間	終期未定	中事業	01 次世代	弋育成支援推進事業						
要求区分	継続									
根拠法令等	子ども・子育て支援法等		経費区分	政策的経費						
事業概要	子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育てをめぐる現状と課題に対して社会全体による費用負担を行いながら、「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」「保育の量的拡大」「地域の子ども・子育て支援の充実」に向けた取組を推進していく。 私立の認定こども園等に対し「給食費補助」を実施する。									
事業目的	安心して子育てができる環境にするため。									
事業の対象	町内に居住の児童及び保護者									
実施結果	【実施結果】 子ども・子育て支援事業計画の推進									
現状と課題										
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
Ę	事業費(千円)			315, 950	326, 634	402, 174	364, 019	434, 782	435, 000
	国支出金			130, 230	140, 273	179, 807	161, 327	191, 204	192, 000
	道支出金			83, 502	82, 428	98, 434	87, 107	102, 466	103, 000
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			1, 000	4, 000	14, 000	13, 174	64, 700	65, 000
	一般財源			101, 218	99, 933	109, 933	102, 411	76, 412	75, 000
	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	十(事業費+人件費)		(千円)	315, 950	326, 634	402, 174	364, 019	434, 782	435, 000

3. 🖺	平価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
tie	協議	会開催回]数	目標	回		2	3	2		2 1
指 標				実績	回		1	1	2		
1				達成率	%		50	33. 33	100		
指				目標							
指 標 2				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
	項目	1	評価の視点		部	平価			理由		
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきか					妥当 子ども・子育て支援事業計画を推進しているため妥当である					か妥当である。
	妥当性 うかを評価する。					T =					
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	<u> 1</u>	通	必要な	は協議が実施で	きている。		
	.H WI	iT.	評価する。								
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	喜	高い 国の制度に基づいているため適正である。					
	79J T	<u>-</u>	費は適正かを評価する。			-					
				現状維持		縮小	C	11 70			評価結果
		事業	現計画及び民間幼稚園	園の意向を認	及んだ	事業の排	推進を図	1る。			HI IM (HV)
次年		尹未									
取組 向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	C				
善内			0 10-75								現状維持
	Ti Ti	予算	援する。	適正な運営を図るため、継続して支 予算反映額 0千円					4円		
			1227 00					(概 算)	Ĭ		
<u></u>	後のみ	7盖占	第3期子ども・子育	て支援事業詞	十画を	令和 7 年	₹3月に	策定。社会経済	4情勢や保育ニ	一ズの変化に	対応しながら事
今後の改善点 第3 朔子とも・子首で文援事業計画を下柏ノ平3 月に泉足。社会経済情勢で								-			

1. 事業内容

事務事業名	子ども医療費助成事業		課	・グループ名	社会	社会福祉課民生障がい福祉グループ						
学初学 未省	」 こ 0 区 原 員 功 成 争 未				ā	評価 者名	福礼	上部長	吉田善一			
総 基本目標	02 自然の美しさやく	らしの安心を、∂	みんなで護り	あうまちづ		款	04	衛生費	Ī			
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)					予	項	01	01 保健衛生費				
	0 1 次世代育成支援 0 2 子育て世代への支				— <mark>予</mark> 算 科	目	01		行生総務費			
画 施策(小)		B	大事業	02		医療費助成事業						
事業期間		令和8年度				中事業	01	子ども	医療費助成事業			
要求区分	継続		町	<mark>長重点政策</mark> C)							
根拠法令等	北海道医療給付事業補助金	☆交付要綱、美 帱	町子ども医療	寮費助成に関す	る条	例	経費	区分	政策的経費			
事業概要	子どもの医療費を助成することを目的とする。	ることにより、	子どもの疾病	あの早期診断と	早期	治療を促	進し保	健の向	上と福祉の増進を図			
事業目的	健康の向上と経済的支援											
事業の対象	18歳の誕生日を迎えた年度	E末までにある児	記童									
実施結果	【実施結果】 医療費の一部助成											
現状と課題	【現状と課題】 令和6年8月に対象児童年 下の児童が助成を受けられ				 散廃	したことが	から美		に住む全ての18歳以			
事業進捗度	2 予定どおりに進んでおり、順調な進捗状況	進捗度3又は 4の理由	-	左の具体的な 内容								

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
Ī	事業費(千		(千円)	35, 174	41, 105	54, 228	57, 010	61, 002	61, 002
	国支出金			0	0	0	0	0	0
	道支出金			7, 104	8, 329	9, 357	8, 828	9, 627	9, 627
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			117	12	56	301	30, 105	30, 105
	一般財源			27, 953	32, 764	44, 815	47, 881	21, 270	21, 270
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
	計(事業費+人件費)		(千円)	35, 174	41, 105	54, 228	57, 010	61, 002	61, 002

(見込値)

3. 評	<u> </u>											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
tΕ	対象.	児童数		目標	人			1, 797	1, 984	1, 843	1, 843	
指標				実績	人		1, 527	1, 452	1, 843			
1				達成率	%			80.8	92. 9			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点		部	呼価			理由			
	妥当怕	生	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	3	2当	l	子育て支援事業			ついて助成する	
			目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを							新レ日期 込成が	
	有効性	生	評価する。	<i>⊵91</i> % € 7% €	高	引い	美幌町内高校生年代までの子どもの疾病の早期診断と早期治療 図られるため、事業内容は有効。					
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	村	討	l	E年代まで助成 [:] F価する。	を拡充したこと	により、今後	の実績等を見な	
			0 ,,,,,,	現状維持		縮小	С	111-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11			評価結果	
	.	+ **	子どもの疾病の早期	診断と早期に	台療が	図られる	るため、	現在の事業内容	容を継続して実	施すべ	піштіж	
次年) 取組(事業	きと考える。									
向性			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С) 皆減			現状維持	
善内	容	予算	現在の制度内容を継続	続する。				予算反映額	į o	千円	シア・ハイルモ 1・1	
								(概算)				
今後の改善点									よ予算額の積算	について、実績	績を踏まえた確 	

1. 事業内容

事務事業名	民間保育園利用者補助事業	課・グループ	名 社会福祉課	社会福祉課児童支援グループ			
于初于木石	以间体自图型用自開助事業	評価者名	福祉部長	吉田 善一			
総 基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ	款	03 民生	費			
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	04 子育て支援の充実	予 項	02 児童ネ	福祉費			
	03 保育園(所)の充実	予 算 目 十 主 来		福祉総務費			
画 施策(小)	03 0歳児保育・休日保育の推進	八字木		<u>富祉事務</u>			
事業期間	単年度	中事業	: 02 │ 民間(<u>保育園利用者補助事</u>			
要求区分	継続						
根拠法令等			経費区分	政策的経費			
事業概要	町で実施していないの歳児保育を行っている民間(NPO)保育所に対との差額を補助し、保護者の負担軽減を図る。	し、0歳~	∼2歳児までの)利用者には町保育料			
事業目的	保護者の経済的負担の軽減						
事業の対象	民間(NPO)保育所に通園する児童の保護者						
実施結果	【実施結果】 補助金の交付を行う。						
現状と課題	【現状と課題】 施設の老朽化及び人材(保育士等)確保の課題がある。						
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況						

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	10, 570	9, 753	15, 804	12, 233	14, 645	14, 112
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	10, 570	9, 753	15, 804	12, 233	14, 645	14, 112
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)(千円)	10, 570	9, 753	15, 804	12, 233	14, 645	14, 112

(見込値)

っていく。

<u>3. 評</u>	<u>'価</u>											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和0	7年度	令和08年度
t⊑	補助	対象保育	園数	目標	箇所		1	1	1		1	1
指標				実績	箇所		1	1	1			
Ĩ				達成率	%		100	100	100			
ti:				目標								
指 標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点	į	評	·価 理由						
	妥当怕	生	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	妥当			ミ施していない ごある。	〇歳児保育を行	iってお ^し	り、子育	育て支援のため
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等か 評価する。	適切かどうかを						となって	ている。	
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	肓	高い			の軽減が図られ え方であるため			経減については
			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	休止・廃止			1	評価結果
0~2歳児の保護者の経済的負担軽減のための補 次年度の 取組の方								·交付する。				
向性			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	皆 減				見状維持 現状維持
善内容	容	予算	0〜2歳児保護者に対	して継続して	て支援	する。		予算反映額(概算)	<u> </u>	千円	٠	シレフヘル圧 1寸
今	今後の改善点 認可外保育所 (ひまわり保育園) が令和 9 年 3 月末 (令和 8 年度) に閉園予定となったため、閉									り、閉園	園まで支援を行	

1. 事業内容

事務事業名	プレママサポート等事業	課・グループ名	保健福祉課	健康推進グループ								
争伤争未有	プレママリホート寺事業 	評価者名	福祉部長	吉田善一								
※ 基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ	款	04 衛生費	Ę								
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	0 4 子育て支援の充実	予項	01 保健衛	5生費								
計 施策(中)	06 母子保健の推進	算 目	02 予防費	E C								
画 施策(小)	02 経済的支援の充実	大事業		R健事業								
事業期間	終期未定	中事業	02 プレマ	ママサポート等事業								
要求区分	継続											
根拠法令等	美幌町妊婦一般健康診査等交通費支援金交付要綱 美幌町特定不妊治療	§支援金助 	経費区分	政策的経費								
事業概要	子供を産もうとする世代や妊産婦および子育て世代の経済的支援のため、不妊治療に係る費用、妊婦健診時等の交通費の助成を行う。 特定不妊治療に係る費用、妊婦健診時等の交通費、出産・子育てに要する費用の助成を行う。また、特定不妊治療 (保険適用)に付随して実施する先進不妊治療費(保険適用外)の一部助成を行う。											
事業目的	妊婦・子育て世代の経済的支援を実施する。											
事業の対象	妊産婦等及び子育て世代の町民。											
実施結果・現状と課題	【実施結果】 申請に対し100%助成できた。若い子育て世代に対する経済的支援としの助成対象者からは、安心して治療継続できると高く評価していただし 【現状と課題】		 :つながってし 	 いる。特定不妊治療 								
	好産婦の経済的負担の軽減になっている。 											
事業進捗度	2 予定どおりに進んでおり、順調な進捗状況 進捗度3又は4の理由 左の具体的な内容											

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
틬	事業費 (千円)			11, 164	11, 079	14, 659	10, 392	12, 551	12, 551
	国支出金			6, 266	5, 000	5, 666	4, 899	7, 020	7, 020
	道支出金			1, 425	1, 116	1, 932	1, 060	176	176
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			0	0	0	0	0	0
	一般財源			3, 473	4, 963	7, 061	4, 433	5, 355	5, 355
	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	十(事業費+人件費)		(千円)	11, 164	11, 079	14, 659	10, 392	12, 551	12, 551

3. 🖺	呼価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
指	妊婦 [.]	一般健康	診査等交通費補助人	目標	人		90	80	85	70	70	
指標	数			実績	人		75	74	57			
1	,			達成率 %			83. 33	92. 5	71. 25			
塢	不妊:	治療費助]成延べ人数	目標	人		27	20	24	30	30	
指標				実績	人	人		32	27			
2				達成率	%		66. 67	160	112. 5			
指				目標								
指標				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点		評	理由						
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきか うかを評価する。					2当	l	期及び子育で「 がくりとして必		支援は安心し	て子育てできる	
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高	高い目標を上回る実績もあり、有効である。						
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	言	引い	交通費	の補助額とし	て適正である。			
			- III-11-0	現状維持		縮小	0	F1-31 //C31			評価結果	
		古光	子育て世帯の経済的									
次年度の 事業 保険適用となり道の補助事業が終了した特定不妊治療費助成事業は、令和5年度以降は町 取組の方 独自の助成事業として継続。										降は町		
向性				現状維持		縮小	0	上 皆減			現状維持 ┃	
善内	容	予算	現状維持のまま実施で	することがi	適当で	ある。		予算反映額(概 算)	į o	千円	20 DVIIIE 143	
今	今後の改善点 少子化が加速しているが、これからも安心して子育てができるよう、子育て世代に対し必要な支援を検討してい										爰を検討してい	

1. 事業内容

事務事業名	保健衛生推進事務	課・	グループ名	PICIE IN INCIDENCE POR					
于初于木石	体性用工作 性 事物	評	価者名	福礼	上部長	吉田善一			
総 基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		款	04	衛生費	Ę			
総 合 施策(大) 計 施策(中)	05 保健予防対策の推進	予	項	01 保健衛生費					
	01 総合的な保健体制の充実	予 算 科	目	01		有生総務費			
画 施策(小)	0 1 健康づくりの推進や保健医療体制の整備充実		大事業	01		5生推進事業			
事業期間	終期未定		中事業	01	保健領	5生推進事務			
要求区分	継続								
根拠法令等	美幌町保健・医療・福祉ネットワーク推進委員会設置要綱			経費	区分	政策的経費			
事業概要	美幌町保健・医療・福祉ネットワーク推進委員会を設置し、保健・医 発し、町民の健康増進及び健康寿命の延伸を図る。	療•	福祉に関	わる	必要な情	青報を町民に普及啓			
事業目的	町民が健康で安心して暮らせる町づくりを推進する。								
事業の対象	町民								
実施結果 ・ 現状と課題	【実施結果】 コロナ以降休止していた委員会活動を、フレイル予防推進を中心に令系 2回開催しており、令和7年度以降も年2回の講演会開催を目標として 【現状と課題】 保健・医療・福祉ネットワーク推進委員会としての活動は順調。			事開し 	.た。令 	和6年度は講演会を 			
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況								

2. 年度別事業費

(単位:千円)

Г				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
Г	事業費(千円		(千円)	3, 803	3, 948	4, 182	4, 034	4, 129	4, 129
L	国支出金			0	0	0	0	0	0
	道支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			0	0	0	0	0	0
L	その他			1, 284	1, 302	1, 302	1, 302	1, 302	1, 302
	一般財源			2, 519	2, 646	2, 880	2, 732	2, 827	2, 827
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
	計(事業費+人件費)		(千円)	3, 803	3, 948	4, 182	4, 034	4, 129	4, 129

(見込値)

3. m	1 1124	指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	叓	令和08年度
±⊵	休日	当番医開	設割合	目標	%		100	100	100	1	00	100
指標				実績	%		100	100	100			
î				達成率	%		100	100	100			
指	保健	・医療・	福祉ネットワーク推	目標	回数 2			4	4		4	4
指標	進委	員会の開	催回数	実績	回数 0			3	4			
2				達成率	%		0	75	100			
指				目標								
指標				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点	i	部	呼価			理由			
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかっかを評価する。					妥当 長生きを楽しむ町づくりを推進するために、推進員会を開 町民向けの講演会を開くことができた。						員会を開催し、
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等か 評価する。	適切かどうかを	虐	高い 医師会との協力のもと、祝祭日の医療体制の確保が図れた。						が図れた。
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	肓	高い 津別、大空、美幌町の3町で人口比で費用負担しながら体制確している。						ながら体制確保
			○ 拡充●保健・医療・福祉ネ	現状維持		縮小	7.00 H		目古した行う	71.	1	評価結果
次年	度の	事業	イル予防として口腔・				CODE	的建成を計画、	兄担しを打り	· //		
取組			地域医療推進に向け				F療体制	の維持・整備に	こ努める。			
向性				現状維持		<u></u>	0	皆減			I	見状維持
善内		予算	令和7年度は現状維 る。				適当であ		į o	千円	Ą	·允1人不任 1寸
			促牌,医 皮,短处之	ν L D — Δ t	4.准.禾	吕仝,久	ス系呂レ	1112 211	コーフレイル	スたホシー	巨壮	- キ左ぶ」 める
今後の改善点 保健・医療・福祉ネットワーク推進委員会:各委員と地域 町づくりを町民向けに推進していく。								地域味趣で共作	ョし、フレイル	アミナー	K I	ことで未しめる

1. 事業内容

事	事 来 下 1 務 事 業 名		医師確保事業								§グループ				
40	基本目		ーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	D安全を	74 6.ti-	で誰しち	うまたっ	づくり	in the second	事務勘	長 遠 病院事				
総合	施策()		日然の気じらでくろし。 地域医療体制の充実	7826	777074	(反 7 0)	740	J (9	項	께까구	木五川				
計画	施策(口		国民健康保険病院の充写	Ę					科目	目					
	施策(/		固定医師の確保) 年度以上				平成	年月		大事業 · 令和	年度	<u>F</u>			
	求区分	継続						点政策	Ζ	ם אונו	+13	<u> </u>			
根	拠法令等									経費	区分	授	資的経費		
		病床	機能を有する地域の基	幹的病院と	して、	医師確保	果による	診療の体制	の充写	まを図り地域(こ必要な	医療を	安定的に提供		
_	alle in a ar	する	する。今後も安定した医療の提供を行うため、出張医で対応している眼科医師の常勤化や必要とする常勤医の招聘に努 める。												
争	業概要	w) a) ₀												
市	** - 4	必要	な医師を確保し継続的	な医療を提	供する	0									
争	業目的														
車主	業の対象	全町	「民対象(病院利用患者)											
77	K () /) 2		+ = 1												
実	施結り	【実施網	課』]6年4月1日付で脳神	経外科医、	放射線	科医(非	非常勤)	の2名を採	用。						
現北	・ 犬と課是		現状と課題】												
		医卸	「の定着を図るための勤	務環境の改	(善や、	今後も記	诊療体制	の充実と眼	科医的	市の常勤化な.	ど必要な	医師の	確保に努める		
		必要	感がある。 												
事	業進捗度	2 予定道	直りに進んでおり、順調な進捗状況	進捗度3				<mark>左の具体</mark>	的な	<mark>内</mark>					
				4の理由				容							
2.	年度別	事業費		_		Ti .			_				位:千円)		
+ 1	Us dda		, ,			令和05年		令和06年度予		和06年度決算	令和07年		令和08年度予算(見込)		
	業費]支出金		((千月	円)	13, 751 0		6, 077 0		7 <mark>26</mark>	726 0		726 0	726 0		
_	支出金				0		0		0	0		0	0		
_	方債				0		0 726		0	0			0		
_	·の他 ·般財源				13, 025	726 13 025				726 0		726 0	726 0		
	牛費		((千F	円)	0		5, 351 0		0			0	0		
		り給与費			12.751		0		726			0	0		
3.		十人件	貴) (千月	1)	13, 751		6, 077		/20	726		726	726		
J.	計画	指	標名 標名		単位	令和0	4年度	令和05年原	ŧ	令和06年度	令和0	7年度	令和08年度		
指	T		<u> </u>	目標	人	15 1 1 1 1	1	15 12 5 7 1.	1	1	15 16.5	1	1		
標		2	⑤師確保数	実績	人		2		1	200.0					
1				達成率 目標	%		200. 0	100.	100. 0						
指標				実績											
2				達成率	%										
指標				目標 実績					+						
3				達成率	%										
	項目		評価の視点	i	Ē	平価				理由					
	妥当位	性	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかと	· -	妥当		は医療を提供	する	ためにも医師	の確保が	が引き続	き必要であ		
				**************************************	-		る。 医師研	在保が困難 <i>の</i>	中:	有効な取り組	みである	<u> </u>			
有効性 目標達成度から、手段や対象等が適切かどうだ 評価する。						高い	PET HIP H		•	1393 C 4X 7 NE	.07 (05)	Σ 0			
効率性 費用と成果のバランスはとれているか、現行の約 費は適正かを評価する。						食討				の探索、紹介 い反面、医師					
			□拡充	!状維持		小		上・廃止	.73 [12]		44D1 3 9		-		
		事業							L			ı	評価結果		
次年	度の取		安定的な診療体制の構	築のために	も、引	き続き	医師確保	の取り組み	を進め	かる 。					
1 1	方向性		拡充		紅	加	□ 皆派	 武				IF	11十2年+土		
		予算	紹介業者への紹介手数						央額	_	~ ···	巧	状維持		
			正対応)。	\/@//	J. 4720	, <u>c</u> . H	EFF VIII	(概(0	千円	1			
			人材紹介以外の手法	こよる医師	確保の	検討。				-		<u> </u>			
		養点													

1. 事業内容

事務事	坐 夕	医療従事者就業支援等	課	・グループ名	保優	保健福祉課健康推進グループ								
尹 孙 尹 2	* 1	达尔 化争省 机未义 汲 守	尹木			<u> </u>	平価者名	福祉	福祉部長 吉田 善一					
総基本	本目標	02 自然の美しされ	ららしの安心を、		款	04 衛生費								
合 計 施第	策(大)	06 地域医療体制の)充実	項	01	保健衛	前生費							
	策(中)	05 医療従事者等の)確保対策の推進	目	01	01 保健衛生総務費								
	策(小)	0 0		大事業	01		新生推進事業							
<u>事業期</u>		10年度以上	平成25年度 ~	1- 11			中事業	03	医療征	详事者就業支援等事				
要求区	☑ 分	継続 <mark>町長重点政策</mark> O Property Control of the property												
根拠法章	令等	等 美幌町医療従事者就業支援金要綱 政策的経費												
事 業 概	既要	医療従事者が、町内の医療機関などに就職した場合に就業支援を行うことで、看護師などの医療従事者不足の解消を図り、安定的な医療を確保する。(国家・地方公務員を除く)												
事業目	目的	医療従事者の新規就業 ことを目的とする。	及び定着を促し、 ⁼	もってその不足	足の解消を図ると	: ع ط	もに、本明	町の医	療の安	定的な確保に資する				
事業の対	対象	町内医療関係施設にお	いて新たに常勤雇用	用として就職で	する医療従事者	(理:	学療法士、	作業	療法士	、言語聴覚士、診療				
実施結	吉果	【実施結果】 住宅の準備に要する費	用及び就業に係る引	費用を支援した	た。									
現状と記	課題													
事業進持	 捗度	2 予定どおりに進んで り、順調な進捗状況	進捗度3又は 4の理由	_	左の具体的な 内容									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

		令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費 (千円)		6, 016	6, 059	7, 650	5, 641	7, 150	7, 150
国支出金		0	0	0	0	0	0
道支出金		0	0	0	0	0	0
地方債		6, 000	5, 017	7, 600	5, 100	5, 400	5, 400
その他		0	17	0	0	0	0
一般財源		16	1, 025	50	541	1, 750	1, 750
人件費	(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費	千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	(千円)	6, 016	6, 059	7, 650	5, 641	7, 150	7, 150

3. 評	価											
	指標名				単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
塢	支援語	該当者数	Ţ	目標	人		100	34	32	30	30	
指 標 1				実績	人	人		25	23			
1				達成率	%		60. 52	73. 52	71.88			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目 評価の視点				部	平価	理由					
	妥当性 目的や現状及び課うかを評価する。			今やるべきかど	끃	芒当	町内医療機関の医療従事者不足を解消するために町が実施することは妥当である。					
	有効性	<u>±</u>	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普	音通	目標達	成度は概ね高	水準であり、適	[切である。		
	効率性	±	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	言	易い	医療征	事者の不足解	消および定着に	効果があり、道	適正である。	
			○ 拡充●医療従事者不足の解	現状維持		縮小	0	休止・廃止			評価結果	
次年原取組(の方し	事業										
向性				現状維持		縮小	0	<u> п #24</u>			現状維持	
善内容	容	予算	医療従事者が不足し ⁻ 持として医療従事者の				を現状維	予算反映額(概算)	0	千円	אס מאיים מא	
今往	後の改	善点	医療従事者の確保に	句け、医療権	機関と	も連携し	しながら	事業の周知を行	敵底していく。			

1. 事業内容

事務事業名	開業医誘致等助成事業	割	・グループ名	保健福祉課	保健福祉課・健康推進グループ								
争仍争未行	州未区仍以于水		評 価 者 名	福祉部長	吉田 善一								
基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		款	04 衛生費									
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	06 地域医療体制の充実	予 算 4	項	01 保健復									
計 施策(中)	07 医師の開業支援	目	01 保健領										
画 施策(小)	0 0	<u>-</u>	大事業	*****	新生推進事業								
事業期間	10年度 令和6年度 ~ 令和16年度		中事業	93 開業日	医誘致等助成事業								
要求区分	継続												
根拠法令等	美幌町開業医誘致等助成金交付要綱 政策的経費												
事業概要	地域における医療体制の構築のため、町内に新たに診療所等を開設する開業医に対し開業費用の一部を助成し、町民の健康及び増進を図る。												
事業目的	地域における医療体制の構築の推進。 医療体制の確保による町民の健康及び増進を図ること。												
事業の対象	美幌町に新たに診療所等を開業する開業医(医師または医療法人)												
実施結果	【実施結果】 令和6年度から助成事業を実施。												
現状と課題	【現状と課題】 誘致対象が医師ということもあり、周知方法が課題となっている。 め、医師会等情報共有しながら効果的な周知方法を検討していきた	誘致対象が医師ということもあり、周知方法が課題となっている。また地方の医師が不足している中の誘致であるた											
事業進捗度	本の大学情報共有しなから効果的な同和方法を検討しているだい。 4 予定どおりに進んでおしまである。												

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費			(千円)	0	0	50, 000	0	0	0
	国支出金			-	1	0	0	0	_
	道支出金			_	1	0	0	0	_
	地方債			_	1	0	0	0	_
	その他			_	ı	0	0	0	_
	一般財源			0	0	50, 000	0	0	0
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	十(事業費+人件費)		(千円)	0	0	50, 000	0	0	0
				-					(目3.値)

(見込値)

3. 評	価											(96.25 HE)	
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07	年度	令和08年度	
tis	新規[医療機関	数	目標	件				1		1	1	
指 標				実績	件				0				
1				達成率	%				0				
指				目標									
指 標				実績									
2				達成率	%								
指				目標									
指 標 3				実績									
3				達成率	%								
	項目		評価の視点		評	F価	理由						
	妥当性	生	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	<u>55</u> -	妥当		当町の医療機関不足を解消するために町が実施することは妥当で					
	女当	Τ	うかを評価する。		3	_ in land by the							
	有効性	4	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを		華	通	達成す	でき目標の高	さから、実績が	ぎ無かった	このはた	±方がなく妥当	
	13 293 1.		評価する。				である。						
	効率性	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	高い		周辺自	周辺自治体と比較しても乖離していることはなく、妥当				妥当である。	
			費は適正かを評価する。			-							
			- 11-11-	<u>現状維持</u>		<u>縮小</u>		休止・廃止			1	評価結果	
加左床		事業	医療機関の充実のたる	の、事業を約	迷続する	ం				l l			
次年度 取組σ		于木											
向性·			O 拡充 O	現状維持	•	縮小	0	皆減				7. **	
善内容			事業実施は維持する									改善	
		予算	なさから、当初予算					予算反映額	<mark>₹</mark> C	千円			
	(概 算)												
今後	後の改	善点	医療機関の充実に向け		割知を復	徹底して	ていく。	また、医療機関	関やそれらに対	する広報	ヌメディ	アなども活用	
しながら制度の周知を行う。													

1. 事業内容

事務事業名	ゼロカーボン推進事業	課・グループ	名 環	境管理課:	環境衛生グループ
节仍节末句	とログーパン推進事業	評価者名	建	设部長 :	遠國 求
基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ	款	04	衛生費	E
総 合 施策(大) 計 施策(中)	07 生活環境保全・緑化活動の推進	予 項	01	保健衛	前生費
	O 1 環境共生に向けた総合的な取り組み	科 日	04		R全推進費
画 施策(小)	02 ゼロカーボンシティの推進	大事第			2炭素排出抑制対策
事業期間	終期未定 令和6年度 ~	中事第	01	ゼロカ	コーボン推進事業
要求区分	継続 町長重点政策 ○				
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律		経費	区分	政策的経費
事業概要	2050年までに町内の温室効果ガス発生量を実質ゼロとする「ゼロカー向けて再生可能エネルギーをはじめとした地域資源の活用や、町民の工業を推進する。				
事業目的	2050年までに町内の温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーオ	ジシティ 」	を目打	旨す。	
事業の対象	町内各家庭の消費エネルギー及び事業者の消費エネルギー				
実施結果	【実施結果】 地球温暖化対策実行計画の策定を行った。				
現状と課題	【現状と課題】 再生可能エネルギーの活用に向けた情報収集 町民のエコ意識や省エネルギー意識を醸成するための具体的手法の確立	<u></u>			
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - 左の具体的な り、順調な進捗状況 - 内容				

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事	業費		(千円)	0	0	5, 557	5, 105	270	270
	国支出金			-	1	0	0	0	_
	道支出金			-	ı	2, 695	2, 530	0	_
	地方債			-	1	0	0	0	_
	その他			_	1	0	0	0	_
	一般財源			0	0	2, 862	2, 575	270	270
人	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計	(事業費+人件費)		(千円)	0	0	5, 557	5, 105	270	270
			•						(目3.体)

(見込値)

		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
指	公共	施設C02排	非出削減量(2013年	目標	%				46	46	46
指 標	度比)		実績	%		21. 1	18. 5			
1				達成率	%						
指	ゼロ	カーボン	·普及プログラムの実	目標	件				3	3	4
指 標	施数			実績	件				3		
2	<mark>2</mark>										
指				目標							
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
	項目	l	評価の視点		部	[価			理由		
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、				12		2050年	のゼロカーボ :	ンシティ実現に	向け妥当である	る。
	女三	Ξ.	うかを評価する。		3						
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	李	通			の実行フェーズ	に入るため、マ	有効性の評価は
	ו נאי נו		評価する。			1 1111	今後行				
	効率	*	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	梢	討					るため、期待さ
	773		費は適正かを評価する。					、果を見極め、 夏	要する経費が適	<u>i正であるかを</u>	食証する。
				現状維持		縮小	<u> </u>	71			評価結果
) h h		事業	排出量削減のみの達用						ることなど、多	岐に渡	
大年 取組		于木	る効果が期待できる	ものを調査	サ 研 究	し、争ま	き推進を	'凶る。			
向性 同性			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	皆減			
善内			事業の方向性を鑑み								現状維持
L	"	予算	ナスジババエと皿ッパ	22.54	ν μι <u>—</u>	C 11 7 0		予算反映額	<u>i</u> 0	千円	
								(概 算)	Ĭ		
<u></u>	後の改	,盖占	目標達成に向けた、	必要設備の料	青査と:	実施事業	美の効果	とリスク検証を	を行い、本町の	ポテンシャルヤ	や状況にあった
今後の改善点 事業推進ができるよう調査検討を行う必要がある。											

1. 事業内容

事務事業名		課・グループ名	環境管理課	環境衛生グループ
于初于未有	1.1個月田ピング 日柱廷呂事末	評 価 者 名	建設部長	遠國 求
基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ	款	04 衛生費	B
総 合 施策(大) 計 施策(中)	07 生活環境保全・緑化活動の推進	予 項	01 保健復	前生費
	06 花や緑による景観の向上及び緑化の推進	予 項 算 目		R全推進費
画 施策(小)	O 1 花による景観づくりの推進	大事業 大事業		育苗センター管理運
事業期間	終期未定	中事業	01 花樹育	育苗センター管理運
要求区分	継続 <mark>町長重点政策</mark> 一			
根拠法令等			経費区分	政策的経費
事業概要	各自治会や公共施設へ配布する花苗の栽培を行い、町内の緑化や景観向]上を図る。		
事業目的	道路や公園を花いっぱいにする。			
事業の対象	町民			
実施結果	【実施結果】 町内の事業者に花樹育苗センターの管理運営業務を委託し、花の育苗を ている。	表	治会及び公共 	施設等に無料配布し
現状と課題	【現状と課題】 安定した花苗づくりができる取り組みが必要である。			
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
=	■業費		(千円)	5, 630	6, 939	14, 571	14, 522	6, 407	6, 500
	国支出金			0	0	0	0	0	_
	道支出金			0	0	0	0	0	_
	地方債			0	0	0	0	0	_
	その他			0	5, 000	9, 000	9, 000	5, 000	_
	一般財源			5, 630	1, 939	5, 571	5, 522	1, 407	6, 500
	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	†(事業費+人件費)		(千円)	5, 630	6, 939	14, 571	14, 522	6, 407	6, 500
	•		•						(目3.病)

3. 評	価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
th	花苗	配布		目標	本		35, 000	85, 000	85, 000	78, 000	78, 000
指標				実績	本		37, 381	86, 572	83, 101		
1				達成率	%		102.8	101. 85	97. 77		
塢				目標							
指標				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
	項目		評価の視点	į	評	F価			理由		
	妥当性		目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	<u> </u>		緑の基	本計画に基づ	く事業であり、	実施主体は町	が妥当である。
	<u>Д</u> — I		うかを評価する。			`					
	有効性	牛	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高	ら ら し い	土づく ている		で民間に委託し	、安定した花	苗の配布を行っ
	効率性	 生	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	Ė	5U1	必要最	低限の経費で	事業を行ってい	る。	
	793 — 1.		費は適正かを評価する。		-	,, •					
			- 11	現状維持		縮小	0	休止・廃止			評価結果
		事業	現状維持のまま実施で	することがi	適当で	ある。					ar imitazis
次年月	~	尹未									
取組の			O #± ★ ■	1日小米井		給		比法			
向性 善内和			O 拡充 ● 現状の事業規模で実	<u>現状維持</u> ぬする <i>(</i> *		縮小	□借の修	皆減			現状維持
一百 P 3 1	-	予算	焼状の事業焼候で笑が				又川り	予算反映額	i n	千円	
			からか ひり シノこ/こひり 中寸(11.0.5H VII C .	G) [_,	,		(概 算)	- V	'''	
<u></u>	後の改		安定した花苗づくり	ができるよ ^っ	う努め	る。					
71	一今後の改善点 女にした化田 フィッかてさるよう労める。										

1. 事業内容

事務事業名	企業誘致推進事業	課	・グループ名	商コ	C観光課i	商工観光グループ
于初于木石	正未奶以证是事未	ii.	平価者名	経済	部長 注	可端 勲
経 基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	XX		
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	01 雇用の拡大、安定	予	項	XX		
計 施策(中)		算科	目	XX		
画 施策(小)	0 1 企業誘致につながる情報収集の強化	B	大事業	XX	企業認	5 致推進事業
事業期間	終期未定		中事業	00		
要求区分	継続					
根拠法令等	美幌町企業立地促進条例			経費	区分	政策的経費
事業概要	町の経済の活性化に資する企業の立地を促進するため、町内に工場等を行うことにより、町の産業の振興及び雇用機会の創出を図ることを目			又は増	設する	者に対し助成の措置
事業目的	町内への誘致を図る。					
事業の対象	事業者					
実施結果	【実施結果】 補助申請数 4件(令和4年度1件、令和5年度3件、令和6年度1件	‡)				
現状と課題	【現状と課題】 企業誘致件数は伸び悩んでいるものの、既存町内事業者の設備投資及び	「雇」	用増に繋が	がって	いる。	
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	0	2, 669	21, 663	7, 451	22, 465	13, 000
国支出金	_	-	0	-	0	_
道支出金	_	1	0	-	0	_
地方債	_	-	0	_	0	_
その他	_	_	0	_	0	_
一般財源	0	2, 669	21, 663	7, 451	22, 465	13, 000
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	2, 669	21, 663	7, 451	22, 465	13, 000
•		·	·	·	·	(目3.6)

(見込値)

今後の改善点

3. 評	陌											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07:	年度	令和08年度
培	企業	誘致、增	設の補助件数	目標	件		_	1	4		5	4
指 標				実績	件		_	1	4			
1				達成率	%			100	100			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点	i	部	呼価			理由			
	妥当	性	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	끃	2当	町の組		する企業誘致及	び増設投	資の影	影響度は高く妥
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	言	ξι\		経済活性化に対 リ有効である。	し産業の振興及	び雇用の	創出	こ結びつくもの
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	枝	討		年度に美幌町企 見する。	企業立地促進条 位	例を制定 (してお	り今後の状況
			〇 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С	休止・廃止			-	評価結果
			令和4年度に美幌町企	業立地促進	条例を	制定し	、令和	年度から補助金	金を支出してい	る。		- 一
次年 取組 (事業										
向性				現状維持		縮小	С	」 皆減			7	現状維持
善内	容	予算	対象事業所が増える	ため、予算は	曽とな	る。		予算反映額(概算)	[()千円	-	ンロ ハノルボ 1・1
今	今後の改善点制度周知を図り、企業誘致へつなげるとともに、工業用地の空き地がほぼ無いため、工業用地の拡張を図る。										は張を図る。	

1. 事業内容

事務事業名	起業家支援事業	課・グルー	<mark>−プ名</mark> ℟	西工観光課商工観光グループ				
争初争未有	起未外又16年末	評価者	f 名	経済部長	河端 勲			
総 基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	票	欠 0	7 商工費	B			
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	01 雇用の拡大、安定	予算	頁 0	商工費	1			
		科 F	0.	2 商工業				
画 施策(小)	William Co.	大事	事業 0.	2 商工業				
事業期間	終期未定 平成27年度 ~	中哥	事業 0.	1 起業3	家支援事業			
要求区分	継続 町長重点政策 ○							
根拠法令等	美幌町起業家支援事業補助金交付要綱		経	費区分	政策的経費			
事業概要	町内で起業を図る事業者に対し、起業に必要な経費、店舗賃借料等の保し、地域の新たな雇用を創出するとともにまちのにぎわいを促し、もする。							
事業目的	多様な人材の確保、雇用機会の創出。							
事業の対象	起業希望者							
実施結果・現状と課題	【実施結果】 5年度は起業に必要な補助をし、地域おこし協力隊1件、新規3件の起業 とによって経営の安定に繋がっている。6年度も、新規3件の起業へ補助 【現状と課題】			三業した3	3件に家賃補助するこ 			
がかと味趣	「現れて味趣」 令和3年度からは創業計画作成時に商工会議所が積極的な関り(指導) トが出来ている。	を行な <i>-</i>	っている	ため、安	定した事業のスター			
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお 進捗度3又は り、順調な進捗状況							

年度別事業費

(千円)

(単位:千円) 令和04年度決算 令和05年度決算 令和06年度予算 令和06年度決算 令和07年度予算 令和08年度予算 4, 275 6, 520 8, 402 6,000 6,000 事業費 (千円) 国支出金 0 0 0 0 0 道支出金 0 0 0 0 0 地方債 0 0 0 2,600 0 その他 6, 520 7, 400 3,000 1, 675 3,000 一般財源 0 1,002 3,000 0 3,000 6,000 (千円) 0 0 0 0 0 0 (1人当たり給与費 千円) (人工) 0 0 0 0 0 0

6, 520

8, 402

6,000

4, 275

6,000

6,000 (見込値)

計(事業費+人件費)

3. 評	価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和074	年度	令和08年度
ŧυ	起業	補助件数	Ţ	目標	件		5	6	3		3	3
指標				実績	件		2	7	3			
1				達成率	%		40	116	100			
塢				目標								
指標				実績								
2				達成率	%							
指	目標											
指 標 3	実績											
3	達成率 %											
	項目 評価の視点					平価	理由					
	妥当	生	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	꿀	妥当	雇用の	創出は重要な	施策であり、妥	当である	0	
	有効	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	言	高い	制度開始から31件の実績があり、雇用の創出が図られており有である。					
	効率的	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	言	引い	- 経費負 である		なる新規起業を	促す意味	からも	も、適正な経費
1 5	± 0	事業	○ 拡充継続して実施する。	現状維持	0	縮小	0	休止・廃止			Ē	評価結果
次年 取組 (の方	デ 木				۸.		Llas B				
向性				<u>現状維持</u>	0	縮小	0	皆減			3	見状維持
善内容	・ <mark>内容 予算</mark> 現在の成果を維持するため							予算反映額	Į (千円		
								(概 算)				
今 :	後の改		引き続き、会議所と	連携し起業で	を支援	していく	, .					

1. 事業内容

事務事業名	外国人労働者受入支援事業	課	・グループ名	商二	C観光課	・商工観光グループ
于初于木石	ア国ハガ 助日 文八文 版 手未	Ī	評価 者 名	経済	等部長 :	河端 勲
総 基本目標			款	XX		
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)		予	項	XX		
		科科	目	XX		
画 施策(小)	0.0	B	大事業	XX	外国人	<u>、労働者受入支援事</u>
事業期間	3年度 令和6年度 ~ 令和8年度		中事業	00		
要求区分	│ 継続					<u> </u>
根拠法令等	出入国管理及び難民認定法等			経費	区分	政策的経費
	町内企業で採用する外国人労働者をスムーズに受入できるように支援を	を行	う。			
事業概要						
尹未似女						
	町内企業が採用する外国人労働者の受入を支援する。					
事業目的						
事業の対象	町内企業					
15 AL	【実施結果】					
実施結果	町内事業者に対しての外国人労働者に関するアンケートを実施					
現状と課題	 【現状と課題】					
ガルと味起	│【現仏と詠題】 │ 外国人労働者の受入については、2027年から育成就労制度が導入る	t th	スニレレナ	こって	おり	今後の制度改正に際
	一して必要な対応をとれるよう情報収集に努める。	_ 10	~ ^	, , (. 00 / \	/ 医切响及吸止飞脉
	11/19/19/19/19					
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - <mark>左の具体的な</mark>					
1. XX = 15 1X	り、順調な進捗状況 <mark>4の理由 内容 内容</mark>					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業	費		(千円)	0	0	0	0	0	0
国]支出金			-	_	0	I	0	_
道	重支出金			-	_	0	1	0	_
地	也方債			-	_	0	1	0	_
7	一の他			_	_	0	ı	0	_
_	-般財源			0	0	0	0	0	0
人件	費		(千円)	0	0	0	0	0	0
(1 人	人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)		(千円)	0	0	0	0	0	0
									(目以値)

3. 評	F 価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
培	事業	者への情	報提供及び情報収集	目標				_	1		1 1	
指標				実績					1			
1				達成率	%				100			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指標				実績								
3				達成率	%							
	項目 評価の視点					平価	理由					
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきか。				枝	全討	町とし	,てできること	と、事業者が望	む事をすりた	合わせしていく	
			うかを評価する。	Wr. In 1. 18 ~ 1. +			A 14 a	<u> </u>	サ ニフここ <i>ー</i> ナ			
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	힅	手通	今後の労働者不足を考えるうえで有効である 					
	効率	<u></u>	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	#)計	事業内	容を検討して	いく			
	W)+1	_	費は適正かを評価する。		12	K 0 1						
				現状維持		縮小	С	休止・廃止			評価結果	
		事業	必要な助言を行える。	よう情報収算	集に勤	める					H. Imade No.	
次年 取組		尹未										
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С	皆減			現状維持	
善内			事業内容を検討してし	,\<					_		現仏維持	
		予算						予算反映額	C C	千円		
								(概 算)				
今												

1. 事業内容

事務事業名	農作物原・採種圃設置事業	課・	グループ名	農材	政策課	農政グループ
尹初尹未石	辰 IF 彻际 *	評	価者名	経済	部長 法	河端 勲
総 基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	06	農林水	〈産業費
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	02 農業の振興	予	項	01	農業費	
		予算科	目	04	農業振	
画 施策(小)			大事業	04		7原・採種圃設置事
事業期間	単年度		中事業	01	農作物	7原・採種圃設置事
要求区分	継続					
根拠法令等				経費	区分	政策的経費
事業概要	安全安心な農作物の安定生産と品質保持を図るための優良種子確保に 産者に対して、必要経費(農薬費・抜取等の労賃・種子用種代)の一部 成を追加)					
事業目的	安全安心な農作物の生産					
事業の対象	農業経営者					
実施結果	【実施結果】 必要経費(農薬費、労賃、種子代)の一部助成					
現状と課題	【現状と課題】 戸数減少及び資材高騰への対応					
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	1 22/11 1 1/12								
				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
릨	業費		(千円)	1, 115	1, 575	1, 614	1, 482	1, 502	1, 502
	国支出金			0	0	0	0	0	-
	道支出金			0	0	0	0	0	-
	地方債			0	0	0	0	0	_
	その他			0	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000	_
	一般財源			1, 115	575	614	482	502	1, 502
	件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	†(事業費+人件費)		(千円)	1, 115	1, 575	1, 614	1, 482	1, 502	1, 502

3. 評	平価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	ŧ	令和08年度
垖	原採	種圃設置	戸数	目標	戸			23	22	2	2	21
指標				実績	戸		23	22	21			
ï				達成率	%		100	95. 65	95. 45			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指標3	二			実績							\Box	
3	3			達成率	%		T				Ш	
	項目 評価の視点				評	呼価	理由					
	妥当性 目的や現状及び課題から、町			今やるべきかど	3		安全、	安心な農作物	の安定生産が求	められてお	り、	妥当である。
			うかを評価する。 目標達成度から、手段や対象等が	******				の用曲をより	マル 頂点ほう	· Tか /ロ よご / と	フュ	у + у - т
	有効性	生	日保達成及から、子校や対象寺が 評価する。	適切かとうかを	高い			の共吊充生の	予防、優良種子	一催休が進め	ବ / :	:め、有効であ
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	高い		安全、安心な農作物の安定生産のため、適正な経費の負担と					の負担となっ
	W)+1	т	費は適正かを評価する。				ている)				
				現状維持		縮小	С	休止・廃止			郭	平価結果
		事業	現状のまま、実施する	ることが妥当	当であ	る。					н	I Im the Sta
次年		争未										
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С	り 皆減			IE	見状維持
善内	容	予算	現状のまま、実施する	ることが妥当	当であ	る。		予算反映額(概算)	į c	千円	15	1.1人孙生1寸
今	後の改	善点	設置戸数が減少傾向に	こあることだ	いら、	関係機関	月と連携 しょうしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい		<mark></mark> 数や面積の拡大	を図っている	۲.	

1. 事業内容

事	事務事業名					農政グループ
于初于木	位	評	価 者 名	経済	部長 注	河端 勲
総 基本目			款	06	農林水	〈産業費
総 基本 E 施策 (計 施策 (<mark>大)</mark> 02 農業の振興	予	項	01	農業費	Ī
		予 算 科	目	04	農業振	
画 施策(B	大事業	05		7鳥獣被害対策事業
<u>事業期</u>			中事業	01	農作物	n鳥獣被害対策事業
要求区	<mark>分</mark> 継続 <u>町長重点政策</u> 一					
根拠法令	等 農作物獣害対策事業実施要領			経費	区分	政策的経費
事業概	美幌町鳥獣被害対策実施隊によりエゾシカや鳥類の駆除を実施し、農また、平成12~14年で設置した鹿柵の固定資産税相当額を助成す要		被害の洞	艾少を	・図る。	
事業目	エゾシカ等による農作物被害を減少させる 的					
事業の対	<mark>象</mark> 農業者					
実施結	【実施結果】 実施隊による有害鳥獣の駆除					
現状と課	望 【現状と課題】 実施隊員の減少及び農作物被害の増加					
事業進捗	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

1000777									
		令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算		
事業費(千円)		3, 200	3, 212	4, 979	3, 426	5, 122	5, 722		
国支出金		0	0	0	0	0	0		
道支出金		310	350	480	240	460	290		
地方債		0	0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0	0		
一般財源		2, 890	2, 862	4, 499	3, 186	4, 662	5, 432		
人件費	(千円)	0	0	0	0	0	0		
(1人当たり給与費 千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0		
計(事業費+人件費)	(千円)	3, 200	3, 212	4, 979	3, 426	5, 122	5, 722		

3. 評	価										(元公區/	
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
指	有害馬	鳥獣捕獲	頭数	目標	頭			600	600	600	700	
指標				実績	頭		528	587	579			
1				達成率	%		88	97. 83	96. 5			
塢				目標								
指 標 2	票			実績								
2	2		達成率	%								
指	指			目標								
指 標 3	標			実績								
3	3			達成率	%							
	項目 評価の視力			į	評	F価	理由					
	妥当性	±	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	べきかど 妥			鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、町が写る事業である。				
	有効性	Ŧ	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普	普通 事業計画どおりの駆除が実施されており、有効である。					゙ ある。	
	効率性	Ξ	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	ら で い	JAと協力して実施することで適正な経費となっている。					
			● 拡充 〇	現状維持	0	縮小	С	休止・廃止			評価結果	
次年月	ŧσ	事業	農作物被害が拡大し	ていることだ	から、	更なる抜	太充を図	る。			计画师来	
取組の方												
向性			- 11	現状維持		縮小	С	H #74			拡充	
善内容	容	予算	農作物被害が拡大し [、] る。	ていることだ	から、]	更なる抜	太充を図]	143	千円	,,2,0	
今往	後の改	善点	鳥獣による農作物被	害を減少させ	せるた。	め、関係	系機関と	111	図っていく。	I		

1. 事業内容

	<u>· </u>	- A 1 1 1 1 1												
	事務	事業名	みらい農業センター維持管理事業	ā	果・グループ名		7 720-14	課農業センターグループ						
	Ŧ 101	7 7 1			評価者名	経済	幹部長	河端 勲						
	総	基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	06	農林フ	K産業費						
	総合計	施策(大)	02 農業の振興	予	項	01	農業費							
	計	施策(中)	O 2 担い手の育成確保と生産性の向上	算 科	目	04	農業挑	長興費						
		施策(小)	O 1 担い手対策及び花嫁対策の推進		大事業	06	みらし	\農業センター管理						
		美期 間	終期未定		中事業	01	みらし	\農業センター維持						
	要求	区分	継続											
7	根拠	法令等				経費	区分	政策的経費						
	事業	美概 要	美幌町農業担い手対策協議会による農業体験実習制度は、農業に興味や関心を持つ女性限定の実習生を積極的に受入し、農業体験を通して農家青年と自然な形で交流の場を設定し、農家青年配偶者対策の成果に繋げる。 占有圃場内に市民農園を開設し、農業及びみらい農業センターの存在価値向上を図る。 施設内外の維持管理、運営、修繕等を計画的に行う。											
	事 業	美目 的	農家青年配偶者対策と市民農園開設による農業及び農村への理解を 図る。	う上さ	せ、みらし	、農業	ミセンタ	一の存在価値向上を						
	事業	の対象	農業体験実習生及び一般町民											
:	実施	ē 結 果 •	【実施結果】 女性農業体験実習生及び農家花嫁希望者の受入数は3.評価を参照。											
	現状	と課題	【現状と課題】 市民農園は募集区画にほぼ達した。女性農業体験実習生は募集を行 で呼びかけることとしたい。	市民農園は募集区画にほぼ達した。女性農業体験実習生は募集を行ったが実績はないため、引き続きホームページ等										
. 4	事業	進捗度	3 一部で予定どおり進ん			実習	生は募	集したが実績が無かっ						

2. 年度別事業費 (単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	4, 650	4, 679	5, 963	4, 842	5, 715	3, 477
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	1, 400	1, 400	0	0
その他	475	122	1, 698	1, 485	1, 675	1, 675
一般財源	4, 175	4, 557	2, 865	1, 957	4, 040	1, 802
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)(千円)	4, 650	4, 679	5, 963	4, 842	5, 715	3, 477

(見込値)

		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
指	女性	農業体験	実習生の受入数	目標	人		4	4	2	2	2	
指標				実績	人		6	0	0			
1				達成率	%		150	0	0			
詳	農家	花嫁希望	者の受入数	目標	人			2	1	1	1	
指標				実績	人			2	2			
2				達成率	%			100	200			
指				目標								
指標				実績								
3				達成率	%							
	項目 評価の視点				部	平価			理由			
	妥当性	4	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	妥当 農家			農家青年配偶者対策はJAとの連携によって事業が継続化されて				
	女当日	Ι	うかを評価する。		3		り、事	事業継続化によ	る成果も得られ	ている。		
	有効性		目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	立	 手通	女性患	農業体験実習生の	の受入実績が無	く、農家青年	との交流機会を	
	'H X) [3		評価する。			一	実施で	ごきなかったが、	、受入時には配	出偶者対策に繋	げる。	
	効率性	±	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	高い 女性農業体験実習生と農家青年との成婚実績はH16年からの20						16年からの20年	
	<i>X</i>)+1.	т	費は適正かを評価する。		I=	ij U '	間で7	組に達しており	、成婚実績は	道内有数である	ことから効率	
			0 ,,,,,,	現状維持		縮小	С	111-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11			評価結果	
		== **	農家青年配偶者対策							を更に		
次年		事業	密にして関係者が一							を積極		
取組			的に受入する中で、						きたい。			
向性			- 11	現状維持		縮小	C	皆減			現状維持	
善内	答	予算	現状の成果を維持する	る中で、施訂	货等を	修繕して	こいく。	予算反映額				
)" //						(概算)	•	千円		
	後の計	坐 占	農家青年配偶者対策に	こついては、	結婚	相談員な	5地域と	の連携を密にし	て取り組み体	制の強化を図	ると共に、農家	
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一												

1. 事業内容

事務事業名		談	果・グループ名	みらい島	農業課農業センターグループ						
尹仍尹未乜	からい長来センター推進事業		評価者名	経済部長	長 河端 勲						
総基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	06 農	林水産業費						
合 施策(大) 計 施策(中)	02 農業の振興	予	項	01 農	業費						
	O2 担い手の育成確保と生産性の向上		目		業振興費						
画 施策(小)	0 1 担い手対策及び花嫁対策の推進		大事業		らい農業センター管理						
事業期間	終期未定		中事業	04 み	らい農業センター推進						
要求区分	継続	<mark>政策 O</mark>									
根拠法令等	美幌町補助金等交付規則美幌みらい農業センター新規就農予定	者研修実施	i要綱・	経費区分	政策的経費						
事業概要	美幌町で新たに農業を営もうとする意欲ある新規就農予定者の円滑な就農促進を図るため、美幌みらい農業センターにおいて、基礎から実践技術にいたる広範な技術、知識等を習得させるために必要な農業研修に対し支援することを目的とする。										
事業目的	将来、地域農業の核となる新規就農者を育成し、農業基盤の強	化を図る。									
事業の対象	美幌みらい農業センター新規就農予定者農業研修実施要綱に基	づき、町長	から研修許	可を受け	けた、新規就農予定者。						
実施結果・現状と課題	【実施結果】 これまでに15組の経営継承による新規就農実績がある。現在は、離農予定者から経営資産を一括継承する「第三者経営継承」による新規就農方式を推奨して事業継続している。 【現状と課題】 現在、新規就農研修生は在所していない。										
			<u> </u>	72 24 70t Z	· + × +						
事業進捗度	4 予定どおりに進んでお	<mark>.体的な</mark> 申			を希望する農業者からの 農研修生の募集は実施し						

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
릨	業費		(千円)	818	833	2, 719	118	2, 747	2, 747
	国支出金			0	0	0	0	0	0
	道支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			0	0	0	0	0	0
	一般財源			818	833	2, 719	118	2, 747	2, 747
	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	†(事業費+人件費)		(千円)	818	833	2, 719	118	2, 747	2, 747

(見込値)

		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
指	新規	就農予定	:者	目標	年目		1	1	1	1	1
指標				実績	年目		1	1	0		
1				達成率	%		100	100	0		
指				目標							
指 標 2				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
	項目	l	評価の視点		部	呼価			理由		
	妥当	₩	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	<u>17</u>	 -	新規家	忧農者の育成に	は農業研修のほ	か、経営継承	先や地域との就
	女曰	i T	うかを評価する。		3		農に関	わる各種調整	、資金計画など	、総合的に育	成する必要があ
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	1	₹U	近年σ)就農形態は経	営継承方式によ	る新規就農に	取り組んでおり
	.H WI	т .	評価する。		I=	.j U ·					とから新規就農
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	喜	引い					ものの新規参入
	<i>7</i> /J+1	1.	費は適正かを評価する。				者によ	る就農によっ	て農地の流動化	が促進し、農	村地域の人口維
				現状維持		縮小	0	71-22 70-22			評価結果
		事業	農業者、JA美幌などの	の関係機関と	との連	携を密に	こし、第	三者経営継承	意向のある農業	者の確	H. Immiria No.
次年	-	争未	保に努める。								
取組			○ 拡充 ●	現状維持		を		LE Set			
向性 善内			O 拡充 ● 第三者経営継承に意[20 P 11 E 1 1		縮小ロカスー	<u> </u>	H #74			現状維持
告 7		予算	第二句程呂極承に息 定し、新規就農研修						<u> </u>	千円	
			上する。	工以又]反叩点	又一坐	JU-1_	′ Д СП	(概算)		' ' ' '	
	然のす	主主	現在、経営継承による	る新規就農剤	6望の	問い合ネ	つせは多	いものの、経	営継承を希望す	る農家がいな	いため、農家か
7	後の改	(晋只	らの希望を受け次第、								

1. 事業内容

事務事業名	コントラクター推進事業	課・グルー	プ名 農	林政策課	農政グループ						
学初学术 省	コンドラファー推進事業	評価者	名 経	済部長	河端 勲						
総 基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	款	XX								
総 合 施策(大) 計 施策(中)	02 農業の振興	予算	XX								
	02 担い手の育成確保と生産性の向上	算 目	XX								
画 施策(小)	03 コントラクター事業の推進	大事	業 XX	コント	、ラクター推進事業						
事業期間	単年度	中事	業 00								
要求区分	継続 <u>町長重点政策</u> 〇										
根拠法令等			経費	区分	政策的経費						
農業従事者の高齢化や担い手不足が進行する中、個別経営を支えるコントラクター事業の導入に向けた取組を推進し、耕起や植え付け、収穫時の労力負担軽減を図る。 事業概要											
事業目的	農業者の労力負担軽減を図る。										
事業の対象	農業関連事業者、他産業事業者										
実施結果	【実施結果】 関係機関と連携を図り、加工用馬鈴薯の収穫選別に係るコントラクター	-事業の推	進を図っ	った。							
現状と課題	現状と課題 「現状と課題】 地域の労働力不足へ対応するため、生産者が求めているコントラクター事業について関係機関と連携をさらに図って いく。										
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況										
2. 年度別事業	2. 年度別事業費 (単位:千円)										
1 12.3.3.3.					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	0	0	0	0	0	0
国支出金	0	_	0	I	0	_
道支出金	0	_	0	1	0	_
地方債	0	_	0	1	0	_
その他	0	_	0	ı	0	_
一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	0	0	0	0	0
						(目13 体)

(見込値)

3. 評	陌											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和074	年度	令和08年度
指	町内	コントラ	ラクター事業数	目標	件		2	2	2		2	2
指標				実績	件		2	2	2			
1				達成率	%		100	100	100			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目	l	評価の視点		部	呼価			理由			
	妥当	<u></u>	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	12	 {当	農作業	に係る地域の	労働力不足への)対応を図	るため	り、妥当である
	女当	II.	うかを評価する。		3		0					
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	言	引い	利用面積の拡大が図られており、有効である。					
	効率	<u>性</u>	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	膏	ξι\	JAが立ち上げたコントラ事業を支援することで、効果的に運用				効果的に運用	
			費は適正かを評価する。	TE 112 6# ++	\vdash	6 台 .1、	ができているため、効率性は高い。					
			- III	現状維持		縮小	<u>0</u>	11-22 //	明存機問いす	## A L	Ī	評価結果
次年	庫 の	事業	今後も他の作物など、 、取り進めて行く。	じコントフ	尹未の:	等人が低	央討 ごん	ている場合は、	対が成別と理	:坊の工 _		
取組			、取り進めて行く。									
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	皆減			т	日小米井
善内		予算	新たなコントラ事業I 、現状維持となる。	こついて検討			ことから		į c	千円	į	現状維持
今	後の改	(善点	地域の労働力不足へ	対応するため	め、生	産者がえ	 はめてい	るコントラ事業	業について関係	機関と連	携をさ	らに図ってい

1. 事業内容

事務事業名	新規就農者等支援事業	課・グループ名 農林政策課農政グループ								
尹 仍尹未有	初 戍 机辰日守又饭事未	評価者名	経済部長	河端 勲						
基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	款	06 農林2	k産業費						
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	02 農業の振興	予 項	01 農業費	ŧ						
計 施策(中)	O 2 担い手の育成確保と生産性の向上	算 科 目	04 農業排	長興費						
画 施策(小)	08 新規就農者支援の推進	大事業		尤農者等支援事業						
事業期間	単年度 平成11年度 ~	中事業	01 新規京	忧農者等支援事業						
要求区分	継続 町長重点政策 ○									
根拠法令等	美幌町新規就農者等支援事業補助要綱、美幌町農業次世代人材投資資金	き要綱 📗	経費区分	政策的経費						
事業概要	新規就農者等支援事業補助金交付要綱に基づき、対象となる新規農業入や資格取得に係る助成を行い、担い手の確保を図り本町農業の持続的また、令和6年度に新規就農された方に対し、最長3年間、新規就農間接補助事業)	内発展を図る。								
事業目的	新規就農者や新規農業従事者の定着を促進するため、初期投資費用を転	圣減すること ⁻	で経営安定を	図る						
事業の対象	新規就農者、新規農業従事者									
実施結果	【実施結果】 補助金を活用し、新規就農者や新規農業従事者の定着を図った。									
現状と課題	<mark>状と課題</mark>									
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
7	事業費		(千円)	17, 501	11, 751	21, 800	14, 154	14, 239	16, 663
	国支出金			0	0	0	0	0	0
	道支出金			3, 930	3, 000	7, 950	6, 750	2, 700	1, 500
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			8, 596	8, 751	11, 702	7, 404	9, 561	5, 596
	一般財源			4, 975	0	2, 148	0	1, 978	9, 567
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
i	計(事業費+人件費)		(千円)	17, 501	11, 751	21, 800	14, 154	14, 239	16, 663
									(目3.体)

3. 評	呼価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
培	新規	就農者及	び新規農業従事者数	目標	人		4	4	4	4	4
指標				実績	人		10	8	5		
1				達成率	%		250	200	125		
指				目標							
指 標				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指標				実績							
3				達成率	%						
	項目 評価			i	評	呼価			理由		
	妥当	<u></u>	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	32	<u>इ</u> गर	担い手	確保が求められ	れる中、引き続	き、支援が必	要であり、妥当
	女当	ı I	うかを評価する。		※ 妥当 「担い子権保が求められる中、引き続き、文援が必要 である。						
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普	語	担い手確保対策として、新規農業者等への支援は、有効であ				、有効である。
	効率	<u></u>	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	≟	<u></u> しい	担い手	確保及び農業	経営の安定のた	:め、適切な経	費となっている
	劝平	ı I	費は適正かを評価する。		l-	.j U ·	0				
			0 10-77 0	現状維持		縮小	С	11-22-70-22			評価結果
次年月	度の	事業	新規就農者、新規農	業従事者をう	支援す	ることに	こより、	担い手の確保	こ努める。		
取組(の方										
向性			0 10-75	現状維持		縮小	С	り 皆減			現状維持
善内	容	マケ	新規就農者、新規農	業従事者の別	定着を	図る。		予算反映額			20 Kuti
		予算						(概 算)	C	千円	
				全の活用に	FII -	わいチ	7.14.17.14				
今	後の改	養点	今後とも適切な補助:	並の活用に	トツ、:	担い子の	が暗体を	凶つしいく。			

1. 事業内容

車数章	事業名	みらい農業センター農業振興事業	¥		課・グループ名	みらい農業	課農業センターグループ
争伤	尹未石	のらい長来センダー長来派央争系	F		評 価 者 名	経済部長	河端 勲
総	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、流	活力に換えていくまちつ	づくり	款	06 農林	水産業費
合 計	施策(大)	02 農業の振興			予 項	01 農業	費
	施策(中)	03 新たな農業の展開			科目		振興費
	施策(小)	0 1 みらい農業センターによる	る新規農作物の実証試験	澰	大事業		ハ農業センター管理
	期間	終期未定			中事業	03 みらし	ハ農業センター農業
要求	区分	継続	<mark>町</mark>	長重点政策			
根拠流	法令等					経費区分	政策的経費
事業	概要	独自性があり、高い有益性が期待 有農場を活用し、新規作物や新栽 新たな展開を図る。					
事業	目的	地域農業収益の向上と差別化され	れた個性ある特産品の 額	≝生をめざす。			
事業の	の対象	新規就農者·一般農業者(後継者	皆含)				
		【実施結果】					
実 施	結 果	JA美幌、農業改良普及センター美					
		実施するほか、日本初の11月初旬	可出荷に成功した伏せ込	<u>、みアスパラガス</u>	.栽培の更なる	高収益化を	とめざした独自の栽培
現状。	と課題	【現状と課題】	+ //c == + + + = = + , + +	- (+ , -)(+)=	LD db alle i		·
		地域特性に合った新規作物や新技					◇要があり、大きな成 ┃
		果も得られている。新規作物の組	<u> 歴続的な検証と更なる道</u>	性化を追求した試	、験末培に取り	組む。	
事業達	進捗度	2 予定どおりに進んでお 進捗 り、順調な進捗状況 4の3	<mark>度 3 又は</mark> - 理由	左の具体的な 内容			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

		令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円		9, 332	11, 196	12, 860	11, 231	11, 999	11, 950
国支出金		0	0	0	0	0	0
道支出金		0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0
その他		8, 268	11, 196	11, 268	11, 231	11, 214	11, 214
一般財源		1, 064	0	1, 592	0	785	736
人件費	(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	(千円)	9, 332	11, 196	12, 860	11, 231	11, 999	11, 950

(見込値)

О. п		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度		
指	試験	展示圃に	おける栽培試験数	目標	件		14	14	14	10	10		
指標				実績	件		14	14	10				
1				達成率	%		100	100	71				
指				目標									
指 標				実績									
2				達成率	%								
指標				目標									
標				実績									
3			T	達成率	%								
	項目		評価の視点	į	部	呼価			理由				
	妥当	生	今やるべきかど	<u> </u>	2当	地域特性に合った新規作物や新技術の研究調査は地域事情に精通							
	ادی		うかを評価する。		>		する地	する地域農業センターが担う必要があり、大きな成果も得られて					
	有効性	4	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	膚	ましい				を研究は農業者への情報提供、提案を実施 でである。			
	13 293 1		評価する。		,-			「いくという共通認識でJA美幌、普及セ、日甜と連携して取組 現た物や新技術の調本研究は、最小限の専用で是大の効果をあ					
	効率性	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	膚	高い	新規作物や新技術の調査研究は、最小限の費用で最大の効果をあ						
	****		費は適正かを評価する。		·	-		り、効率性は	極めて高い。				
			- 11	現状維持		縮小	0	11-22 //			評価結果		
\h- /= 5	<u>.</u> _	事業	新規作物や新技術の						ものではないこ	とから			
次年原		于木	、継続的な検証と更	よる進化をม	旦水し)	7こ試験末	ズ培に取	り組む。					
	取組の方 向性・改 ○					縮小	0	 皆減					
善内和			現状の成果を維持する								現状維持		
п.,	_	予算	品の増額や備品を購			11 1757174-1	H 7 13 7 1 3 1 0	予算反映額	Į o	千円			
								(概 算)					
今	後の改	- 基占	新規作物や新技術の				発信で効	果が得られるる	ものではないこ	とから、継続	的な検証と更な		
		, D W	る進化を追求した試験	験栽培に取り	り組む	0							

1. 事業内容

± 25 ± 44 5	# 11 II = 1.14.14 ± 44.	課・グループ名	みらい農業	課農業センターグループ
事務事業名	農村ツーリズム推進事業	評価者名	経済部長	河端 勲
业 基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	款	xx	
総	O 2 農業の振興	予 項	xx	
計 施策(中)	03 新たな農業の展開	算 目	XX	
画 施策(小)	05 農村ツーリズムの推進	大事業	xx 農村:	ノーリズム推進事業
事業期間	終期未定 平成31年度 ~	中事業	00	
要求区分	継続			
根拠法令等	美幌町農村ツーリズム推進協議会規約		経費区分	政策的経費
事業概要	修学旅行生等を対象に農業体験や農村生活の場を提供し、都市農村3 や関係機関と連携しながら展開することで地域農業の魅力発信を強化す 目指す。			
事業目的	美幌版農村ツーリズム事業の展開により、農村地域での交流・滞在等交流人口」、「関係人口」増加に繋げることで地域経済の活性化を図るまた、受入体制の充実や受入手法のスキルアップを図るべく受入農家) .		
事業の対象	小中学生・高校生・一般			
実施結果	【実施結果】 ・日帰り農業体験受入:清風南海学園高等学校(平成28年〜令和元年) <u> 衛隊美幌駐屯地曹友会(令和4年〜6年度)、米国人農業者(令和4年度</u>			
現状と課題	【現状と課題】			
	現在、農家民泊受入に協力する農業者は18戸である。 引き続き受入農家の推進拡大と来町校の誘客を同時進行し、事業の抗	ナナた図る		
	<u>打き机と文八版外の記述に加入と木町牧の助台を同時進刊し、事業の批</u>	<u>4</u> 八で回る。		
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況			
	7.5 (0.5) (0.5) (0.5)			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	1 1201111111111111111111111111111111111								
				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
耳	事業費(千円)		355	167	1, 048	308	316	316	
	国支出金			-	0	0	0	0	0
	道支出金			-	0	0	0	0	0
	地方債			-	0	0	0	0	0
	その他			_	0	0	0	0	0
	一般財源			355	167	1, 048	308	316	316
7	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	†(事業費+人件費)		(千円)	355	167	1, 048	308	316	316

(見込値)

<u>3. 評</u>	<u>P価</u>											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
ti:	日帰	り農業体	験受入実績	目標	人		50	100	100	100	100	
指 標				実績	人		2	82	183			
1				達成率	%		4	82	183			
指	農家	民泊受入		目標	人		20	20	20	20	100	
指 標				実績	人		0	0	0			
2	2			達成率	%		0	0	0			
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
項目 評価の視点 評価 3							理由					
	妥当怕	<u></u> 生	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	핓	芒当	「美幌町観光まちづくり協議会」が令和3年度をもって解散した					
			うかを評価する。								-が事務局となり	
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	膏	引い		受入人数に対し、約1.8倍の受入実績を達成することができ め手段は適切である。				
			費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経		_	□ たたの子校は過りとめる。 ■ 目標人数を100名とした予算計上に対し、達成した実際の受					
	効率	生	費は適正かを評価する。		F	ましい					スは適正である	
			〇 拡充 ●	現状維持	0	縮小	Ö				評価結果	
		علاد 🛨	修学旅行生等を対象								正	
次年		事業	者や関係機関と連携			ことでセ	也域農業	の魅力を発信す	するとともに、	新たな		
取組			農業収益策としての			٠		Lb v b				
向性			0 11	現状維持		縮小	0	H #74			現状維持	
善内	谷	予算	受入農家の推進拡大						, .	_m		
		1 91	ため学校訪問や誘客 への参加、旅行業者				Lアルこ	(概算)	•	千円		
	// 0 =	* -	受入農家の推進拡大				こ 取り組					
今	後の改	香点	△八版外Ⅵ底/EI/A八	C >\\-1 \\\\\\	יים כי	IX 12 H J I	1A / NU					

1. 事業内容

事務事業名	乳用牛振興推進事業	課・グ	ブループ名	農村	政策課	農政グループ						
于初于木石	17.77 计成类证是事本	評価	価 者 名	経済	部長 :	河端 勲						
※ 基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	06	農林水	K産業費						
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	02 農業の振興	予	項	01	農業費	ŧ						
	05 畜産の振興	予 算 科	目	05	畜産業							
画 施策(小)	0 1 乳用牛の検定の推進と生産振興	1 7	大事業	01		長興事業 二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二						
事業期間	単年度 平成2年度 ~	ı	中事業	01	乳用牛	-振興推進事業						
要求区分	継続 町長重点政策 一											
根拠法令等	美幌町農林業振興条例、美幌町農林業振興条例施行規則、乳牛検定事業	実施	要領	経費	区分	政策的経費						
事業概要	①乳用牛群総合改良事業 乳用牛の資質向上や乳質向上及び酪農経営の改善を図るため、乳用牛群の総合的な検業を推進するため乳牛検定組合による検定員及び研修会の運営費の一部を助成する。 ②乳用牛振興事業 優良雌牛の牛群整備と搾乳牛の安定確保を図るため、乳用種性判別凍結精液の購入価格の一び削蹄に係る費用の一部を助成する。											
事業目的	①検定を促進することにより、町内の乳用牛群の資質及び収益を向上さ ②町内の優良乳用雌牛の増頭及び収益を向上させる。	ぜる。	0									
事業の対象	乳用牛飼養農家											
実施結果 ・ 現状と課題	【実施結果】 検定の促進。 優秀な後継牛の確保。											
事業進捗度	2 予定どおりに進んでおり、順調な進捗状況 進捗度3又は4の理由 左の具体的な内容											

2. 年度別事業費

(単位:千円)

		令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費 (千円)		1, 669	1, 866	2, 000	1, 999	2, 000	2, 000
国支出金		0	0	0	0	0	-
道支出金		0	0	0	0	0	-
地方債		0	0	0	0	0	1
その他		0	1, 866	0	999	0	_
一般財源		1, 669	0	2, 000	1, 000	2, 000	2, 000
人件費	(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	(千円)	1, 669	1, 866	2, 000	1, 999	2, 000	2, 000

(見込値)

今後の改善点

3. 詡	陌										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
塢	経産	牛1頭当	たりの乳量	目標	kg		8, 900	8, 900	8, 900	8, 900	8, 900
指標				実績	kg	kg 8, 916 8, 843 8, 876					
1				達成率	%	1	00. 18	99. 36	99. 73		
指				目標							
指 標				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指 標				実績							
3				達成率	%						
	項目	1	評価の視点	i	評	呼価			理由		
	妥当	性	今やるべきかど	±á	検討現状に有効な支援策か検討する必要がある。						
	女当	II.	うかを評価する。		19	נחא					
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普	語	乳用牛の資質向上、乳質向上に繋がっており、有効である。				
	効率	 	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	=	<u></u> 張しい	関係機	関との連携を図	図ることにより	、効率的な遺	運営が図られてい
	劝平	II.	費は適正かを評価する。		□	, c ·	る。				
				現状維持		縮小	0	休止・廃止			評価結果
次年	度の	事業	優良な経産牛の確保	こ有効な施気	策検討	を事業と	と並行し	て行う。			
取組	の方										
向性			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	皆減			現状維持
善内	容	マ竺	現行のままで妥当と	考える。				マケーのあった			シャンハ小正 1.1
		予算						予算反映額	0	千円	
			医克拉姆女儿大学原	L714	- 1110 /r∕-	0 1V = 1 =	L /	(概算)			
今	後の改	Z善点	優良な経産牛を確保	するためのう	文援策(の検討る	と行つ。				

1. 事業内容

事務事業名	肉用牛振興推進事業	課・グループ名	農林政策課	農政グループ			
争伤争未有	内用十派央任廷争未	評価者名	経済部長	河端 勲			
総 基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	款	06 農林2	k産業費			
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	02 農業の振興	予 項	01 農業費	河端 勲 〈産業費 養 養費 衰興事業 -振興推進事業 政策的経費 資質向上と市場にお 実施する研修会等へ 上、市場における優			
計 施策(中)	05 畜産の振興	<mark>算</mark> 目	05 畜産業				
画 施策(小)	05 肉用牛の生産振興	大事業		費 選事業 振興推進事業 政策的経費 資質向上と市場にお 実施する研修会等へ 上、市場における優			
事業期間	単年度 平成9年度 ~	中事業	02 肉用4	上振興推進事業			
要求区分	継続						
根拠法令等	美幌町農林業振興条例、美幌町農林業振興、美幌町優良肉用牛導入推造	進事業補助 📗	経費区分	政策的経費			
事業概要	優良肉用繁殖牛の導入に対する一部助成を行い、優良な繁殖雌牛群割ける優位性を確立し、肉用牛経営の安定と生産者の経営意欲を図る。 助成を行う。						
事業目的	優良肉用牛を計画的に導入することにより和牛生産経営の安定化が図り 位性が確立される。 また、研修会等が開催され情報交換が行われることにより、生産者の創						
事業の対象	肉用牛生産農家						
実施結果	【実施結果】 市場から優秀な血統の繁殖雌牛を導入するとともに、飼養する牛の価値	直向上を図る	ため研修会を	開催する。			
現状と課題	【現状と課題】						
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況						

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
Ę	事業費(千円)		1, 577	1, 577	1, 577	1, 577	1, 577	1, 577	
	国支出金			0	0	0	0	0	_
	道支出金			0	0	0	0	0	_
	地方債			0	0	0	0	0	_
	その他			0	1, 500	1, 500	1, 499	1, 500	_
	一般財源			1, 577	77	77	78	77	1, 577
	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	†(事業費+人件費)		(千円)	1, 577	1, 577	1, 577	1, 577	1, 577	1, 577

(見込値)

3. 評	価										(50212)
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
ti:	十勝	市場に対	する町内黒毛和牛の	目標	%		100	100	100	100	100
指標	価格	比		実績	%		83.8	86	85. 7		
1				達成率	%		83.8	86	85. 7		
指				目標							
指 標 2				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指標 3				実績							
3	3			達成率	%						
	項目 評価の視点				評	F価	理由				
	妥当	性	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	楨	討	現状に	有効な支援策力	か検討する必要	がある。	
	有効性	性	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高	ξιν	優秀な繁殖雌牛の牛群整備のため、有効である。				
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	ξιν	- 事業主 いる。	体への経費の-	一部助成に努め	ており、適正	とな経費となって
			〇 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	休止・廃止			評価結果
次年月取組の	-	事業	優良な繁殖雌牛の牛種	詳整備を図る	るために	に有効な	な施策検	討を事業と並行	うして行う。		
向性			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	皆減			現状維持
善内容		予算	現行のままで妥当と	考える。				予算反映額(概 算)	o	千円	· 九1人祁任1寸
今往	今後の改善点 生産者のニーズに対応した支援策を検討するため、関係機関と連携を図る。										

1. 事業内容

事務事業名	田中36号地区道営農村整備事業	課・グループ名	農林政策課	森林農地整備グループ							
于初于木石	四十00万地区坦当展刊走帰事末	評価者名	経済部長	河端 勲							
基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	款	xx								
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	02 農業の振興	_予 項	xx								
計 施策(中)	07 生産基盤の保全・整備	算 科 目	XX								
画 施策(小)	0 1 畑総事業等による土地基盤整備事業の推進	大事業		3 6 号地区道営農村							
事業期間	7年度 令和4年度 ~ 令和10年度	中事業	00								
要求区分	継続 町長重点政策 ○										
根拠法令等	土地改良法		経費区分	投資的経費							
事業概要	供用開始から40年以上経過している町道第36号道路の機能診断、機能保全計画を策定するとともに、今後持管理の効率化・適正化に向けた計画(維持管理適正化計画)を策定し、それらに基づいた対策を計画的・集中実施する。 対象施設:町道第36号道路 受益面積:314.0ha 受益戸数:20戸施設概要:L=4.693m W=5.5(7.0)m										
事業目的	農作物の運搬路でもある本路線は、路肩の変形や舗装クラック凹凸が割備を行って農作業の効率化及びコスト縮減を図る。	ぎしく通行に3	支障をきたし	ているため、更新整							
事業の対象	農道としての機能を維持し、老朽化等により補修や更新を必要とするも	道路整備事	業による優先	:度が低い町道							
実施結果	【実施結果】 道営事業による農道整備の実施										
現状と課題	【現状と課題】										
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況										

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	0	0	7, 875	8, 543	17, 325	40, 275
国支出金	-	_	0	0	0	0
道支出金	-	_	0	0	0	0
地方債	-	_	7, 800	7, 800	17, 300	40, 200
その他	-	_	0	0	0	0
一般財源	0	0	75	743	25	75
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	0	7, 875	8, 543	17, 325	40, 275
						(目17 体)

(見込値)

3. 割	. 評価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和0	7年度	令和08年度
坮	農道	整備進捗	状況	目標	%			0	5		15	37
指標				実績	%		0	0	5			
1				達成率	%				100			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目 評価の視点				部	呼価			理由			
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかど うかを評価する。				3	芒当	農道整備にて地域の農業生産基盤の整備を図る					
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	膏	らい	生産性	生産性の向上安定した農業の経営を図る				
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	膏	らい	、生産性の向上安定した農業の経営を図る					
			O 拡充 ● 計画的に事業推進の	現状維持 <u></u> 継続	0	縮小	0	休止・廃止			Ī	評価結果
次年/	の方	事業										
向性				現状維持	0	縮小	0	<u></u> 皆減			Ŧ	見状維持
善内容	容	予算	計画的に予算執行の	継続				予算反映額 (概 算)	0	千円	-	20 DA4E141
今	今後の改善点 関係機関・地元農家と連携の上、事業をけいぞくしていく必要がある											

1. 事業内容

事務事業名	田中第2地区道営土地改良事業	課	・グループ名	農村	本政策課	森林農地整備グループ					
尹仍尹未石	山中第2地区坦西土地以及事業	Ē	平価者名	経済	部長 注	河端 勲					
総 基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	06	農林水	最林水産業費 選業費 提地費 適営土地改良事業 日中第2地区道営土地改 か 投資的経費 備及び生産性並びに農村 度化事業(特別型:畑地					
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	02 農業の振興	予算	項	01	農業費	Ē					
計 施策(中)	07 生産基盤の保全・整備	算科	目	06	農地費						
画 施策(小)	0 1 畑総事業等による土地基盤整備事業の推進		大事業	02							
事業期間	7年度 平成31年度 ~ 令和7年度		中事業	02	田中第	3.2 地区道営土地改					
要求区分	継続 町長重点政策 〇										
根拠法令等	土地改良法			経費	区分	投資的経費					
活力ある農村地域社会と担い手育成を図るため、農産物の輸入自由化に対応できる基盤整備及び生産性並びに環境の向上、安定した農業の経営を図る。農業競争力強化基盤整備事業(水利施設等保全高度化事業(特別型:帯担い手育成型)) 受益面積:519ha 受益戸数:61戸 工事種別:区画整理、暗渠、客土 (大雨、台風等の被害対応も併せて実施) 【投資的経費】											
事業目的	生産基盤である農地を整備し、生産性の向上、安定した農業の経営を図	図る									
事業の対象	地区内の農地、農業者										
実施結果	【実施結果】 道営事業による基盤整備の実施										
現状と課題	<mark>果題</mark>										
事業進捗度											

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費			(千円)	25, 367	26, 382	43, 943	46, 711	65, 535	0
国支出	d金			0	0	0	0	0	_
道支出	金			10, 130	11, 061	18, 613	19, 579	27, 681	_
地方侵	Ę			2, 941	3, 210	5, 404	5, 684	8, 037	_
その他	<u>b</u>			12, 295	12, 111	19, 925	21, 313	29, 816	_
一般則	才源			1	0	1	135	1	0
人件費			(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当#	とり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業	費+人件費)		(千円)	25, 367	26, 382	43, 943	46, 711	65, 535	0
									(目3.体)

(見込値)

<u>3. 計</u>	<u> </u>											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07	7年度	令和08年度
指	農地	整備進捗	状況	目標	%			68	92		100	
指 標				実績	%		54	68	92			
1				達成率	%		100	100	100			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
項目 評価の視点 評価 理由												
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきか うかを評価する。					芒当	地域の農業生産基盤の整備を図る					
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	盲	らい	生産性	きの向上安定した	た農業の経営を	図る		
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。			らい	生産性	きの向上安定した	た農業の経営を	図る		
				現状維持	0	縮小	0	休止・廃止			į	评価結果
次年/	の方	事業	計画的に事業推進の	继続								
向性				現状維持	0	縮小	0	皆減			3	見状維持 📗
善内容	容	予算	計画的に予算執行の	継続				予算反映額 (概 算)	0	千円	·	F 0 1F 1/1 500 3 3
今	後の改	善点	関係機関と地元農家	と連携の上、	事業	を継続し	していく	必要性がある		•		

1. 事業内容

事務事業名	中央美和地区道営土地改良事業	課・グループ名 農林政策課森林農地整備グループ										
争协争未在	个人关州地区坦西土地以及事未	評価者名	経済部長	河端 勲								
総基本目標	<mark>票</mark> 03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	款	06 農林7	K産業費								
総 基本目標 合 施策(大 計 施策(中	0 2 農業の振興	予 項	01 農業費	1								
		予 項 月 目	06 農地費									
画 施策(小	71.10 7 11 7 7 0 = 0 = 1 = 110 7 11 1 1 1 1 1 1	大事業		上地改良事業								
事業期間		中事業	- 04 中央美	美和地区道営土地改								
要求区分	· 継続 <mark>町長重点政策</mark> 〇			1								
根拠法令等	土地改良法		経費区分	投資的経費								
事業概要	国営事業による用水再編に併せ、用水施設及び基盤整備を行うことにより、農村環境の向上、安定した農業の経営を図る。 農業競争力強化基盤整備事業(水利施設等保全高度化事業) ・受益面積: 426ha 受益戸数: 41戸 ・工事種別: 用水施設、区画整理、暗渠、客土											
事業目的	用水施設を整備し、生産性の向上、安定した農業の経営を図る。											
事業の対象	地区内の農地、農業者											
実施結果	【実施結果】 道営事業による用水施設及び基盤の整備											
現状と課題	【現状と課題】											
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況											

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	114, 992	72, 586	96, 883	97, 602	100, 640	57, 800
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	26, 462	18, 365	40, 787	38, 271	43, 586	25, 500
地方債	61, 552	21, 277	14, 545	17, 428	12, 654	7, 268
その他	26, 800	18, 715	41, 550	38, 826	44, 400	25, 032
一般財源	178	14, 229	1	3, 077	0	0
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	114, 992	72, 586	96, 883	97, 602	100, 640	57, 800
						(目17 体)

(見込値)

3. 割	平価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
塢	農地	整備進捗	状況	目標	%			44	64	7	3 85
指 標 1				実績	%		30	44	64		
Ĩ.				達成率	%		100	100	100		
指				目標							
指 標 2				実績							
2				達成率	%						
指		目標									
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
項目 評価の視点 評価							理由				
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきか、 うかを評価する。					芒当	地域の農業生産基盤の整備を図る				
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高	らし 、	生産性	きの向上安定した	た農業の経営を	図る	
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	らい	生産性	きの向上安定した	た農業の経営を	図る	
			O 拡充 ● 計画的に事業推進の	<u>現状維持</u> 継続	0	縮小	С	休止・廃止			評価結果
次年/取組(の方	事業									
向性				現状維持	0	縮小	С	上 皆減			現状維持
善内容	容	予算	定格的に予算執行の	継続				予算反映額(概算)	0	千円	20 M.E.14
今	今後の改善点 関係機関・地元農家と連携の上、事業を継続していく必要がある							必要がある		•	

1. 事業内容

事務事業名	中央野崎地区道営土地改良事業	課・グルー	<mark>プ名</mark>	具林政策課	森林農地整備グループ							
事 奶事未仁	中大野峒地区坦呂工地以及事業	評価者	名 名	Z済部長	河端 勲							
経 基本目	票 ○3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	款	0	∂ 農林≀	k産業費							
総 基本目	<mark>)</mark> 02 農業の振興	予	0	120-17-2								
	<u></u>	算 科		06 農地費								
画 施策(小		大事			L地改良事業							
事業期間		業 0	5 中央里	肾崎地区道営土地改								
要求区分	継続 町長重点政策 〇				1							
根拠法令等	土地改良法		経	費区分	投資的経費							
事業概要	国営事業による用水再編に併せ、用水施設及び基盤整備を行うことにより、農村環境の向上、安定した農業の経営を図る。農業競争力強化基盤整備事業(水利施設等保全高度化事業(特別型:畑地帯担い手育成型))受益面積:405ha 工事種別:用水施設、区画整理											
事業目的	用水施設及び農地を整備し、生産性の向上、安定した農業の経営を図る) ₀										
事業の対象	地区内の農地、農業者											
実施結果	【実施結果】 道営事業による用水施設及び基盤の整備											
現状と課題	【現状と課題】											
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況											

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	1 22/33 3 7/1720								
				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
=	業費		(千円)	0	0	25, 840	20, 131	22, 100	26, 350
	国支出金			-	-	0	0	0	0
	道支出金			-	-	11, 191	7, 074	9, 750	11, 412
	地方債			-	-	3, 161	0	309	3, 313
	その他			_	_	11, 400	6, 454	9, 571	11, 625
	一般財源			0	0	88	6, 603	2, 470	0
	件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	†(事業費+人件費)		(千円)	0	0	25, 840	20, 131	22, 100	26, 350

(見込値)

<u>3. 計</u>	<u> </u>											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和0	7年度	令和08年度
指	農地	整備進捗	状況	目標					5		11	18
指標				実績					5			
1				達成率	%				100			
指				目標								
指 標 2				実績								
2		達成率 %										
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目 評価の視点 評価 理由											
	妥当性	生	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	3	芒当	地域の農業生産基盤の整備を図る					
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高	らい		きの向上安定した				
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。			らい	生産性	生の向上安定し;	た農業の経営を	図る		
				現状維持	0	縮小	С	休止・廃止			Į	评価結果
次年』	の方	事業	計画的に事業推進の組	继続								111111111
向性				現状維持	0	縮小	С	皆減			Ŧ	見状維持
善内容	容	予算	定格的に予算執行の領	継続				予算反映額 (概 算)	0	千円	-	SO NOUT 1.1
今:	後の改	善点	関係機関・地元農家	と連携の上、	事業	を継続し	していく	必要がある				

1. 事業内容

事務事業名	豊高第2地区道営土地改良事業	課・グループ名 農林政策課森林農地整備グループ										
事物事未 有	豆同第2地區坦呂工地以及事未	評	平価者名	経済	部長 注	河端 勲						
※ 基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	06	農林水	〈産業費						
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	02 農業の振興	予算	項	01	農業費	Ĭ						
	<u></u>	科	目	06	農地費	Ī						
画 施策(小)	0 1 畑総事業等による土地基盤整備事業の推進	B	大事業	02		地改良事業						
事業期間	8年度 平成29年度 ~ 令和6年度		中事業	79	豊高第	2 地区道営土地改						
要求区分	継続 町長重点政策 〇											
根拠法令等	土地改良法			経費	区分	投資的経費						
事業概要	活力ある農村地域社会と担い手支援を図るため、農産物の輸入自由化に対応できる基盤整備及び生産性並びに集落環境の向上、安定した農業の経営を図る。農業競争力強化基盤整備事業(農地整備事業(畑地帯担い手育成型)) 受益面積:325.1ha 受益戸数:29戸 工事種別:区画整理、暗渠、客土 【投資的経費】											
事業目的	生産基盤である農地を整備し、生産性の向上、安定した農業の経営を図	図る。										
事業の対象	地区内の農地、農業者											
実施結果	【実施結果】 道営事業による基盤整備の実施											
現状と課題	【現状と課題】											
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - 左の具体的な り、順調な進捗状況 4 の理由 内容											

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
Г	事業費		(千円)	26, 672	30, 788	5, 780	5, 769	0	0
	国支出金			0	0	0	0	0	_
	道支出金			11, 981	13, 485	2, 376	2, 370	0	_
	地方債			2, 883	3, 513	690	688	0	_
	その他			11, 804	13, 790	2, 714	2, 710	0	_
	一般財源			4	0	0	1	0	0
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
	計(事業費+人件費)		(千円)	26, 672	30, 788	5, 780	5, 769	0	0
									(目3.体)

見込値)

3. 計	怡曲											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	F度	令和08年度
指	農地	整備進捗	状況	目標	%			97	100			
指 標				実績	%		80	97	100			
1				達成率	%		100	100	100			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指	目標											
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点	ā	部	平価	理由					
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきからかを評価する。						地域の農業生産基盤の整備を図る					
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	^が 適切かどうかを	虐	高い	農業生産性の向上安定した農業の経営を図る					
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	いるか、現行の経	肓	高い	農業生	E産性の向上安?	定した農業の経	営を図る		
				現状維持	0	縮小	•	休止・廃止			į	評価結果
次年/	の方	事業	事業完了								•	
向性			〇 拡充 〇	現状維持	0	縮小	•	皆減			休	・・廃止
善内	容	予算						予算反映額 (概 算)	i 0	千円	rı	
今	後の改	善点										

1. 事業内容

事務事	主 坐 夕	地場産材利用促進事業	課	・グループ名	農林	林政策課:	森林農地整備グループ
事 7万 事	# 木 口	也物性的利用促進事業	Ē	平価 者 名	経済	部長 注	河端 勲
絵	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	06	農林水	く産業費
総合計	拖策(大)	03 林業の振興	予算	項	02	林業費	Ę
	<mark>拖策(中)</mark>	02 付加価値の向上	科	目	01 林業総務費		
	施策(小)	O 2 FSC R 森林認証取得等による地域材ブランド化	B	大事業	02		推進事業
	期間	終期未定 平成28年度 ~ 令和11年度		中事業	06	地場産	E材利用促進事業
要求	区分	継続					
根拠法	去令等	美幌町地域材利用推進方針			経費	区分	政策的経費
事業	概要	FSC® 森林認証材を使用した木製品の開発を行い、町産材の利用促進及 【投資的経費】	びた	†加価値 <mark>向</mark>	上を	図る。	
事業	目的	FSC® 森林認証材の利用促進・付加価値向上					
事業の	の対象	FSC® 森林認証材					
実施	結 果 •	【実施結果】 製品開発					
現状と	と課題	【現状と課題】 FSC森林認証材を使用した木製品の開発を行い、安価で安全性を見振	まえ :	た製品開発	 そを行	う必要	 がある。
事業進	進 捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

			令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費		(千円)	539	1, 827	1, 801	1, 569	3, 819	3, 819
国支出金			0	0	0	0	0	0
道支出金			0	0	0	0	0	0
地方債			0	0	0	0	0	0
その他			0	1, 496	1, 298	1, 100	2, 732	2, 732
一般財源			539	331	503	469	1, 087	1, 087
人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)		(千円)	539	1, 827	1, 801	1, 569	3, 819	3, 819

(見込値)

今後の改善点

3. 評	陌											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	度	令和08年度
指	FSC	忍証材を何	使用した製品開発個	目標	個		4	4	4		4	4
指 標	数(FSC認証	トレードマーク使用	実績	個		7	4	3			
1	製品	数)		達成率	%		175	100	75			
指	各種	イベント	·における町産FSC認	目標	□		5	5	5		5	5
指 標 2	証材	のPR実施	回数	実績	□		4	5	4			
2				達成率	%		80	100	80			
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%		T					
	項目	1	評価の視点	i	部	呼価			理由			
	妥当	性	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	<u> </u>	 {当	美幌町	「産FSC森林	認証材を推進す	るためには	、森	ネ林認証材を使
	Д =	iT.	うかを評価する。		5		用した	製品開発が必要	要であり、妥当	iである。		
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	戸	売し い		「産FSC森林				
	13 293	· -	評価する。					証の普及や認				
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	膚	らい		美幌町産FS			· , –	-般材と差別化
	.,,,		費は適正かを評価する。					ことができ適	正な経費となっ	ている。		
			0 11-11-0	現状維持		縮小	C	FI-12 //L12	W		部	平価結果
· / / !	# A	事業	引き続き、FSC森		収組を	推進し、	町内外	への普及及ひ	製品開発を行い	地場産		
次年 取組 (~	于木	材利用促進事業を実施	他する。								
向性			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小		皆減			_	7 1 5 6 7 1 5
善内			利用推進及び認証製	20 17 TIE 1 1							坦	見状維持
	_	予算	る。	1H 65 3 22H III		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-) < n : 7	予算反映額	Į C	千円		
								(概 算)		- , -		
今	今後の改善点 FSC認証材のPRとなる新製品開発に向け、事業者との連携を強化する。											

1. 事業内容

主弘	事業名					課	・グループ名	農村	本政策課	森林農地整備グループ
** 17	7	可连付估用促進事業				Ī	平価 者 名	経済	部長 注	可端 勲
纵	基本目標	03 まちの資源や持ち呀	kを、活力に換:	えていくまち	づくり		款	06	農林水	〈産業費
総合計	施策(大)	O 3 林業の振興				予算	項	02	林業費	Ì
計	施策(中)	02 付加価値の向上				科	目	01	林業総	於務費
画	施策(小)	O 2 FSC R 森林認証取得				i i	大事業	02		進事業
	業期間		或19年度 ~				中事業	93	町産材	†活用促進事業
要:	求区分	継続		<mark>町</mark>	<mark>長重点政策</mark> -	-				
根拠	退法令等							経費	区分	政策的経費
事	業 概 要	美幌町産FSC森林認証 住環境整備、認証材の付加 ・町産材活用促進事業補	価値向上を図る		資源の地産地消	の推	進・町内線	圣済の	活性化	・町内住宅の良質な
事	業目的	認証材住宅の普及拡大								
事業	美の対象	町産認証材								
実力	施結果	【実施結果】 認証材住宅の建築費補助								
現場	きに課題	【現状と課題】 補助事業の確実な執行を図 滅などによって補助事業の			 テってはいるが	、 —	 般材の価 ^相	 各変動		高騰による着工件数
事業	美進捗度	3 一部で予定どおり進ん でおらず、やや遅れている		その他	左の具体的な 内容	-	り優位な補 されなくな			るため、本事業の活用

2. 年度別事業費

(単位:千円)

			令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費		(千円)	3, 879	494	4, 221	1, 785	0	0
国支出金			1, 441	0	1, 620	0	0	1
道支出金			0	0	0	0	0	-
地方債			0	0	0	0	0	_
その他			0	0	0	1, 190	0	_
一般財源			2, 438	494	2, 601	595	0	0
人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)		(千円)	3, 879	494	4, 221	1, 785	0	0

(見込値)

今後の改善点

3. 評	平価											(見込値)
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	变	令和08年度
指	FSC認	証材使用	用量	目標	m3		500	500	500		0	0
指標				実績	m3		130	0	0			
1				達成率	%		26	0	0			
指				目標								
指 標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3			実績									
3				達成率								
	項目 評価の視点				評	価	理由					
	妥当性	 生	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	るべきかど 妥当 地域材を利用し木材の地産地を推進するためにはス							材の付加価値
	Х — 1.		うかを評価する。			` —		: 利用促進が必要				
	有効性	4	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	善	通		宅の住環境整備			幌町	産FSC森林
	137731.		評価する。					の成長・発展に				
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	検	討		高騰により、町	丁産材活用促進	事業補助金	で価	格差を埋める
			費は適正かを評価する。				には至	っていない。				
				現状維持		縮小		休止・廃止	L -		評	· <mark>価結果</mark>
*## ## I	<u>_</u> _	事業	以下の理由から、令							₩		
次年。		于不	○FSC-FM認証グルー: る美幌町産FSC森林認									
向性				<u>証例の下分</u> 現状維持		1730-00 縮小	<u>○記記日本</u>	LIP 1_11	1 1万 1万 /白 [~	大作し	,,	
善内			<u> </u>	シャン・ルー 1.1		41H - 1		□ #%			休」	止・廃止
	_	予算						予算反映額	△4, 221	千円		
								(概算)	,			

1. 事業内容

事務事業	ス	課・グループ名	農林政策課	森林農地整備グループ
于初于木	竹米ノルーン自成事末	評 価 者 名	経済部長	河端 勲
総 基本	7標 03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	款	06 農林2	k産業費
総 基本 合 施策 計 施策	大) 03 林業の振興	予 項	02 林業3	貴
	 	予 項 算 目		総務費
画施策		大事業 大事業		推進事業
<u>事業期</u>		中事業	05 林業会	ブループ育成事業
要求区	<mark>分</mark> 継続 <mark>町長重点政策</mark> ○			_
根拠法令	等		経費区分	政策的経費
事業概	森林所有者の高齢化、後継者問題が深刻化することから、林業グルース強化を図る。	<mark>-</mark> の活動を支	援することに	より、後継者の育成
事業目	後継者の育成的			
事業の対	<mark>象</mark> 後継者			
実施結	【実施結果】 株業グループ活動費の補助			
現状と課	現 【現状と課題】 林業グループの育成及び組織維持のため研修会等を通して、後継者への)参加を促し約	組織強化を図]る必要がある。
事業進捗	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

		令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費	(千円)	13	38	40	40	40	40
国支出金		0	0	0	0	0	_
道支出金		0	0	0	0	0	_
地方債		0	0	0	0	0	_
その他		0	0	0	0	0	_
一般財源		13	38	40	40	40	40
人件費	(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	(千円)	13	38	40	40	40	40
							(目3.値)

3. 評	価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	隻	令和08年度
t⊑	活動	回数		目標	回			10	5		5	5
指 標				実績	回		5	5	8			
i i				達成率	%		50	50	160			
指				目標								
指 標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点		部	平価			理由			
	妥当怕	<u></u>	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	<u> </u>		森林所	f有者の高齢化の	のため林業後継	と 者不足が進	む瑪	状では、本事
	Д Э 1		うかを評価する。		5		業から	手を引くことに	は出来ないため	妥当である	0	
	有効性	4	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	並	通	林業な	ブループの活動々	への支援は、材	業後継者不	足を	解消すること
	13 553 1		評価する。					べるため有効でき				
	効率	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	唐	高しい	林業ク	ブループ活動補助	助金を行うこと	で適正な経	費と	:なっている。
	773 1 1		費は適正かを評価する。									
			- III-11-0	現状維持		縮小	C	休止・廃止			彭	平価結果
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	<u>.</u> _	事業	現状維持のまま実施で	することがi	箇当で	ある。						
次年 取組(尹木										
向性			O 拡充 ●	現状維持	$\overline{\circ}$	縮小	C) 皆減			-	3.15.64.44
善内			現状の計画で進める。			and 4					圪	見状維持
		予算		,				予算反映額	<mark>i</mark> c	千円		
								(概 算)				
今:	後の改	善点	林業グループの活動	支援の強化								
		, _— ,,,,										

1. 事業内容

事 淼	事業名	森林の担い手支援事業	課	・グループ名	農村	林政策課業	森林農地整備?	ブループ
7 17	1 平木 1	林4年の150・丁文18事業	ī	评価 者 名	経済	部長 注	可端 勲	
絵	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	XX			
総合計	施策(大)	03 林業の振興	予算	項	XX			
	施策(中)	O3 経営の近代化・効率化の推進	科	目	XX			
	施策(小)	03 町内森林の安定的な森林整備の推進	目	大事業	XX	森林の	担い手支援	事業
	業期間	10年度		中事業	00			
安习	区分	継続 町長重点政策 〇						
根拠	l法令等				経費	区分	政策的	経費
事業	業 概 要	担い手の高齢化や若年層の都市部流出などにより確保が困難となってま・木材製造業の安定経営には必要不可欠であることから、担い手(林業						軍、林業
事第	業目的	林業・製材業の担い手確保						
事業	の対象	林業従事者及び製材業従事者						
実が	を 結 果 ・	【実施結果】 就業支援						
現状	と課題	【現状と課題】 いずれの事業体も担い手確保に苦慮しており、外国人労働者の採用活動 修学校である「北海道立北の森づくり専門学院」の今年度の入学生は過						
事業	進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況						

2. 年度別事業費

(単位:千円)

12000								
			令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費	(-	千円)	0	120	960	360	2, 280	2, 280
国支出金			-	0	0	0	0	0
道支出金			-	0	0	0	0	0
地方債			-	0	0	0	0	0
その他			_	120	960	360	2, 280	2, 280
一般財源			0	0	0	0	0	0
人件費	(-	千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費	千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	(-	千円)	0	120	960	360	2, 280	2, 280

(見込値)

3. 評	. 評価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
塢	前年	度新規就	業者数	目標	人			4	5	5	5
指標				実績	人			1	1		
- î				達成率	%			25	20		
指				目標							
指 標 2				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
	項目		評価の視点	i	部	呼価			理由		
	妥当怕	生	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	3	芒当	l)担い手不足は: 長がある。	全国的な問題で	あり、町とし ⁻	ても対策を講じ
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	힅	通		€を確保するた。		要となる。	
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	膏	らい	経費に	こついては適正 [・]	である。		
				現状維持		縮小	С) 休止・廃止			評価結果
		古光	現状維持のまま実施 [・]	することがii	箇当で	ある。					
次年) 取組(の方	事業									
向性				現状維持		縮小	C) 皆減			現状維持
善内	容	予算	現状の計画で進める	ことが適当で	である。	0		予算反映額 (概 算)	0	千円	2001121
今	後の改	善点	林業・製材業従事者の	の確保に向け	ナ、広	報等に。	より事業	の周知を徹底し	していく。	•	

1. 事業内容

事務事業名	木質ペレットストーブ購入促進事業	課	・グループ名	農林	林政策課	森林農地整備グループ
争仍争未有	小貝・レブドスドープ購入促進事業	Ī	評価者名	経済	部長 注	河端 勲
基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	06	農林水	く産業費
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	03 林業の振興	予	項	02	林業費	Į
	05 木質バイオマスの普及促進	算 科	目	01	林業総	総務費
画 施策(小)		目	大事業	02		推事業
事業期間	10年度以上 平成20年度 ~ 令和11年度		中事業	02	木質へ	ペレットストーブ購
要求区分	継続					
根拠法令等	美幌町地域新エネルギービジョン			経費	区分	政策的経費
事業概要	「美幌発低炭素な町づくり」「美幌町新エネルギービジョン」に基び木質バイオマスエネルギー推進のため、木質ペレットストーブの利り				替によ	るCo2排出削減及
事業目的	ペレットストーブの普及拡大					
事業の対象	ペレットストーブ					
実施結果	【実施結果】 ペレットストーブ購入費助成					
現状と課題	【現状と課題】 ペレットストーブへの燃料補充の手間や掃除、ペレットの保管場所の 脱炭素社会への取組みの一つとして進めて行く必要がある。	確保		 管理.	 上のデ <i>ン</i>	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事	業費		(千円)	1, 214	1, 555	2, 026	2, 002	2, 026	2, 026
	国支出金			0	0	0	0	0	0
	道支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			1, 100	1, 500	2, 000	1, 100	1, 000	1,000
	その他			0	0	0	0	0	0
	一般財源			114	55	26	902	1, 026	1, 026
人	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	- (事業費+人件費)		(千円)	1, 214	1, 555	2, 026	2, 002	2, 026	2, 026
									(目3.値)

3. 評	価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
坮	町内	木質ペレ	・ットストーブ設置累	目標	台		100	100	100	100	100
指標	計台	数		実績	台		82	86	91		
1				達成率	%		82	86	91		
指				目標							
指標				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指標				実績							
3				達成率	成率 %						
	項目		評価の視点		部	平価			理由		
	妥当	性	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	^{、ど} 妥当		「低炭	素な町づくり.	」及び「美幌町	新エネルギー	·ビジョン」に基
	女ヨロ	Ξ.	うかを評価する。		3		づく事	業であり実施	主体は町が妥当	iである。	
	有効怕	生	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	膏	引い					は、地球温暖化
			評価する。	7			1112)発展に繋がる7			· -
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	青	高い			ノ購人補助金を	行うことで適	正な経費となっ
			費は適正かを評価する。	TD 11 44 ++		6 台 .1.	ている				
			<u> </u>	現状維持		縮小	<u> </u>	休止・廃止			評価結果
次年月	±س ا	事業	現状維持のまま実施で	りることかれ	回田で	める。					
取組の		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •									
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С) 皆減			1111/4/4/4
善内名			現状の計画で進める	ことが適当で	である						現状維持
		予算						予算反映額	i c	千円	
								(概 算)			
今	後の改	善点	ペレットストーブの	認知度向上を	を図り	、制度原	割知を徹	底していく。			

1. 事業内容

主	事業名	事業継承支援事業			課・グループ名 商工観光課商工観光グループ					
7 17	尹 未也	于木柜小人及于木				Ī	評価者名	経済	各部長	河端 勲
松	基本目標	03 まちの資源や持	ち味を、活力に換	えていくまち	づくり		款	ХХ		
総合計	施策(大)	05 商工業の振興				予算	項	ХХ		
	施策(中)	0 1 経営基盤の強化	、経営の近代化			_ 科	目	ХХ		
	施策(小)	02 経営相談・指導の)強化			目	大事業	XX	事業終	継承支援事業
	き期 間	終期未定			中事業	00				
要才	マスト	継続								
根拠	法令等					経費	区分	政策的経費		
		事業承継を行う前に	経営を安定化させる	る。また、円泡	骨に事業承継が出	出来	るよう支	援する)	
事業	き概 要									
		古光ス似ナクレ 古光の	w.结儿. = E B B B B	5 + m 7						
# 4	٠ - Ab	事業承継を促し事業の経	性続化、雇用の安定	どと凶る。						
争身	美目的									
+ **	<u>л 4 4</u>	古光公兴之 乙侧之								
争耒	の対象	事業経営者、承継者								
宝성	插 結 果	【実施結果】 R6年度、本制度の利用 ⁷	fo 1							
天加	型和 未	N0年度、本制度の利用/	よし。							
現状	と課題	 【現状と課題】								
90 00		今後において事業承継が	が問題となる事が想	想定されており) 必要時に対応で	でき	るよう.	制度内	容を検	討。
		, 121 - 00 0 1 1 NO 1 ME	- 1.3.22 0. 0 4.70 11	2,72 2 17 2 00	, x					·#.·
						事	業開始後	件の和	利用とな	ぶっている。
車業	進捗度	4 予定どおりに進んで	お <mark>進捗度3又は</mark>	その他	左の具体的な					
デ 木	足沙皮	らず、遅れている	4の理由		内容					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	0	0	500	0	500	500
国支出金	_	-	0	ı	0	_
道支出金	-	_	0	_	0	_
地方債	-	_	0	_	0	_
その他	_	_	0	_	0	_
一般財源	0	0	500	0	500	500
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)(千円)	0	0	500	0	500	500
						(目以値)

<u>3. 計</u>	<u>"</u> 曲											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	F度	令和08年度
指	事業	承継支援	小規模事業者持続化	目標	件		3	1	1		1	1
指標	補助:	金利用件	-数	実績	件		0	0	0			
1				達成率	%		0	0	0			
指				目標								
指 標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	日的や現状及び課題から、町		評価の視点	i	部	呼価			理由			
	妥当性 目的や現状及び課題から、町			今やるべきかど	<u>1</u>		後継者不足が問題化され、美幌町の経済の維持・				持・急	発展に必要不可
	妥当性 うかを評価する。		うかを評価する。	女当			欠であ					
	有効性	4	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	単	通	後継者	がいる早い段	階で利用可能な	制度であ	り、[国補助への上乗
	ו נאי נו	<u> </u>	評価する。			1 1112	せであ	るが、国補助の	のハードルが高	いため内	容検	討する。
	効率性	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	膚	ましい	事業産	《継の問題意識の	の啓発に繋がっ	ている。		
	773 1 1		費は適正かを評価する。			-						
				現状維持	0	縮小	C	休止・廃止				評価結果
»————	_	事業	継続して実施する									
次年		尹未										
取組(○坊本	現状維持	0	縮小	C) 皆減				
	<mark>可性・改 ○ 拡充</mark> 巻内容 継続して実施			九八平正寸		州日11,						現状維持
- P 1	予算							予算反映額	i o	千円		
								(概 算)	Ĭ	'''		
今	後の改	善点	事業承継の問題意識の	の啓発のため	め、引	き続き糸	継続する	0		<u>, </u>		

1. 事業内容

事務事業名	店舗リフォーム促進支援事業	課・グループ名	商工観光課	商工観光グループ							
尹 仍尹未 口	心論ソノオーム促進又後事未	評価者名	経済部長	河端 勲							
基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	款	07 商工費	ŧ							
総 合 施策(大) 計 施策(中)	05 商工業の振興	予 項	01 商工費	ŧ							
	O 1 経営基盤の強化、経営の近代化	予 項 算 目	02 商工業	美振興費							
画 施策(小)	03 既存企業の振興促進	^目 大事業		美活性化促進事業							
事業期間	終期未定 平成27年度 ~	中事業 03 │店舗リフォーム促進									
要求区分	継続 <u>町長重点政策</u> 〇			T							
根拠法令等	美幌町店舗リフォーム促進支援事業補助金交付要綱		経費区分	政策的経費							
事業概要	経営指導及び店舗のイメージアップに資するリフォームに要する経費のよる経営の安定化及び店舗機能の維持又は向上を図るとともに、町内のすることを目的とする。										
事業目的	集客力の強化による経営の安定化及び店舗機能の維持や向上を図る。										
事業の対象	店舗の経営者および所有者										
実施結果	【実施結果】 経営指導、店舗リフォーム費用を補助した。										
現状と課題											
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度 3 又は</mark> り、順調な進捗状況										

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
틬	業費		(千円)	2, 539	5, 686	8, 000	7, 662	8, 000	10, 000
	国支出金			0	0	0	0	0	1
	道支出金			0	0	0	0	0	1
	地方債			0	0	0	0	0	1
	その他			0	0	0	0	0	_
	一般財源			2, 539	5, 686	8, 000	7, 662	8, 000	10, 000
	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	†(事業費+人件費)		(千円)	2, 539	5, 686	8, 000	7, 662	8, 000	10, 000

(見込値)

<u>3. 計</u>	<u> </u>											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07	年度	令和08年度
指	店舗	リフォー	·ム補助件数	目標	件		10	8	8		8	10
指 標				実績	件		4	8	13			
1				達成率	%		40	100	163			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	日的が現代では調査ができます。		評価の視点		部	萨価			理由			
	妥当性 目的や現状及び課題から、町でうかを評価する。			今やるべきかど	3	半当	地域組	済の振興は重	要な施策であり	、妥当で	ある。	,
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	曹	通	実績値	からも有効で	ある。			
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。			ら い	実績値	重からも有効で?	ある。			
				現状維持	0	縮小	С	休止・廃止				評価結果
		中央	引き続き実施する。									ar imitals
取組	<mark>欠年度の 事業 取組の方 </mark>											
	句性・改 〇		- 11	現状維持	0	縮小	С	皆減				現状維持
善内 [:] 	各内容 予算 現在の成果を経			るため。				予算反映額(概算)	0	千円		20 0 (42.14)
今	後の改	善点	引き続き、経営指導に	は個別相談る	を原則	とし、糸	圣営改善	に繋げていきか	さい。	•		

1. 事業内容

車 恐	事業名					課	・グループ名	商コ	C観光課i	商工観光グループ			
事 4为	争未有	エと店舗店用促進事業				į	評価 者 名	経済	部長 :	河端 勲			
総会	基本目標	03 まちの資源や持ち呀	kを、活力に換:	えていくまち	づくり		款	07	商工費	E C			
	施策(大)	05 商工業の振興				予算	項	01	商工費	ŧ			
	施策(中)	02 商店街の魅力向上				科	Ш	02		美振興費			
	施策(小)	01 空き店舗の活用促進	<u> </u>			i i	大事業	02	商工業活性化促進事業				
	業期間	終期未定			│ 中事業 05 空き店舗活用促進事業								
安习	 区分	継続		<mark>長重点政策</mark> -	-				I				
根拠	L法令等	美幌町空き店舗活用事業補助金交付要綱 政策的経費 政策的経費											
事業	業 概 要	中心市街地の空き店舗を らも補助)する。	活用した事業者	者への家賃を 衫	補助(月額の1/−	4で」	上限2万円量	是長1 2	2か月・	同額を商工会議所か			
事業	業目的	空き店舗を活用した事業者	への家賃補助る	を行い、中心で	万街地の活性化	を図	る。						
事業	の対象		•										
実が	拖結果	【実施結果】 令和6年度1件起業し利用	。(R6. 6~R7.	5)									
現状	さと課題	【現状と課題】 現制度は、中心市街地区域	のみの運用とな	ぶっており、征	5中の空き店舗	であ	っても区均	*************************************	*************************************	 とならない。			
事業	進捗度	3 一部で予定どおり進ん でおらず、やや遅れている		その他	左の具体的な 内容	令和 件。		年度	に1件、	令和6年~7年度に1			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

_	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
=	事業費		(千円)	80	120	240	125	265	240
	国支出金			0	0	0	0	0	_
	道支出金			0	0	0	0	0	_
	地方債			0	0	0	0	0	_
	その他			0	0	0	0	0	-
	一般財源			80	120	240	125	265	240
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	十(事業費+人件費)		(千円)	80	120	240	125	265	240

(見込値)

3. 評価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
指	空き	店舗活用	件数	目標	件		1	1	1	2	2 1
指 標				実績	件		1	1	1		
1				達成率	%		100	100	100		
指				目標							
指 標 2				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
	項目 評価の社			評価							
	妥当怕	生	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	3	² 当	中心市	ī街地の活性化I	ま重要な施策で	があり、妥当で	ごある 。
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	曹	通	空き店	舗の活用に繋	がるため有効で	きある 。	
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	膏	らい	商工会	ŧ議所と同じ補!	助率であり経費	は適正である	,
			○ 拡充引き続き実施する。	現状維持	0	縮小	С	休止・廃止			評価結果
取組	文年度の 取組の方										
向性				現状維持	0	縮小	С	上 皆減			現状維持
善内	容	予算	現在の成果を維持する	るため。				予算反映額 (概 算)	0	千円	SO NAME N
今	後の改	善点	起業家相談の際等に	中心市街地へ	〜 の出	店を推済	進してい	· < 。		-	

1. 事業内容

車 淼	事業名	核となる施設整備事業			課	・グループ名	商コ	□観光課	• 商工観	光グループ		
7 17	尹末石	似こなる旭政走備事業			Ē	评価 者 名	経済	許哥長	河端 勲			
総	基本目標	03 まちの資源や持ち吸	未を、活力に換	えていくまち	づくり		款	XX				
総合計	施策(大)	05 商工業の振興				予算	項	XX				
	施策(中)	02 商店街の魅力向上				算 _ 科	目	XX				
	施策(小)	04 賑わい、集客施設な	よどハード整備	の推進		目	大事業	XX	核とな	る施設	整備事業	
	美期 間	終期未定			中事業	00						
要求	マスト	継続		<mark>町</mark>	<mark>長重点政策</mark> 〇)				ı		
根拠	法令等					経費	区分	政	策的経費			
		関係機関・各団体と連携を	図りながら、則	辰わい・集客 が	色設などのハー	ド整	備を推進 [・]	する。				
事業	美概 要											
		中心市街地の活性化と賑わ	いの創出を図る	るため、核とフ	よる施設の整備を	を進	める。					
事業	美目的											
車業	の対象	 町民										
于不	~ × 1 × 1	【実施結果】										
実 旅	插 果	関連地の地主の意向調査										
ᄪᄱᅶ	・	『 T F J L L S F R R S J										
現认	と課題	【現状と課題】 人口減や景気低迷による購	ままりはい ロ	トリ 4 の出弗:	左山							
		人口減い京気心及による時	東月の似ツ、 『	リクトへの消食が	II , Ш о							
											あるため、	
事業	進捗度	4 予定どおりに進んでお		左の具体的な					場所など	を含めて	構想	
,, ,,,	~,,,,,	らず、遅れている	4の理由		内容	を	食討する』	必要が	ある。			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
7	事業費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	国支出金			-	ı	0	-	0	_
	道支出金			_	1	0	ı	0	_
	地方債			_	1	0	1	0	_
	その他			_	1	0	_	0	_
	一般財源			0	0	0	0	0	0
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
i	計(事業費+人件費)		(千円)	0	0	0	0	0	0
									(目17 体)

見込値)

3. 評価												
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07	7年度	令和08年度
指				目標								
指 標 1				実績								
1				達成率	%							
指				目標								
指 標 2				実績								
				達成率	%							
指 標 3				目標								
標				実績								
3				達成率	%							
I	項目 評価の視点				評	萨価			理由			
妥	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかど うかを評価する。			今やるべきかど	楨	討	財政負担や場所等を地域を含めて検討する必要がある					
有	勃性		目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	但	ELV	検討中	1				
效	本性		費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	但	ELV	検討中	1				
				現状維持		縮小	0	休止・廃止			1	评価結果
次年度の 取組のフ	次年度の事業		財政負担や場所等を対	地域を含めて	C検討 [·]	する					-	
向性・こ	汝 🔽			現状維持	•	縮小	0	皆減				縮小
善内容		予算	検討中					予算反映額 (概 算)	Į o	千円		4.1E . 1
今後(の改善	点	町が主体となった整備 社会情勢や町財政の					所等の検討を述	進める	•		

1. 事業内容

事務事業名	プレミアム商品券発行事業	課	・グループ名	商コ	C観光課i	商工観光グループ					
节 仍	プレミノ公向四分元刊事業	į	評価者名	経済	部長 注	河端 勲					
基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	07	商工費	E .					
総 合 施策(大) 計 施策(中)	05 商工業の振興	予算	項	01 │ 商工費							
	02 商店街の魅力向上	算 _ 科	目	02	美振興費						
画 施策(小)	05 町内消費拡大事業支援	目	大事業	02		美活性化促進事業 二二					
事業期間	終期未定		中事業	02	プレミ	アム商品券発行事					
要求区分	継続 <mark>町長重点政策</mark> 一										
根拠法令等	美幌町労働及び商工振興対策補助金交付要綱			経費	区分	政策的経費					
事業概要	消費拡大に伴う町内経済の活性化を目的としてプレミアム商品券を へのサービス提供を行う。	発券	し、ポイン	ノトカ	ードシ	ステムによる消費者					
事業目的	消費拡大に伴う町内経済の活性化。										
事業の対象	ポイントカード会員および登録事業者										
実施結果	【実施結果】 プリペイドチャージによる商品券発行イベントの開催費用を補助した。										
現状と課題											
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況										

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度	決算 令和05:	年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費 (千円) 8,	398	8, 170	8, 400	7, 896	4, 200	8, 400
国支出金		0	0	0	0	0	_
道支出金		0	0	0	0	0	_
地方債		0	8, 100	8, 400	7, 800	3, 000	-
その他		0	0	0	0	0	-
一般財源	8,	398	70	0	96	1, 200	8, 400
人件費 (-	千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (.	人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (3	千円) 8,	398	8, 170	8, 400	7, 896	4, 200	8, 400

3. 評価	5											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年原	全 全	和08年度
tie 译	商品券利	用率	i .	目標	%		99	99	99	(9	99
指 標				実績	%		99. 98	97. 3	94			
1				達成率	% 10		100. 99	98. 2	94. 9			
指				目標								
指 標				実績								
2	2		達成率	%								
指	指			目標								
指 標				実績								
3				達成率	%							
:	項目 評価の視点			į	彭	平価	理由					
妥	そ当性		目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	끃	斧 当	商店街	fの活性化は重要	要な施策であり	、妥当であ	る。	
有	勃性		目標達成度から、手段や対象等か 評価する。	適切かどうかを	힅	通	町内で	での購買力が増し	しており有効で	ある。		
交	加率性		費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高い 利用率からも十分な成果が出ており、適正				、適正な経	費であ	る。	
				現状維持	0	縮小	С	休止・廃止			評価	結果
次年度の		業	引き続き実施する。									
向性・こ			〇 拡充 〇	現状維持	•	縮小	С	皆減			⊐h	:善
善内容	予	算	現在の成果を維持す	るため。			_	予算反映額(概算)	<u>i</u> △4, 200	千円	GΧ	· 世
今後	の改善点	į	各店舗の顧客満足度 いる	を高めるエラ	夫が必.	要。ま <i>f</i>	こ、ポイ	ントカードシス	ステムの更新、	加入店の拡	充が課!	題となって

1. 事業内容

事務事業名	観光推進事業	課・グループ名 商工観光課商工観光グループ				
于初于木石	此儿正是事未	Ē	评価 者 名	経済	新長 :	河端 勲
総 基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	07	商工費	Ę
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	06 観光の振興	予	項	01	商工費	_
	O 1 総合的な推進体制、ビジョンの確立	予算科	目	03	観光費	
画 施策(小)	O 1 「美幌町観光振興革新戦略(第 2 次美幌町観光振興計画)	B	大事業	01		長興事業 二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
事業期間	終期未定		中事業	01	観光推	推進事業
要求区分	継続 <mark>町長重点政策</mark> 一					
根拠法令等				経費	区分	政策的経費
事業概要	近年の観光振興の動向に対応し、さらなる観光入込の増加や美幌の特色 連団体とも連携を密にして、魅力ある観光地づくりを目指すとともに、					
事業目的	町の特色を活かした観光振興を推進し、交流人口の拡大と地域経済の活	5性·	化を図る。			
事業の対象	観光客					
実施結果	【実施結果】 観光パンフレットの改訂を実施するとともに、イベントや広域観光施第	きを	展開した。			
現状と課題	【現状と課題】 美幌峠の入込は減少傾向にあり、従来型の観光施策だけでは誘客効果かが必要。	《限	定的。新 <i>f</i> :	こな価	i値創出	と情報発信力の強化
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況					

. 年度別事業費 (
	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算					
事業費 (千円)	7, 404	7, 075	13, 871	11, 524	2, 350	2, 350					
国支出金	500	500	0	0	0	_					
道支出金	0	0	2, 700	2, 000	0	_					
地方債	0	0	0	0	0	_					
その他	1, 418	1, 300	4, 147	5, 847	0	_					
一般財源	5, 486	5, 275	7, 024	3, 677	2, 350	2, 350					
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0					
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0					
計(事業費+人件費)(千円)	7, 404	7, 075	13, 871	11, 524	2, 350	2, 350					

(見込値)

今後の改善点

3. 評	3. 評価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	F度	令和08年度
tE	美幌山	峠におけ	る観光入込客数	目標	万人		70	70	70		70	70
指標				実績	万人		88. 3	76. 6	61.5			
1				達成率	%	1	26. 14	109. 43	68. 29			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指標3				実績								
3	<mark>3 </mark>			達成率	%							
	項目 評価の視点					呼価	理由					
	妥当性		目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	妥			₹の入込が減少で				
			うかを評価する。					相観光振興革新 單				
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	普	普通 美幌峠観光や広域連携イベントを通じて一定の誘客効果が						
			評価する。	7.1 70.45 - 47		· ており、目標達成に向けた手段と対象は適切である。 ・、 パンフレット更新等の費用を精査し、随時見直しを行ってし						
	効率性	Ξ	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	高	ましい	l					
			費は適正かを評価する。	TD 11: 4# ++	$\overline{}$	6 台 .1、		、費用と成果の	カハランスは栂	ね適止で	<u>ある。</u>	
				現状維持		縮小	C	休止・廃止			Ī	評価結果
次任	次期観光振興革新戦略ビジョン					一以 りず	HO.			_		
	対組の方											
向性			〇 拡充 〇	現状維持	•	縮小	С	皆減				水 善
善内:	容		令和6年度に観光パ	ンフレットの	の更新	を完了し	したため					改善
		予算	、次年度は大幅な改	訂を必要とも	せず、	関連経費	貴を縮小		△11, 521	千円		
			する。					(概算)				

美幌峠入込の減少を踏まえ、施策の見直しと新たな観光価値の創出を進める。

1. 事業内容

事務事業名	観光団体等連携強化事業	課	・グループ名	商コ	観光課	商工観光グループ					
尹 仍尹未 口	就儿凶体守廷扬强心争未	į	評価者名	経済	部長 注	可端 勲					
※ 基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	07	商工費	Ì					
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	06 観光の振興	予算	項	01 商工費							
計 施策(中)	O 1 総合的な推進体制、ビジョンの確立	算 科	目	03	観光費	Ì					
画 施策(小)		目	大事業	01	興事業						
事業期間	終期未定		中事業	02	観光団]体等連携強化事業					
要求区分	継続										
根拠法令等				経費	区分	政策的経費					
事業概要	美幌観光物産協会と連携し、美幌町の特色を活かした魅力ある観光地 野に入れながら観光及び物産の振興を図る。	づく	りを実施す	-ると 	ともに	、広域的な連携も視					
事業目的	観光団体と連携し、美幌町観光革新戦略ビジョンを推進する。										
事業の対象	観光団体										
実施結果	【実施結果】 観光団体への補助金・負担金支出を行い、サイクルツアーやJR乗車券!	販売	 などの新規	事業	が展開	 された。					
現状と課題	課題 【現状と課題】 体験型観光や観光を担う人材が不足しており、担い手確保が課題。										
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況										

2. 年度別事業費

今後の改善点

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千	円) 14, 488	14, 908	19, 007	14, 516	19, 004	19, 000
国支出金	0	0	0	0	0	_
道支出金	0	0	0	0	0	_
地方債	0	0	0	0	0	_
その他	2, 466	2, 000	1, 853	1, 853	0	_
一般財源	12, 022	12, 908	17, 154	12, 663	19, 004	19, 000
人件費(千	·円) 0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人	.工) 0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)(千	円) 14, 488	14, 908	19, 007	14, 516	19, 004	19, 000
				•		(目3.値)

3. 評価												(見込値)
, , , , ,	1	指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07	年度	令和08年度
指	観光物	勿産協会	・商工会議所との観	目標	回		6	6	6		6	3
指標	光物產	崖振興会	議開催回数	実績	□		4	4	3			
1				達成率	%		66. 67	66. 67	50			
指				目標								
指 標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3	票 2			実績								
3	達成率			%								
	項目 評価の視点				評	理曲 理由						
	妥当性	ŧ	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	^{かど} 妥当 観光団体との連携は不可欠であり、町が支援することに					ことは妥当であ		
	有効性	=	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普	·通	団体とる。	:連携した施策(は成果を上げて	おり、手	段・対	対象は適切であ
	効率性	Ē	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	ζί,	一定の	ルールに基づ	き負担を設定し	<i>.</i> ており、	費用対	対効果は高い。
				現状維持		縮小	0	F1-34 7634				評価結果
次年 取組 (事業	観光物産協会は、平原 事業が展開されていん		からし	Rの乗車	車券販売	を開始し、サイ	イクルツアーな	ど新規	•	
D 取租 的 由性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	 皆減				TD .1 \t 444.44
善内		予算	地域おこし協力隊を表た観光振興を図る。					and a second	į c	千円	j	現状維持

引き続き各団体と連携し、観光革新戦略ビジョンを推進する。

1. 事業内容

事務事業名	広域観光連携強化事業	THE THEFT			果商工観光グループ
于初于木石	四次既允廷汤强心争未	評価者	名紹	済部長	河端 勲
総 基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	崇	(X X		
総	06 観光の振興	予可			
	O 1 総合的な推進体制、ビジョンの確立	予 算 科 目 ・・・ す		:	
画 施策(小)	03 広域観光に対応する関係団体との連携強化	八日			観光連携強化事業
事業期間	終期未定	中事	業 00		
要求区分	継続 町長重点政策 ○				
根拠法令等			経	費区分	政策的経費
事業概要	各種協議会に加盟、連携し広域観光の振興を図るほか、新たな広域連携 阿寒摩周国立公園広域観光協議会 女満別空港整備利用促進協議会 美幌地区三町広域観光協議会 アドベンチャーオホーツク推進協議会	きも視野!	入れな	がら事業	業展開を目指す。
事業目的	町単独では困難な広域的な誘客を進め、周遊性の高い観光ルートを形成	えする 。			
事業の対象	町内外の関係団体				
実施結果	【実施結果】 協議会活動や情報交換会を通じ、屈斜路カルデラトレイルなどの広域観	 見光資源で		た誘客を	 を推進。
現状と課題	【現状と課題】 広域での取組は進展しているが、役割分担や合意形成の仕組みに課題。				
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況				

2. 年度別事業費

今後の改善点

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	0	0	0	0	3, 070	3, 000
国支出金	-	_	0	I	0	_
道支出金	-	_	0	1	0	_
地方債	-	_	0	1	0	_
その他	_	_	0	ı	0	_
一般財源	0	0	0	0	3, 070	3, 000
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)(千円)	0	0	0	0	3, 070	3, 000
						(月23.64)

3. 評	陌											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	度	令和08年度
指	地域	連携で実	施した事業の件数	目標	件				4		4	4
指 標				実績	件				4			
1				達成率	%				100			
指				目標								
指 標				実績								
2	2			達成率	%							
指				目標								
指 標				実績								
3	3			達成率	%							
	項目		評価の視点		評価理由							
	妥当	 /-	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	妥当		町単独	はでの誘客は限.	界があり、広域	連携は妥当	であ	iる。
	女当	IT.	うかを評価する。									
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普	通	連携的	恵策は成果を上 (げており、手段	・対象は通	動切で	きある 。
	効率位	h /-	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	高い		共同実	施で費用分担・	や情報発信効果	が高まり、	費用	対効果は高い
	劝华	I±	費は適正かを評価する。			76,	0					
			〇 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С	休止・廃止			= 3	平価結果
		Alle	既存の連携事業を継続		昕たに	周遊ル−	-ト造成	や広域プロモ-	-ションを展開	し、交	D.	下Ш州二木
次年		事業	流人口の増加を図る。)								
取組(
向性			· //-/-	現状維持		縮小	C	H #74			玛	見状維持
善内容	谷	予算		での共同実施により費用分割			虫負担の	予算反映額	<u> </u>	l		
		J' JT	縮減を図る。					(概算)	•	千円		
			関係自治体や事業者	明の役割公+	日た田	カルー	桂恕 #		り仕組むたか美	<u> </u>		
今	後の改	Z善点		町 リスマース 古り 刀 1	브건明	唯一しし、	旧拟六	(円で口忌)が成り	グは組みを収音	y る。		

1. 事業内容

事務事業名	白樺並木街道の保全	課・グループ名	商工観光課	商工観光グループ
学 协学未包	口作业小岗道が休主	評 価 者 名	経済部長	河端 勲
基本目標	O3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	款	xx	
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	06 観光の振興	予 項	XX	
計 施策(中)	02 既存施設や観光資源の保全、有効活用	算 科 目	XX	
画 施策(小)	02 美幌峠、美幌川などの観光資源の保全	大事業		並木街道の保全
事業期間	終期未定 令和5年度 ~ 令和8年度	中事業	00	
要求区分	継続			
根拠法令等			経費区分	政策的経費
事業概要	2019年3月、本町のカントリーサインが「美幌峠の眺望」とそこに繋がイメージした内容に一新された。今後は、地域住民に配慮しながら交通、カントリサインをイメージした「旧福豊小学校から豊富神社手前の3資源)として重点的に保全する。	通支障木の維持	寺管理(枝払	い)を行うとともに
事業目的	景観を維持するため適切な維持管理(枝払い)を行う。			
事業の対象	町民、観光客			
	【実施結果】			
実施結果	白樺へナンバリングを行い、白樺の台帳を作成した。台帳を作成した。	ことで開発局ス	及び北海道電	力と協議する際に、
**************************************	<u>支障となる白樺の管理を円滑に行うことができるようになった。</u>			
現状と課題	【現状と課題】 北海道開発局と協議を重ね、維持管理におけるそれぞれの役割を再認訓 な枝払いの実施する。	戦した。美幌岡	町としては景	観美化の為に継続的
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

Г				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
-	事業費(千円)		1, 100	1, 100	1, 496	1, 496	1, 584	1, 584	
	国支出金			-	_	0	_	0	0
	道支出金			-	_	0	_	0	0
	地方債			-	_	0	_	0	0
	その他			_	_	0	_	1, 000	1, 000
	一般財源			1, 100	1, 100	1, 496	1, 496	584	584
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
	計(事業費+人件費)		(千円)	1, 100	1, 100	1, 496	1, 496	1, 584	1, 584

3. 評	価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和0	7年度	令和08年度
塢	ロマ	ンチック	街道白樺並木の剪定	目標	回数		1	1	1		2	2
指標	回数			実績	回数		2	2	2			
1				達成率	%		200	200	200			
指				目標								
指 標	標			実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指標				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点		部	平価		理由				
	妥当	性	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	<u>12</u>		景観美	能化のために維持	持管理を町で行	うことに	は妥当で	である。
	女ヨ	Ξ.	うかを評価する。	Α Ξ								
	有効	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	삍	普通					ムいでは対応で	
	4, 4,		費用と成果のバランスはとれてい	 るか、現行の経	_	1 年に 1 回の共打 いけ早知 ギルの もに 心 悪 ズ も ス						
	効率	王	費は適正かを評価する。		Ē	引い					- 05 0 0	
			U 11570	現状維持		縮小	С	71-22			1	评価結果
		+ **	白樺白樺の枝払いやの	の雑木を伐抗	采し、:	景観美化	上を図る	1			-	
次年。 取組(事業										
) 向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	C	皆減			_	
善内容			白樺の枝払いやの雑			┈┈・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					į	見状維持
ш.,	_	予算			270)	- 0	予算反映額	į o	千円		
								(概 算)				
今:	<u>今後の改善点</u> 沿線に白樺以外の雑木が目立ってきており、景観のための伐採が必要である。											

1. 事業内容

今後の改善点

事務事業名	宿泊施設誘致推進事業	課・	グループ名	商コ	観光課	萄工観光グループ
事 份 争 未 石	旧石旭成奶以往连手术	評	価 者 名	経済	部長 洋	可端 勲
総 基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	XX		
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	06 観光の振興	予	項	XX		
	03 観光情報の提供、サービスの向上	科	目	XX		
画 施策(小)	04 宿泊施設の誘致		大事業	XX	宿泊施	設誘致推進事業
事業期間	終期未定 ~ 令和5年度		中事業	00		
要求区分	継続 町長重点政策 〇					
根拠法令等				経費	区分	投資的経費
	宿泊需要に対応するため、町内への宿泊施設誘致を推進する。					
事業概要						
子						
	観光客の滞在を支え、地域経済への波及効果を高める。					
事業目的						
事業の対象	新規進出業者、宿泊事業者					
15 AL	【実施結果】					
実施結果	令和5年度、グランドホテル跡地に全49室のホテルが建設され、令和7	年度	に全12室	医の増	操が決	まった。
現状と課題						
以仏←味超	【現状と課題】 宿泊施設の充足状況が不透明で、需要調査と規模・設備の精査が必要。					
	旧内心区の元を行んがいた。					
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - <u>左の具体的な</u>					
	り、順調な進捗状況 4の理由 内容 内容					

2. 年度別事業費 (単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
哥	業費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	国支出金			-	-	0	_	0	_
	道支出金			-	1	0	-	0	_
	地方債			-	-	0	_	0	_
	その他			_	_	0	_	0	_
	一般財源			0	0	0	0	0	0
J	件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	†(事業費+人件費)		(千円)	0	0	0	0	0	0

3. 評	F 価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07:	年度	令和08年度
塢	宿泊	施設事業	者との懇談会数	目標			3	3	3			
指標	(令	和6年度	完了)	実績		1		7	3			
1				達成率	%		33. 33	233. 33	100			
指	宿泊	客延人数	Ţ	目標	人				23, 000	23	, 000	23, 000
指 標				実績	人				26, 873			
2	<mark>2</mark>			達成率	%				116. 84			
指				目標								
指 標				実績								
3				達成率	%							
	項目	1	評価の視点	i	評	理由						
	妥当性 目的や現状及び課題から、町 うかを評価する。			今やるべきかど 検討			宿泊需	要増に対応し	誘致を進めるこ	とは妥当	である	5.
	有効'	性	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普通 既存施設との公平性を考慮しつつ、需要に応じた誘う る。					秀致は有効であ		
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	楨	討	町外へ は必要		ており、町内で	の経済効	果を高	高めるため誘致
			〇 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С				=	評価結果
次年原取組(~	事業	新たな事業者より提	案があった均	場合に	は協議す	ける。				F	开顺帕 木
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С) 皆減			-	FB 1/12 4/# +±
善内容		予算	必要に応じ予算措置					予算反映額	į (千円	1	児状維持
			m- 16 2 声 1 土 2 南 2 -		⊥ =Π. /++ `	+ J/= =	⊢ → → ×	ボナス				
一 今後の改善点 町が必要とする宿泊施設(規模や設備)を精査する必要がある。												

1. 事業内容

主教	8事業名	滞在型観光推進事業	課	・グループ名	商コ	L観光課	あ工観光グループ	
7 17	7 千七	· 加	Ē	评価 者 名	経済	新長 注	可端 勲	
総	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	XX			
総合計	施策(大)	06 観光の振興	予	項	XX			
計	施策(中)	03 観光情報の提供、サービスの向上	予算科	Ш	XX			
画	施策(小)	05 宿泊施設の確保・利用促進	目	大事業	XX	滞在型	!観光推進事業	
	業期間	7年度 平成28年度 ~		中事業	00			
要。	求 区 分	継続 町長重点政策 〇						
根拠	L法令等				経費	区分	政策的経費	
事為	業 概 要	屈斜路カルデラトレイルをはじめとする観光資源を活用し、体験型・滞	在	型観光を推 型観光を推	推進す	⁻ る。		
事為	業目的	町内滞在時間を延ばし、地域経済の活性化につなげる。						
事業	美の対象	観光資源						
実力	施結果	【実施結果】 体験観光メニューの開発やツアーを実施し、利用者増加に寄与。						
現状	世と課題	【現状と課題】 利用者は増加しているが、受入体制の整備が遅れており、持続的な運営	(体)	 制の構築か	 バ課題	l _o		
事業	美進 捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況						

2	年度別事業費 (単											
				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算			
<u>=</u>	事業費		(千円)	12, 974	0	0	0	0	0			
	国支出金			0	1	0	1	0	ı			
	道支出金			0	ı	0	ı	0	-			
	地方債			0	1	0	ı	0	1			
	その他			7, 982	1	0	ı	0	1			
	一般財源			4, 992	0	0	0	0	0			
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0			
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0			
Ē	†(事業費+人件費)		(千円)	12, 974	0	0	0	0	0			

(見込値)

<u>3. 計</u>	<u>-</u> 1曲										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年月	を 令和08年度
指	ツア・	一参加者	ó 数	目標			250	250	250		
指標	(令:	和7年度	ほより指標2へ移行)	実績		134		194	310		
1				達成率	%		53. 6	77. 6	124		
指	屈斜	路カルデ	ラトレイル利用者数	目標						50	00 500
指 標	(令:	(令和7年度から事業化・現地カ		実績							
2	ウンター)			達成率	%						
指			目標								
指標				実績							
3				達成率	%						
	項目		評価の視点		i	評価			理由		
	妥当性	生	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	3	妥当 滞在型 である			果が大きく、町	が推進すべ	き施策として妥当
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを		高い	トレイ ている		メニュー開発に	より滞在時	間延長に成果が出
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	Ī	高い					るために要する費 理体制の観点から
			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	休止・廃止			評価結果
次年』	~	事業	現行の予算内で事業	を実施する。							H I IIII IIII A
向性			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	皆減			現状維持
善内容	容	予算	現行の予算内で事業	を実施する。				予算反映額(概算)		千円	シ レフハ 小正 1寸
今:	後の改	善点	ツアー実施に伴う受ん	入体制の構築	築が課	題である	3 。			I	

1. 事業内容

事務事業名	地域特産品開発推進事業	課・グループ名	商工観光課	商工観光グループ
于初于木石	2000年1000年1000年1000年100日 1000年100日 100	評価者名	経済部長	河端 勲
総 基本目標	O 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	款	07 商工費	Ę
総 合 施策(大) 施策(中)	07 地域特産品の振興	予 算 写	01 商工費	_
	0 1 地域特産品の開発・育成	科		美振興費
画 施策(小)	0 1 研究機関、大学等との連携による開発支援	大事業 大事業	_	美活性化促進事業
事業期間	終期未定 平成28年度 ~	中事業	07 地域特	持産品開発推進事業
要求区分	継続			
根拠法令等	美幌町地域特産品開発支援事業補助金交付要綱		経費区分	政策的経費
事業概要	本町の質の高い農畜産物をはじめ、地域資源を活用した特産品開発を支する。 また、ホームページなどを活用した特産品のPR及び販路拡大の促進を		一体となった	特産品の開発を支援
事業目的	消費、販路拡大につなげる。			
事業の対象	新規特産品開発又は既存特産品を改良する事業者			
実施結果	【実施結果】 新規特産品開発及び既存特産品に取り組む事業者に対し支援を行った。			
現状と課題	【現状と課題】 多額の費用を要する新たな特産品開発及び既存特産品の改良を支援する	ることが必要。	o	
事業進捗度	2 予定どおりに進んでおり、順調な進捗状況 進捗度3又は4の理由 左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

			令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費		(千円)	1, 000	132	1, 933	1, 107	1, 821	1, 550
国支出金			0	0	0	0	0	_
道支出金			0	0	0	180	600	_
地方債			0	0	0	0	0	_
その他			133	120	1, 300	897	0	_
一般財源			867	12	633	30	1, 221	1, 550
人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)		(千円)	1, 000	132	1, 933	1, 107	1, 821	1, 550

(見込値)

3. 評	[価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
塢	特産は	品開発等	の支援件数	目標	件		4	4	4	3	4
指 標				実績	件		2	1	3		
i i				達成率	%		50	25	75		
指				目標							
指 標 2				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
	項目		評価の視点		評価		理由				
	妥当性		目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	3	妥当 美幌町の特産品開発のための支援であり妥当であ				る。	
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高い 経費の助成を行うことにより、新たな特産品別 り、有効である。					な特産品開発	を促す制度であ
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	ie.	高い	l		で上限を502 も経費は妥当で		かており、他の
				現状維持	0	縮小	0	休止・廃止			評価結果
	次年度の 取組の方										
向性	・改		○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	皆 減			現状維持
善内?	容	予算	現行の補助制度を維持	寺する。				予算反映額(概算)	0	千円	· 大九1八小住1寸
今	後の改	善点	審査するにあたり、	審査項目の	見直し	や過去に	こ支援し	た事業者に対し	し事業効果を検	証する必要が	ある。

1. 事業内容

主教	8事業名	物産関連イベント参加促進事業	課	・グループ名	商コ	観光課	商工観光 グル	ノ ープ
Ŧ 17	77 77 1	加圧因是「・ン」を加促進事業	į	評価者名	経済	新長 活	可端 勲	
総	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		款	XX			
総合計	施策(大)	07 地域特産品の振興	予	項	XX			
計	施策(中)	02 地域特産のPR・販売	予 算 科	目	XX			
画	施策(小)	O 2 物産展·物産関連イベントの参加促進	B	大事業	XX	物産関	連イベント	`参加促
	業期間	終期未定		中事業	00			
要。	求 区 分	継続						
根拠					経費	区分	政策的	勺経費
		町内事業者が出展イベントに参加できるよう支援し、地域産品の販路技	大	とPRを行っ	5 。			
事事	業概要							
, ,								
		特産品の販路拡大と町の知名度向上を図る。						
事	業目的							
—— all	k = 11.77	m_ + 4k +						
争亲	きの対象	町内業者						
+ +	佐 红 田	【実施結果】 類と物会や今に連携し、中国時の経典を活動したがら情報発信を実施。						
夫力	施結果	観光物産協会と連携し、出展時の経費を補助しながら情報発信を実施。						
現北	大と課題	 【現状と課題】						
1000		道外イベントは経費負担が大きく参加が少ないため、負担軽減と販路	太大	策が必要。				
		The state of the s						
						_		
事業	進 捗度	2 予定どおりに進んでお 進捗度3又は - 左の具体的な						
		り、順調な進捗状況 4の理由 内容 内容						

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千F	526	972	1, 400	419	1, 000	1,000
国支出金	-	_	0	_	0	_
道支出金	-	_	0	_	0	_
地方債	-	_	0	_	0	_
その他	-	_	0	_	0	_
一般財源	526	972	1, 400	419	1, 000	1, 000
人件費(千F	0 (E	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千F	3) 526	972	1, 400	419	1, 000	1, 000
						(目以値)

3. 評	陌											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
指	イベ	ント参加]事業者数	目標	回		7	7	7	7	7	
指標				実績	回		10	12	8			
1				達成率	%	1	42.86	171. 43	114. 29			
指				目標								
指標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指標				実績								
3				達成率	%							
	項目	l	評価の視点		部	呼価	理由					
	妥当	生	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	3	? 当	遠方来	場者への直接F	PRの場であり、	一定の支援は	妥当である。	
	有効	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普通 町の支援により事業者の参加促進と販路拡大に効果が見ら					果が見られる。		
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	杉	討	販売促 る。	進だけでなく	町のPRにもつな	がり、費用対	効果は適正であ	
1	÷.	事業	引き続き町内事業者(現状維持 の出展支援 ^々		縮小 ント参加	〇 旧を促進	休止・廃止 し、地域産品の	の販路拡大と認	知度向	評価結果	
次年 取組 (の方	#未	上を図る。	TO 15 6# 14		٨- ١						
向性			- 11	<u>現状維持</u>		縮小	0	皆減			現状維持	
善内	谷	予算	従来どおりの経費水 に必要な範囲で支援		出展.	文援や』	重営補助	予算反映額	i o	千円		
今後の改善点事業者の継続的な販路拡大につなげる。												

1. 事業内容

事務事業名	道路橋梁整備事業	課	・グループ名	環境	竟管理課	維持管理グループ
于初于木石	但如何未走佣事未	評	平価 者 名	建設	设部長	遠國 求
総 基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		款	08	土木費	Ę
総	0 1 道路網の整備	予	項	02	道路橋	喬梁費
	02 町道の整備	予算科	目	02		喬梁維持費
画 施策(小)		B	大事業	01		喬梁維持管理事業
事業期間	終期未定		中事業	02	道路橋	喬梁整備事業
要求区分	│ 継続					
根拠法令等				経費	区分	投資的経費
事業概要	道路機能維持のため、町道の補修を行う。		·			
事業目的	道路等を良好な状態に保ち、安全で円滑な交通を確保する。 また、近年のゲリラ豪雨による道路施設の損壊を防ぐため、適切な道路	各維打	持を行う。			
事業の対象	町道及び橋梁利用者					
実施結果	【実施結果】 道路及び橋梁の改良工事等により、安全な通行を確保できた。					
現状と課題	【現状と課題】 道路、橋梁が老朽化している。					
事業進捗度	3 一部で予定どおり進ん でおらず、やや遅れている					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
Ę	業費		(千円)	28, 408	28, 057	25, 000	20, 861	24, 535	28, 000
	国支出金			0	0	0	0	0	0
	道支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			0	0	0	0	0	0
	一般財源			28, 408	28, 057	25, 000	20, 861	24, 535	28, 000
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	†(事業費+人件費)		(千円)	28, 408	28, 057	25, 000	20, 861	24, 535	28, 000

3. 評	F 価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和074	丰度	令和08年度
塢	町道:	補修件数	((道路施設修繕)	目標	箇所			7	8		7	7
指標				実績	箇所		12	7	9			
1				達成率	%		100	100	113			
指				目標								
指標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績 達成率								
3	3				%							
	項目			部	評価理由							
	び 当性 目的や現状及び課題から、町で、			今やるべきかど	<u>12</u>	·	町道管	管理のため、道路	路管理者である	町が実施	すべき	きである。
	妥当性 うかを評価する。				3							
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普	通	日々のパトロール等で発見した箇所を補修している。				5 .	
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	膏	ら で い	入札σ)実施により適う	Eな費用である	0		
			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С	休止・廃止			=	評価結果
			引き続きパトロール	等で発見され	1た補	修箇所る	を確認し	/、必要に応じ9	実施する。		-	下 Ш·加·木
次年/		事業										
向性			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С) 皆減			7	見状維持
善内容	容	予算	補修箇所によって予算 応じ補修する。	算額の増減は	はある	ものの、	必要に	予算反映額(概算)	i o	千円	-	死"八小庄 1·1
今:	今後の改善点 長寿命化を見据えた計画的な補修の実施											

1. 事業内容

事務事業名	橋梁・トンネル長寿命化事業	課	課・グループ名 建設課・都市整備グループ								
争协争未有	何末・「フヤル及対叩に事未		評価者名	建設	设部長 注	遠國 求					
総 基本目標	O 4 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		款	08	土木費	t					
総 基本目標	0 1 道路網の整備	予算	項	02	道路橋						
	02 町道の整備	科	目	02		喬梁維持費					
画 施策(小)	0 1 計画的な町道整備(道路附帯施設含む)・(橋梁)維持補		大事業	02		5梁補修事業					
事業期間	終期未定 平成28年度 ~		中事業	01	橋梁・	トンネル長寿命化					
要求区分	継続	<u> </u>									
根拠法令等	道路法										
事業概要	老朽化した道路橋について、補助事業を活用して、計画的に予防保全型修繕を実施することで、延命化と維持管理 コストの縮減及び平準化を図る。 ※ 計画名:美幌町橋梁長寿命化修繕計画 (計画期間:R5~R14、計画策定:R4、点検:R3~R4) 橋梁数:107橋(うち修繕対象判定皿:30橋)										
事業目的	安全で安心な道路(橋)サービスの提供										
事業の対象	道路橋(利用者)										
実施結果	【実施結果】 点検結果により適切な補修方法を選択、補助事業を活用して、コスト	削減	を図りなか	いる標	禁梁補修	をすすめる。					
現状と課題	【現状と課題】 構造により異なるが、耐用年数の目安である築後50年を経過する橋須 の道路橋の増加が見込まれること	≛が17	 橋存在し、	今後	 発架け替	え含めた、補修対象					
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - 左の具体的なり、順調な進捗状況 4の理由 - 内容	T.									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	96, 123	29, 678	50, 160	44, 583	50, 457	63, 057
国支出金	57, 618	17, 778	20, 500	22, 788	26, 020	33, 910
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	19, 800	11, 800	20, 500	15, 900	23, 500	3, 600
その他	73	0	0	0	0	0
一般財源	18, 632	100	9, 160	5, 895	937	25, 547
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	96, 123	29, 678	50, 160	44, 583	50, 457	63, 057
						(目3.病)

3. 評	[価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和0	7年度	令和08年度
tΕ	橋梁·	修繕		目標	橋		1	1	1		1	
指 標				実績	橋		1	1	1			
1				達成率	%		100	100	100			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点		部	平価	理由					
	妥当		目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	^{きかど} 妥当		町道橋	梁補修事業の	実施は道路管理	者(町)	が行し	ハ、事前の点検
	安当性 うかを評価する。						結果に	より、適切な	手法を選択し、	実施して	ている。)
	有効性	4	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	唐	高い 橋梁長寿命化修繕計画により適切なストック点検の				ク点検の	のもと、橋梁補	
	137731	<u> </u>	評価する。		修事業実施で安全確保が図られる。							
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経		高い				こおり、かつ予防保全型修繕による長期		
			費は適正かを評価する。		<u> </u>	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>			咸と平準化が図	られてし	いる。	
				現状維持		縮小	0	<u> </u>		ᄪᄮᆂ	į	評価結果
次年	# ω	事業	5年に1度の点検結		見直し	に基つる	さ、父通	重や危険度なる	と総合的に優先	順位を		
取組		于不	判断し、事業を実施で	9 බං								
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0				3	現状維持
善内:	容		道路メンテナンス補助	助金(国交 行	省補助	金)、i	過疎ハー				-	5亿1人在1寸
		予算	ド(起債)					予算反映額	t C	千円		
				I:- ·				(概 算)				
今後の改善点 将来を見据えた長寿命化と橋梁架け替えの判断												

1. 事業内容

事務事業名	道路整備事業(単独)	課・グループ名	建設課都市	整備グループ
于初于木石	但时正開学术(平位)	評価者名	建設部長	遠國 求
基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり	款	08 土木園	B
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	0 1 道路網の整備	予 項	02 道路標	喬梁費
計 施策(中)	02 町道の整備	算 科 目		喬梁新設改良費
画 施策(小)	0 1 計画的な町道整備(道路附帯施設含む)・(橋梁)維持補	大事業		整備事業
事業期間	終期未定	中事業	01 道路雪	とは事業(単独)
要求区分	継続 Temple Te			
根拠法令等	道路法		経費区分	投資的経費
事業概要	幹線道路及び地域道路網(歩道含む)の整備工事について、損傷度に及び計画的な事業実施により、安全で安心な道路サービスの提供を図るや交通量等を鑑み、優先順位を決めて整備を行う。 【投資的経費】 (1)道路整備工事 (2)歩道整備工事 (3)道路補修工事			
事業目的	安全で安心な道路サービスの提供			
事業の対象	町道(利用者)			
実施結果	【実施結果】 損傷状況に応じて、改良工事・オーバーレイ等の適切な工法により道路 また、歩道の新設により、歩行者の安全性向上が図られた。	各補修を実施 (し、交通の利	便性が向上した。
現状と課題	【現状と課題】 道路整備後、経年劣化等による補修対象路線は増加する一方、財政負担	旦及び技術職員	うの不足によ	る事業量の確保
事業進捗度	3 一部で予定どおり進ん 進捗度3又は 財源不足 左の具体的な 内容		:箇所の増に 人員不足も	よる財源不足 理由)

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
=	事業費(千円)		(千円)	64, 713	120, 626	185, 950	169, 433	218, 000	277, 100
	国支出金			0	0	0	0	0	0
	道支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			64, 600	120, 400	185, 900	169, 200	212, 900	164, 000
	その他			0	0	0	0	0	0
	一般財源			113	226	50	233	5, 100	113, 100
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	†(事業費+人件費)		(千円)	64, 713	120, 626	185, 950	169, 433	218, 000	277, 100

(見込値)

		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
指	町道	整備延長	:	目標	m		225	478	968	1, 609	
指標				実績	m		225	478	968		
1				達成率	%		100	100	100		
指				目標							
指 標 2				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指 標 3				実績							
3			I	達成率	%						
	項目	l	評価の視点		部	平価			理由		
	妥当	性	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど		账	道路管理者(町)が行うべきものであり、道路の交通量・			交通量・損傷状	
	Д = 1	1-	うかを評価する。		>			応じて実施の			
	有効	 ‡	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	^{適切かどうかを} 普通		_			路改良・オー	バーレイ・歩道
	13223	-	評価する。		_		整備など)により実施している。				
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	高い						
			費は適正かを評価する。			<u> </u>			を適用し決定し	.ていることか	ら適正である。
				現状維持		縮小	<u> </u>	11-22-70-22	1. 中心に こまま 米	# 1	評価結果
次年	mm	事業	道路インフラは町民会 定規模必要であるたる				- と、公	:共工事という①	爻刮からも争 業	質は一	
取組		子水		以、現1人稚1	त ⊂ 9	ବ					
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С) 皆減			TE 11: 4# ++
善内			実施箇所によっては ²				D、必要	Ī			現状維持
		予算	に応じて実施する。					予算反映額	0	千円	
								(概算)			
今	後の改	養点	技術職員の人材確保 順位・整備手法の決		更予算	・事業費	きの確保	、立地適正化記	†画策定後の道	路含めたイン	フラ整備の優先

1. 事業内容

事務事業名	除雪対策事業	課	・グループ名	環境	管理課	維持管理グループ					
于初于木石		Ē	平価者名	建設	治長 法	遠國 求					
総基本目標	₹ 04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		款	08	土木費	Ì					
総 基本目標 施策(大計 施策(中) 02 除排雪体制の充実	予	項	02	道路橋	5梁費					
		算科	目	02		喬梁維持費					
画 施策(小	Manachallande	B	大事業	03		大事業					
事業期間			中事業	01	除雪玄	対策事業					
要求区分	継続 <mark>町長重点政策</mark> ○										
根拠法令等				経費	区分	政策的経費					
事業概要	冬期間の除雪作業を行っている。(除雪延長は市街地区が113km、郊外:	市街地を7地区に分け直営、民間7社で、郊外地区を直営5地区、歩道を直営、民間2社に分けて 冬期間の除雪作業を行っている。(除雪延長は市街地区が113km、郊外地区が266km、計379km) また、路面凍結時の砂撒きや堆雪状況に応じた排雪作業を行っている。									
事業目的	冬期間の円滑な交通環境を確保する。										
事業の対象	町道利用者										
実施結果	【実施結果】 降雪状況、堆雪状況に応じて除排雪を実施し、住民生活と安全な道路交		 を確保し <i>t</i> :								
現状と課題	【現状と課題】 直営、民間7社で実施している。										
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況										

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
-	事業費		(千円)	84, 233	97, 643	122, 617	89, 060	141, 863	113, 000
	国支出金			800	0	3, 600	0	3, 600	3, 600
	道支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			0	0	0	0	0	0
	一般財源			83, 433	97, 643	119, 017	89, 060	138, 263	109, 400
_	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	計(事業費+人件費)		(千円)	84, 233	97, 643	122, 617	89, 060	141, 863	113, 000

(見込値)

3. 割	<u> </u>											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
±⊨	一斉	除雪実施	回数	目標	回		5	5	5	5	5	
指標				実績	回	6		6	5			
1				達成率	%		120	120	100			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点	i	評	F価	理由					
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべき				끃	半	道路管理者である町が実施すべきである。					
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普	通	概ね通勤時間帯までに除雪を終えている。 					
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	らい	直営・	民間と役割分割	担をし実施して	いる。		
			0 11-11-0	現状維持		縮小	0	11-22 //			評価結果	
		事業	引き続き、降雪、堆	雪状況に応し	ご除雪	事業を実	€施する	0				
次年 取組(の方	争未										
向性				現状維持		縮小	0				現状維持	
善内容 予算 降雪状況によって予算額の増減はあるものの、引き続き事業を実施する。 予算反映額 (概 算) 0千円							千円	30 00000				
今	<u>今後の改善点</u> 直営及び民間を含めた更なる効果的な除雪体制の検討								-			

1. 事業内容

事務事業名	公園内の必要な樹木の再生	課・グル	<mark>/一プ名</mark>	環境管理語	課維持管理グループ
尹 仍尹未 口	公園内の必要は個本の中土	評価	者名	建設部長	遠國 求
基本目標	O 4 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり	j	款	x	
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	05 公園、緑地の整備		項 I	X	
計 施策(中)	0 1 公園や緑地の整備、維持管理		_	X	
画 施策(小)	0 1 公園施設の計画的な更新				内の必要な樹木の再
事業期間	3年度 令和6年度 ~ 令和8年度	中	事業	0	
要求区分	新規 <u>町長重点政策</u> 〇				
根拠法令等			紀	費区分	政策的経費
事業概要	町民が憩の場として利用できるよう、魚無川の桜並木など公園内の必要	要な樹木	を再生す	る 。	
事業目的	剪定、老木や損傷のある樹木の伐木による落葉や倒木の軽減を図る。ま とにより再生を図る。	また、伐	木により)減った	樹木を植え替えするこ
事業の対象	 町民(利用者)				
実施結果	【実施結果】 老木や損傷のある樹木の植替えができた				
現状と課題	【現状と課題】 現状において剪定及び伐木は行っているが、植え替えはしていない。 老木の危険判定が難しく、目視で明らかな危険木(腐り、葉の成長が無	悪いなど	·	t木を行	っている。
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況				

2. 年度別事業費

(単位:千円)

			令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費		(千円)	0	0	165	184	182	200
国支出金			-	ı	0	0	0	0
道支出金			-	ı	0	0	0	0
地方債			_	1	0	0	0	0
その他			_	1	0	0	0	0
一般財源			0	0	165	184	182	200
人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)		(千円)	0	0	165	184	182	200

<u>3. 割</u>	严価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07	年度	令和08年度
塢	植え	替え本数		目標	本				5		5	5
指 標				実績	本				5			
1				達成率	%				100			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目	l	評価の視点		部	評価 理由						
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今や				今ゃるべきかど 妥当 公園管理			理者である町を	が整備すること	が妥当で	である	
	<mark>妥当性</mark> うかを評価する。				3							
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	李	普通 公園の管理状況を鑑みると適切である						
	ו נאי נו		評価する。									
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	喜	ましい	苗木の	植栽は直営で	できないため遃	正である	5	
	223 1	-	費は適正かを評価する。			•						
				現状維持		縮小	0	休止・廃止	- 1		į	評価結果
·/m /= 1		事業	引き続き古木や危険	木の伐採状況	記によ	り植える	香え本数	が増減するがぽ	尾施していく	<u> </u>		
次年 取組		尹木										
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	 皆減			_	
善内			引き続き古木や危険								3	現状維持
ш.,	_	予算	が増減するが実施して		W1 = 01) IE/C	3757132	予算反映額	i o	千円		
				•				(概 算)				
今	後の改	養点	根株の伐根を視野に	事業を進める	3							

1. 事業内容

事務事業名	住宅リフォーム促進補助事業	課・グループ名	建設課建築	∳ グループ
于初于木石	世七 グラオ - A 促進	評価者名	建設部長	遠國 求
総 基本目標	O 4 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり	款	08 土木3	費
総 合 施策(大) 計 施策(中)	06 住宅環境の整備	予 項	05 住宅3	費
	02 民間住宅・宅地整備の推進	算 科 目		総務費
画 施策(小)	0 1 住宅リフォーム制度の充実支援と耐震改修促進	^目 大事業	01 建築	
事業期間	終期未定	中事業	02 住宅	リフォーム促進補助
要求区分	継続 <mark>町長重点政策</mark> 一			
根拠法令等	美幌町住宅リフォーム促進補助金交付要綱		経費区分	政策的経費
事業概要	住環境の整備と地域経済の活性化を目的に、住宅のリフォーム工事に対30万円以上の工事に対し20%(補助金の上限は50万円) 平成23年度から実施している事業で、令和6年度までの14カ年で1,633件補助金を交付。			千円、529,119千円の
事業目的	安全・安心・快適な住環境を整備し、居住満足度の向上を図る。			
事業の対象	町内に存する住宅を所有し、現に居住している町民。			
実施結果	【実施結果】 補助金を交付することで、リフォーム意欲を喚起する。			
現状と課題	【現状と課題】 年平均120件の実績があり、今後も年100件程度は需要があるものと見返	込んでいる。		
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
7	事業費		(千円)	30, 462	34, 090	34, 600	34, 574	34, 600	34, 600
	国支出金			0	0	0	0	0	0
	道支出金			0	2, 313	2, 185	4, 945	3, 892	0
	地方債			30, 400	31, 700	32, 400	29, 600	29, 000	34, 600
	その他			0	0	0	0	0	0
	一般財源			62	77	15	29	1, 708	0
_,	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ī	計(事業費+人件費)		(千円)	30, 462	34, 090	34, 600	34, 574	34, 600	34, 600
									(目3.体)

3. 評	価										(兄:込個)
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
塢	住宅	リフォー	·ム助成件数	目標	件		90	100	100	100	100
指標				実績	件		93	117	105		
1				達成率	%	1	103. 33	117	105		
指				目標							
指 標 2				実績							
2				達成率	%						
指標				目標							
標				実績							
3				達成率	%						
	項目		評価の視点		評価 理由						
	妥当性		目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	<u> 7</u>	妥当 安全で快適な住環境を確保し、環境負荷の低減及び			び地域経済の活		
	У — 1.	<u> </u>	うかを評価する。			性化を図る観点から、行政が主体となることが妥当である。					
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高	高い 住環境の整備と地域経済の活性化に貢献しているため有効で			ため有効である		
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	杉	討	住宅リ	フォーム促進	補助金交付要綱	に基づく改修	費用が対象。
				現状維持		縮小	0	702			評価結果
	.	+ ** -	住環境の向上と地域	経済の活性化	とに寄.	与するも	ものと考	えており、令種	和5年度に制度の	内容の	
次年月 取組の	の方	事業	見直しを行った。								
向性				現状維持		縮小	0	H "74			現状維持
善内容	容	予算	補助対象工事費の引						5		20 D (4E) 1
		了异	とにより件数100件を						t 0	千円	
			<u>事業の過去実績から</u> 需要予測を続け、制					(概算)			
今往	後の改	善点	而安ア冽を続い、利)	支内谷の兄児	ュしに	つい しれ	央討 を打	J.			

1. 事業内容

事務事業名	住宅耐震改修等補助事業	謂	果・グループ名	建設	課建築グループ
于初于木石	在七间 底		評価者名	建設	部長 遠國 求
総 基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		款		土木費
総	06 住宅環境の整備	項	05	住宅費	
	02 民間住宅・宅地整備の推進	—————————————————————————————————————	Н		住宅総務費
画 施策(小)	0 1 住宅リフォーム制度の充実支援と耐震改修促進	<u>B</u>	大事業		建築事業
事業期間	終期未定	- L-1 L	中事業	03	住宅耐震改修等補助事業
要求区分	継続 <mark>町長</mark>	<mark>重点政策</mark> -			
根拠法令等	美幌町耐震改修促進計画に基づく美幌町住宅耐震改修補助	助金交付要綱		経費区	<mark>区分</mark> 政策的経費
	耐震化を促進し、安全な住環境を確保する。		•		
事業概要					
	耐震改修工事を行う事により、耐震性能を向上を目的とな	ナ ス			
事業目的		<i>y</i> % o			
事業の対象	町内に存する旧耐震基準の木造住宅に居住する町民。				
実施結果	【実施結果】 補助金を交付することで、住宅の耐震化の意欲を向上を呼	喚起する。			
現状と課題	【現状と課題】 これまでに当該事業の活用は無く、対象となる旧耐震の(少ない地域性であることが最大の要因と考える。	 住宅の減少等も理 	曲の一つに	挙げ	られると考えるが、地震が
事業進捗度	1,2200,1-200,000	生の具体的な 内容	該事業を適	用する	5住宅の申し出が無い。

2. 年度別事業費 (単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	0	0	903	0	903	903
国支出金	0	0	222	0	222	222
道支出金	0	0	445	0	445	445
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	236	0	236	236
人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	0	903	0	903	903

3. 評	平価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07	年度	令和08年度
指	住宅	耐震改修	補助件数	目標	件	:		3	3		3	3
指 標				実績	件		0	0	0			
1				達成率	%		0	0	0			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指	指			目標								
指 標				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点		部	呼価	価 理由					
	妥当	 生	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	妥当					境を確保	する勧	睍点から、行政
			うかを評価する。				となることが					
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	^{適切かどうかを} 普通 耐湿			耐震改	修促進のため	こ有効である。			
	効率	<u></u> 性	費用と成果のバランスはとれてい	いるか、現行の経 検討			計 住宅耐震改修補助金交付要綱に基づく改修費用が対象。					讨象。
	223 1 1		費は適正かを評価する。									
			- ,,,,,,	現状維持		縮小	O	71			į	評価結果
\ <u></u>	<u>,</u>	事業	現在まで実績はないた							え、令		
次年 取組(-	尹木	和5年度に制度内容の	見胆しを行	ったこ	- とから	現 次 称 行	すか妥当と考え	්			
向性	・改		〇 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	皆減			3	現状維持
善内:	容	hh	耐震診断(1件)、耐震	設計(1件)、	耐震	改修(14	‡)とし	7 65 F 04 67			-	501八小庄1寸
		予算	て算出している。					予算反映額	0	千円		
			古却以上 / A X X X X X X X X X X X X X X X X X X	いじー レフボ	±±₽₽∾	ラナケ:	2	(概算)				
今後の改善点 広報やホームページなどによる情報発信を行う。												

1. 事業内容

事務事業名	でき家対策事業	課・グループ名	政策推進課	政策統計グループ
于初于木石	王こかが水事未	評 価 者 名	総務部長	那須 清二
基本目標	O 4 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり	款	02 総務費	B
総 合 施策(大) 計 施策(中)	06 住宅環境の整備	予 項	01 総務管	管理費
	03 空き家対策	算 目	05 企画費	ŧ
画 施策(小)	O 1 空家等に関する施策の総合的かつ計画的な実施	上 大事業	01 政策排	推進事業
事業期間	終期未定 平成29年度 ~	中事業	07 空き乳	以対策事業
要求区分	継続			,
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法		経費区分	政策的経費
事業概要	関係団体及び関係部局と連携を図り、適切に管理されていない老朽。 また、空き家対策関連の補助制度を継続して実施し、不良住宅等の 消を促進する。			
事業目的	空き家の適正管理			
事業の対象	町内にある空き家等			
実施結果・現状と課題	【実施結果】 除却支援制度により、不良住宅等の解消が図られた。 また、利活用支援制度により、空き家を活用した移住体験住宅が整備。 【現状と課題】 空き家発生の抑制、利活用及び不良住宅の除却促進	<u> </u>		
	民間不動産事業者等との連携体制の構築	_		
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - 左の具体的な り、順調な進捗状況 - 内容			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

_	12011							, i	<u> </u>
				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
틕	事業費 (千円)			8, 338	9, 287	11, 211	8, 164	15, 341	15, 310
	国支出金			4, 077	4, 625	5, 500	4, 000	7, 500	-
	道支出金			0	0	0	0	0	1
	地方債			0	0	0	0	0	1
	その他			2, 000	2, 000	4, 000	4, 000	3, 000	_
	一般財源			2, 261	2, 662	1, 711	164	4, 841	15, 310
	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	†(事業費+人件費)		(千円)	8, 338	9, 287	11, 211	8, 164	15, 341	15, 310

(見込値)

今後の改善点

3. 評	価										
		指	標名		単位	令和04	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
指	支援	制度活用	による除却棟数	目標	棟		8	8	10	12	12
指標				実績	棟		5	8	4		
1				達成率	%		62. 5	100	40		
指	支援	制度活用	による利活用棟数	目標	棟棟		2	1	1	1	1
指標			実績				1	1	1		
2				達成率	%		50	100	100		
指				目標							
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
	項目 評価の視点					評価 理由					
	妥当性	<u></u>	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	Σ.	2当	少子高	「齢化や人口減く	少が進む現状に	おいて、行政	が総合窓口とし
	Д Э I.	т	うかを評価する。	>			て空き	家対策に取り	組むことは引き	続き重要であ	り、妥当である
	有効性	4	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	華	普通 個人財産への介入には限界があるが、所有者への				啓発や相談支援	
	13 293 1.		評価する。				など、現状で可能な手段はおおむね実施されており、-				
	効率性	#	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	柏	討					えると、費用と
	793 1 1.		費は適正かを評価する。)バランスを評価	西することは難	しいため、検	討。
			<u> </u>	現状維持		縮小	0	71			評価結果
\ <u> </u>	_	事業	民間事業者や地域との	の連携強化、	およ	び補助制]度の見	.直しにより、2	₿き家の利活用	・適正	
次年月	~	尹未	管理の促進を図る。								
取組(向性			● 拡充 O	現状維持	0	縮小	0	 皆減			l
善内和			老朽危険空き家の除む								拡充
	-	予算	の上限額や補助率を						<mark>!</mark> 4, 130	壬田	
			減することで、空き				: 1- C +1	(概算)	1, 100	'''	

危険空き家の解消に向けた段階的な対策及び所有者不明時の対応方法の検討。

1. 事業内容

事務事業名	小中学校給食費支援事業	課・グループ名	学校給食課	学校給食グループ
学初学术 位	7. 个子仅相及员义战争未	評価者名	教育部長	中尾 亘
総 基本目標	05 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり	款	10 教育	費
総 合 施策(大) 計 施策(中)	0 1 幼稚園、学校教育の充実	予 項	05 保健(体育費
	02 小中学校の教育環境の充実	予 具 月 目 + 事業		給食センター費
画 施策(小)	04 多子世帯に対する支援	八字木		給食運営事業
事業期間	8年度 令和2年度 ~ 令和8年度	中事業	02 小中	学校給食費支援事業
要求区分	継続 町長重点政策 〇			1
根拠法令等	美幌町学校給食費補助事業実施要綱		経費区分	政策的経費
事業概要	子育て支援として、小中学校給食費の第3子以降には全額、第1・2子 【補助実績】令和6年度 小学生526人 14,189千円 中学生329人 9,			, 635千円
事業目的	該当する保護者から補助申請を受け付け、給食費相当金額及び、半額を	補助する。		
事業の対象	小中学生の給食費を支払している保護者			
実施結果	となり子育て支援を図った。	で の無償化、 	及びその他の)対象者は、半額負担
現状と課題	【現状と課題】 一律ではなく保護者申請により補助決定のため、申請漏れの確認を要	見しているこ	とが課題であ	5る。
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - 左の具体的な り、順調な進捗状況 4の理由 - 内容			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
Ę	事業費(千円)		6, 582	16, 541	27, 964	23, 634	31, 062	31, 000	
	国支出金			0	0	0	0	0	_
	道支出金			0	0	0	0	0	_
	地方債			0	0	0	0	0	_
	その他			0	0	0	0	3, 000	_
	一般財源			6, 582	16, 541	27, 964	23, 634	28, 062	31, 000
	件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	†(事業費+人件費)		(千円)	6, 582	16, 541	27, 964	23, 634	31, 062	31, 000

(見込値)

今後の改善点

申請手続きの効率化

3. 評	評価											(5.2 2m)
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	度 -	令和08年度
指	対象	世帯が補	助金申請を行った割	目標	%		100	100	100	10	00	100
指標	合			実績	%		100	100	100			
1				達成率	%		100	100	100			
指				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3			1	達成率	%							
	項目 評価の視点					F 価			理由			
	妥当怕	生	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	3	妥当 子育て支援が求められている中、今後とも継続させる!					6必要があり	
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを 評価する。			高い対象となる全ての世帯へ補助がされており有効である。					Ď.	
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	ら で い	対象組 ある。	費を給食費に関	艮定することで	、効率性は	高く組	¥費も適正で
			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	休止・廃止			証布	西結果
次年原取組(事業	令和7年度についても	継続して実	施する	0 0					ді п	<u> </u>
向性			● 拡充 O	現状維持	0	縮小	0	 皆減			1日小	犬維持 【
善内容		予算	学校給食費単価の値 ₋ である。				たが必要		3, 098	千円		

1. 事業内容

事務事業名	外部講師活用事業	課	・グループ名	学材	交教育課	学校教育グループ
争协争未有	71时两时12万争未	ā	平価者名	教育	子子	中尾 亘
総 基本目標	05 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり		款	10	教育費	Ì
総	0 1 幼稚園、学校教育の充実	予	項	01	教育絲	終費
		予 算 科	目	03	3/1 3 3/2	
画 施策(小)	TO A SAME AND THE COMMON TO THE PARTY OF THE	B	大事業	02		7育振興事業
事業期間	終期未定		中事業	03	外部請	師活用事業
要求区分	継続					
根拠法令等				経費	区分	政策的経費
事業概要	地域の協力のもと、水泳、スキー、スケート授業等において、外部語的な授業内容の充実を図るとともに、博物館との連携による体験授業や 興味関心に基づいた課題解決型の授業を進める。					
事業目的	地域資源(自然、環境、人)を活用した学校教育の充実を図る。					
事業の対象	児童・生徒					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 学校から依頼のあった授業における外部講師について各種競技団体と過 携し体験授業に取組んだ。 【現状と課題】	直携: 	を図り派道 	遣を行	うた外	、博物館学芸員と連
以仏 C 味起	【現状と課題】 外部講師のなり手不足と高齢化等に伴う人材確保が課題であり、各種競	競技(によって糸	継続が	困難と	なる状況にある。
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事	業費		(千円)	482	377	766	519	731	731
	国支出金			0	0	0	0	0	0
	道支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			0	337	500	500	500	0
	一般財源			482	40	266	19	231	731
J	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	十 (事業費+人件費)		(千円)	482	377	766	519	731	731
	•	•	•						(目3.体)

3. 評	価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
指	外部	講師の派	造	目標	名		19	32	32	32	32
指標				実績	名		22	28	23		
1				達成率	% 115.7		15. 79	87. 5	71. 88		
指				目標							
指標				実績							
2				達成率	%						
指	指			目標							
指標				実績							
3				達成率	%						
	項目		評価の視点		評価		理由				
	妥当性		目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかど うかを評価する。		3	半当	│ 地域連携のもと、専門知識・技能を習得することが可能となり │ 妥当である。				
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	きから、手段や対象等が適切かどうかを				ま師による指導 よめ、有効であ		成長、学校教	育の充実につな
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	高い 経費は適正人数及び回数による負担金等となっており 費と考える。				おり、適正な経	
			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С	休止・廃止			評価結果
次年原取組(-	事業	現状維持のまま実施で	することが通	適当で	ある。					
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С	」 皆減			1日小光 继 十土
善内容		予算	現状維持のまま実施で					予算反映額 (概 算)	0	千円	現状維持
今:	後の改	善点	指導者確保のため各	関係団体へ利	責極的!	に働きが	いけを行	い、安定した	指導体制の確保	に取り組む。	

1. 事業内容

事務事業名	部活動地域移行推進事業	課・グループ名 学校教育課学校教育グループ								
事份事未 有	即位到地域物门推進事業	評価者名	教育部長	中尾 亘						
基本目標	O 5 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり	款	xx							
総 合 施策(大) 計 施策(中)	0 1 幼稚園、学校教育の充実	予 項	XX							
	03 小中学校の教育内容の充実	科	XX							
画 施策(小)	0 1 地域資源(自然、環境、人)を活用した学校教育の充実	大事業		動地域移行推進事業						
事業期間	終期未定	中事業	00							
要求区分	継続			1						
根拠法令等			経費区分	政策的経費						
事業概要	【ふるさと寄附金活用事業】 地域のスポーツ及び文化団体等の関係者の協力のもと、部活動の地域移行を推進し、将来にわたってスポーツ及び文化活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、次の事業費を計上する。 ①部活動指導員の配置に係る経費 ②部活動地域移行に係る経費									
事業目的	地域資源(自然、環境、人)を活用した学校教育の充実を図る。									
事業の対象	児童・生徒									
実施結果	【実施結果】 令和6年度から拠点校3校、合同部活動1校、地域連携1校が開始した外、 交換を行った。また、部活動の地域移行に向けて各団体等との対話によ									
現状と課題	【現状と課題】 地域移行の受け皿となる団体、指導者等の確保が課題である。									
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

_	1 200 1 200 200							, i	
				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事	業費		(千円)	0	0	505	112	2, 129	2, 129
	国支出金			-	-	0	0	0	0
	道支出金			-	1	0	0	0	0
	地方債			-	-	0	0	0	0
	その他			_	_	200	111	1, 000	0
	一般財源			0	0	305	1	1, 129	2, 129
人	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	(事業費+人件費)		(千円)	0	0	505	112	2, 129	2, 129

(見込値)

3. 計	評価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
塢	地域	との連携	を実現した部活数	目標	個				4		5 7	
指標				実績	個				5			
1				達成率	%				100			
指				目標								
指 標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点	i	評	F価			理由			
	妥当怕	性	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	妥当		部活動指導が可能な教職員が減少している中、生徒のスポーツ					
	女当	Ξ.	うかを評価する。		3		動等σ)継続に繋がる	ため妥当である) ₀		
	有効性	性	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	切かどうかを高い		拠点核	た方式や外部指導	導者の派遣等が	ヾ生徒のスポ-	-ツ活動等の継続	
	.H WIL		評価する。		に繋がるため妥当である。							
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	声	高い 経費は部活動指導員等への報酬や保険料であり、地域との連携					地域との連携を	
	797—1	_	費は適正かを評価する。				図る上	で適正である。	.			
			- 11-11-	現状維持		縮小	C	11-22-70-22			評価結果	
		古光	引き続き、関係団体								H I Im The Six	
次年		事業	部活動(サッカー)(の地域クラフ	ブへの	移行の初	刀年度と	なることから、	円滑な移行に	努める		
取組(。 • ++ * • •	TE 11: 4# ++		売 ル		LECTOR CONTRACTOR				
向性	~ 1			現状維持		縮小	<u>C</u>				拡充	
善内容		予算	部活動(サッカー)(金を新設したことに、				たる無男	予算反映額	1. 640	ᅩᇚᅵ		
		, ,,	並を制設したことに、	より 17 昇かれ	ム元し	120		(概 算)	1, 040	'		
	14 O T	* F	地域クラブへの移行	を段階的にそ	焦めて	いくにも	カたって	関係団体や保証	養者等に対して	説明会や意見	交換等を行う機	
今	後の改	香点	会を確保することで							шо-91 д (
女と作所として、ためノブンの行うには人と回って												

1. 事業内容

事務事業名	「びほろ学」推進事業	課・グループ名	学校教育課	・学校教育グループ						
尹 仍尹未 口	「ひはつ子」推進事業	評価者名	教育部長	中尾 亘						
基本目標	05 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり	款	XX							
総 基本目標	0 1 幼稚園、学校教育の充実	予 項	XX							
	03 小中学校の教育内容の充実	算 科 目	XX							
画 施策(小)	02 体験型の学習によるふるさと教育やキャリア教育の充実	^目 大事業	xx 「びほ	ほろ学」推進事業						
事業期間	終期未定	中事業	00							
要求区分	継続 町長重点政策 〇			,						
根拠法令等			経費区分	政策的経費						
事業概要	小中一貫教育を見据え、各学校において「ふるさと教育」「キャリア教育」の目的を共有・実践するとともに、小中連携を視野に入れたカリキュラムの見直しを行い、町の教育に特徴を出す。 また、地域の教育資源を活用した体験学習・探究活動の機会を拡大する。									
事業目的	特色のある学校づくりを推進するとともに、グローカル人材の育成やふ 徒を育成する。	、るさと美幌	への誇りや愛	着を持った児童・生						
事業の対象	児童・生徒									
実施結果	【実施結果】 中学校区連携会議において各小中学校の総合的な学習(探究)の指導内 を活用した取組みについて議論を深めた。	 容について 	共有を図ると							
現状と課題	【現状と課題】 各小中学校において地域資源等を活用した取組みを図っているものの、系統的な取組みまでに至ってはいないため、 カリキュラムの見直しなどを行う必要がある。									
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況									

2. 年度別	事業費							(单	单位:千円)
				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費	事業費(千円		(千円)	0	0	0	0	0	0
国支出:	金			_	ı	0	0	0	0
道支出:	金			-	1	0	0	0	0
地方債				-	-	0	0	0	0
その他				_	_	0	0	0	0
一般財活	原			0	0	0	0	0	0
人件費			(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当た	り給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費	十人件費)		(千円)	0	0	0	0	0	0

3. 評	陌											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	度	令和08年度
培	地域	の教育資	が源を活用した探究活	目標	校				5		5	5
指 標		施校数		実績	校				5			
1				達成率	%				100			
指				目標								
指 標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標				実績								
3				達成率	%							
	項目 評価の視点					平価	理由					
	妥当怕	<u>生</u>	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	妥	芒当	ı		え、教職員の連	携や共同が	が必要	要不可欠なため
			フかを評価する。 目標達成度から、手段や対象等が	盗切か じこかた				iである。 ス学☆ベノル	Б Д Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т	サの女はら	+ 0	リタス は 対
	有効性	生	日保達成及がら、子段や対象等が 評価する。	適切がこ ブルゼ	膏	引い)る子校 つくり !込まれるため:		例の目別は	ь, ш	リタトへの波及幼
	効率	<u></u>	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経高い			経費に	生じないため	、適正と考える) 。		
	797 — 1	<u> </u>	費は適正かを評価する。			•						
				現状維持		縮小	C	休止・廃止			1	評価結果
		事業	現状維持のまま実施で	することがi	適当で	ある。						T IM THE STA
次年 取組(尹禾										
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С	 皆減				見状維持 現状維持
善内:	容		現状維持のまま実施で	することがii	適当で	ある。					ب	兄1人和15寸
		予算						予算反映額	(千円		
								(概算)				
今	後の改	善点	引き続き、町・学校	・地域が連拮	隽して	「びほろ	ろ学」の	推進を図る。				

1. 事業内容

事務事業名	学校運営改善事業	課・グループ名 学校教育課学校教育グループ									
尹 仍尹未 口	十枚连名以音争未	評価者名	教育部長	中尾 亘							
基本目標	05 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり	款	10 教育費	Ę							
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	0 1 幼稚園、学校教育の充実	_予 項	01 教育約	総務費							
計 施策(中)	03 小中学校の教育内容の充実	算 目 目	03 教育排								
画 施策(小)	0.4 地域と一体となった学校づくりの推進	大事業		女育振興事業							
事業期間	終期未定	中事業	04 学校選	星営改善事業							
要求区分	継続 町長重点政策 〇										
根拠法令等	学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律		経費区分	政策的経費							
事業概要	学校は、教育活動やその他の学校運営について、地域の教育力を積極的に活用しながら「地域とともにある学校づくり」を推進する必要があることから、学校運営協議会制度を活用し、地域の教育力の向上を図る。 各学校運営協議会の開催を進めるとともに、地域の応援団や学校運営協議会間での連携会などにより小中連携を強化し、学校、地域、家庭の連携を深めていく。										
事業目的	「地域とともにある学校づくり」を推進する。 学校(教育)、地域(協育)、保護者(共育)による3つの教育ネット	トワークを構築	築する。								
事業の対象	学校運営協議会委員、地域住民、保護者、教職員										
実施結果	【実施結果】 学校運営協議会の開催などにより学校と地域と情報共有や委員の資質向	可上が図られた	<i>t</i> =。								
現状と課題											
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況										

2. 年度別事業費

(単位:千円)

		令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費	(千円)	393	412	1, 260	449	1, 075	1, 075
国支出金		0	0	0	0	0	_
道支出金		0	0	0	0	0	_
地方債		0	0	0	0	0	_
その他		0	0	0	0	0	_
一般財源		393	412	1, 260	449	1, 075	1, 075
人件費	(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	(千円)	393	412	1, 260	449	1, 075	1, 075

(見込値)

3. <u>a</u> #	-1四	指	 標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	度	令和08年度
t⊑	学校	運営協議	会委員の委嘱	 目標	名		53	54	50		50	50
指標				実績	名		54	48	50		$\overline{}$	
1				達成率	%	1	101. 89	88. 89	100			
指				目標								
指標				実績								
2			達成率	%								
指				目標								
指標				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点	i	評価				理由			
	妥当性		目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	3	妥当 学校と地域が目標 するために、学校						
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高	易い			域で育てる仕組 期待できること			
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	高い			賞と外部講師の く上で適正と考		5動紀	怪費であり、地
			- M-11-	現状維持		縮小	0	休止・廃止			Ē	平価結果
次年原取組(事業	現状維持のまま実施	することが通	適当で	ある。					-	
向性			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	皆減			Ŧ	見状維持
善内容		予算	現状維持のまま実施	することが過	適当で	ある。		予算反映額(概算)	į o	千円	-5	ルンベル圧 1寸
今往	後の改	善点	学校運営協議会連携:	会において、	各学	校の取締	組みや課	題の共有するこ	ことで各協議会	の課題解決	や活	性化を図る。

1. 事業内容

事務事業名	少人数学級推進事業	課・グループ名	学校教育課	・学校教育グループ						
争勿争未石	クス奴子似性進事未	評 価 者 名	教育部長	中尾 亘						
総 基本目標	05 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり	款	10 教育費	ŧ						
合 施策(大) 計 施策(中)	0 1 幼稚園、学校教育の充実	_予 項	01 教育約							
	03 小中学校の教育内容の充実	A Q Q Q Q A D Q Q Q A D Q Q Q								
画 施策(小)	09 少人数学級の推進	上 大事業		女育振興事業						
事業期間	終期未定 令和4年度 ~	中事業	97 少人娄	文学級推進事業						
要求区分	新規 <u>町長重点政策</u> 〇									
根拠法令等	学校教育法		経費区分	政策的経費						
事業概要	小学校におけるきめ細かな学習指導を行うことで学習意欲の向上を図るため、町独自に期限付教諭を配置し、町内小学校すべての学年において少人数(35人以下、1年生30人以下)学級の実現を図る。									
事業目的	児童の学力及び体力を向上させると共に、不登校やいじめなどの未然防	近を図る。								
事業の対象	小学校の児童									
実施結果	【実施結果】 小学校第1年生・第2年生を対象とした少人数学級(30人以下)を実 かな指導を行うことができた。	『施すること	で、児童一人	ひとりによりきめ細						
現状と課題	【現状と課題】 引続き、少人数によるきめ細かな教育支援を行い、学習環境を整えるこ	とが必要と	考える。							
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	4, 892	6, 104	12, 975	14, 219	7, 286	7, 286
国支出金	0	0	0	0	0	_
道支出金	0	0	0	0	0	_
地方債	0	0	0	0	0	_
その他	0	0	0	0	0	_
一般財源	4, 892	6, 104	12, 975	14, 219	7, 286	7, 286
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	4, 892	6, 104	12, 975	14, 219	7, 286	7, 286
						(目3.体)

3. 評	陌											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07	年度	令和08年度
垖	町費	負担教員	(臨時教員)の配置	目標	名		1	1	2		1	1
指 標 1				実績	名		1	1	2			
1				達成率	%		100	100	100			
指				目標								
指 標				実績								
2	2		達成率	%								
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%		T					
	項目		評価の視点		部	理由理由						
	妥当	性	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	27		きめ糸	出かな学習環境:	を整え、基礎学	力を定着	事させ ん	ることにより、
	Д Э I		うかを評価する。		3		学力向]上を目指すに[は妥当である。			
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高い 本事業は、児童の成長や学力向上につながる					るため、	. 有効である。	
	効率	<u></u>	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	蚤 高い		経費に	は、人件費のみ	であり、削減の	余地はな	よいと	考える。
	<i>7</i> 01 ± 1		費は適正かを評価する。		_							
			0 10-77 0	現状維持		縮小	С	休止・廃止				評価結果
		事業	現状維持のまま実施 ⁻	することがii	適当で	ある。						ar imagers
次年		尹未										
取組(向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	C) 皆減				
善内容			現状維持のまま実施で					白火				現状維持
□ F 37	<u> </u>	予算	が小性可ひるの大心	2 -0 C C 13 -11	== -	ه له∹رین		予算反映額	į n	千円		
								(概 算)	Ĭ			
今:	今後の改善点 子どもたちにきめ細かで質の高い教育を提供していくため、各学校と引き続き連携体制を確立していく。											

1. 事業内容

事務事	業々	小学校図書充実事業				課・グループ名 学校教育課総務グループ				総務グループ
事 ⁄ 为 事	未石	介于仅因音儿关事 未				ā	平価者名	教育	部長	中尾 亘
※ 基	本目標	05 夢を育む体験!あれ	たたかい人をつ	くるまちづく	IJ		款	10	教育蠪	
総合計施	短策(大)	O 1 幼稚園、学校教育(カ充実			予算	項	02	小学校	交費
計施	西策(中)	03 小中学校の教育内	容の充実			科	目	02	教育排	長興費
	並策(小)	1 1 読書活動の推進				B	大事業	01		交教材整備事業
事業		単年度					中事業	03	小学校	校図書充実事業
要求	区分	継続		<mark>一町</mark>	<mark>長重点政策</mark> 〇					
根拠法	长 令等							経費	区分	政策的経費
事業	概 要	新学習指導要領において」においても学校図書の充て欠くことのできない学校	医実が求められて	ている状況では	ある。このこと か					
事業	目的	学校図書館の充実により、	児童生徒の読書	書活動を推進し	ン、読書の習慣化	上及	び学力の	向上に	繋げる	0
事業の)対象	小学校全児童								
実施。	結 果	【実施結果】 学校司書による各小学校へ	の巡回や計画的	内な図書の整備	#等により、学 ^校	· 医交	書館の充	実が図	られた	
現状と	:課題	【現状と課題】 現在は学校司書 1 名が各り 検討する必要がある。	 \学校を巡回し ^っ	 ているが、各/	 学校 1 名の配置 	置に	は至って	いない	ため、	計画的な環境整備を
事業進	進 捗度	2 予定どおりに進んでおり、順調な進捗状況	進捗度3又は 4の理由	-	左の具体的な 内容					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	888	936	1, 501	224	1, 509	1, 509
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	300	1, 000	30	1, 000	1, 000
一般財源	888	636	501	194	509	509
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	888	936	1, 501	224	1, 509	
						(目3.体)

3. 誀	価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
塢	学校	図書館の	蔵書数	目標				29, 080	28, 880	28, 880	28, 880
指標				実績				22, 663	23, 013		
1				達成率	%			77. 93	79. 68		
指				目標							
指標				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指標				実績							
3				達成率	%		T				
	項目 評価の視				評価				理由		
	妥当性	生	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	1 2 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				館における書籍 ることは妥当と		が求められてい
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	* ^{どうかを} 高い 書籍の整備充実を図るためにも適切な廃棄更新 性は高い。					な廃棄更新が	必要であり有効
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	らい)適切な廃棄更 効率性は高い。	新を行うことで 。	学校図書の充	実が図られるこ
			0 10-75	現状維持		縮小	С	休止・廃止			評価結果
		== **	現状維持のまま実施で	することがii	適当で.	ある。					
次年 取組(の方	事業									
向性			<u> </u>	現状維持		縮小	С	皆減			現状維持
善内容	容	予算	現状維持のまま実施で	することがi				予算反映額(概 算)		千円	20 0 (42.14)
今:	後の改	善点	蔵書数が増加してい	くよう今後も	も適切:	な書籍の	の適切な	(196 31)	ていく。	I	

1. 事業内容

事務事業名	中学校図書充実事業	課・	グループ名	学校教育課・総務グループ		
学 协学未有	个于权 囚 官儿关节未	評	価 者 名	教育	部長 「	中尾 亘
基本目標	05 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり		款	10	教育費	Ì
総 合 施策(大) 計 施策(中)	0 1 幼稚園、学校教育の充実	予算	項	03	中学核	費
	03 小中学校の教育内容の充実	_ 科	目	02	教育振	
画 施策(小)	1 1 読書活動の推進	-	大事業	01		交教材整備事業
事業期間	単年度		中事業	03	中学核	図書充実事業
要求区分	継続 <mark>町長重点政策</mark> ○					
根拠法令等				経費	区分	政策的経費
事業概要	新学習指導要領において、学校図書館・学校図書の利用についての 」においても学校図書の充実が求められている状況である。このことが て欠くことのできない学校図書及び学校図書館機能の充実を図る。					
事業目的	学校図書館の充実により、児童生徒の読書活動を推進し、読書の習慣の	比及び	学力の向)上に	繋げる	0
事業の対象	中学校全生徒					
実施結果	【実施結果】 学校司書による各中学校への巡回や計画的な図書の整備等により、学校	交図書	館の充実	が図	られた	0
現状と課題	【現状と課題】 蔵書数が増加していくよう引き続き書籍の更新等を進めていく必要がる	 ある。 				
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	380	972	1, 643	443	1, 408	1, 408
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	215	1, 000	20	1, 000	1, 000
一般財源	380	757	643	423	408	408
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)(千円)	380	972	1, 643	443	1, 408	1, 408
						(目:3.値)

3. 割	陌										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
塢	学校	図書館の	蔵書数	目標				21, 440	20, 880	20, 880	20, 880
指標				実績				12, 557	12, 907		
1				達成率	%			58. 57	61.82		
指				目標							
指標				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
	項目 評価の視				評価				理由		
	妥当性		目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	<u> </u>	妥当		から学校図書	館における書籍	の整備充実等	が求められてい
	妥当性		うかを評価する。				るため)、町が支援す	ることは妥当と	考える。	
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	膚	高い 書籍の整備充実を図るためにも適切な廃棄更新が必要で					
			評価する。				性は高	• •	+×+/->- -		-
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	高い					学校図書の充	実が図られるこ
			費は適正かを評価する。	TO .1 N A # 1+	<u> </u>	6 台。1.		効率性は高い	0		
			- III-11-0	現状維持		縮小	C	休止・廃止			評価結果
次年	# m	事業	現状維持のまま実施で	りることかぇ	当白じ	める。					
取組	~ ' '	1.210									
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С	上 1 皆減			TE 14: 4# +±
善内			現状維持のまま実施で								現状維持
		予算						予算反映額	0	千円	
								(概 算)			
今	後の改	善点	蔵書数が増加してい	くよう今後も	も書籍	の適切な	は更新等	を進めていく。	,		

1. 事業内容

事務事業名	小中一貫教育推進事業	課・グループ名	学校教育課	総務グループ
学 协争未位	7. 一	評 価 者 名	教育部長	中尾 亘
総 基本目標	05 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり	款	xx	
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	0 1 幼稚園、学校教育の充実	予 項	XX	
	05 高等学校教育の充実	算 目 十事業	xx	
画 施策(小)	0 1 間口確保や教育施設・設備の充実	ハザ木		-貫教育推進事業
事業期間	単年度	中事業	00	
要求区分	継続 町長重点政策 〇			
根拠法令等			経費区分	政策的経費
事業概要	教育環境の向上と9年間を見通した連続性のある教育活動の推進を目立てを図る。	的とした小	中一貫教育の	導入に向け必要な手
事業目的	児童生徒の教育環境の向上			
事業の対象	児童生徒、保護者、地域住民			
実施結果	【実施結果】 小中一貫教育の導入に向け、「美幌町小中一貫教育推進ビジョン」「美 	·幌町義務教 	育学校整備基	本方針」を策定した
現状と課題	【現状と課題】 義務教育学校の開校に向けた基本構想の策定にスピード感を持って取り	組む必要が	ある。	
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお 進捗度3又は り、順調な進捗状況			

2. 年度別事業費

(単位:千円)

<u> </u>	, i							
			令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費		(千円)	0	298	500	140	0	0
国支出金			-	-	0	ı	0	_
道支出金			-	1	0	ı	0	-
地方債			-	-	0	ı	0	1
その他			-	_	0	ı	0	1
一般財源			0	298	500	140	0	0
人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給-	与費 -	千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人	、件費)	(千円)	0	298	500	140	0	0

(見込値)

<u>3. 計</u>	<u>÷1Щ</u>											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
指	検討:	会議等の	実施	目標	□		5	30	30	50	50	
指 標				実績	回		1	20	50			
1				達成率	%		20	66. 67	100			
塢				目標								
指 標 2				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点	i	評	F価	理由					
	妥当怕	<u>+</u>	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	べきかど 妥当 近年)少子化を背景(に、児童生徒に	とってより良	い教育環境を提	
	女ヨロ	Τ	うかを評価する。		3		供して	いくため、小り	中一貫教育の導	入が必要と考	える。	
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	į	รีเง	道内外	・先進校の視察・	や検討会議等に	より十分な調	査研究・協議を	
	ונא דו	<u> </u>	評価する。		IP.	<u>行うことが有効である。</u>						
	効率性	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	ふか、現行の経 高い			その視察により3	現場の実態を直	[接確認するこ	とができ、課題	
	79J — I	<u> </u>	費は適正かを評価する。			-	点等の	整理のための	費用対効果は高	いと考える。		
			0 11-10	現状維持		縮小	0	11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-			評価結果	
		古光	義務教育学校整備に						蒦者、地域住民	等への	II IMATERIA	
次年	-	事業	十分な説明・協議を行	行いながら、	スピ・	ード感る	を持って	取り組む。				
取組(向性			● 拡充 O	現状維持	0	タタ 小	0					
善内容			0 ,,,,,,	70 P 11 E 1 1		縮小					拡充	
一百 P 3 4	F	予算		援業務委託、先進校視察、開校検討 打合せ経費を計上。基本構想の策定 予算反映額 11,781千円						4四		
			l .	&、文科省等打合せ経費を計上。基本構想の策定 ^{予算及映額} 11,781千円 ┃ スピード感を持って取り組む。 (概 算)								
	後のま	羊占	小中一貫教育推進及			備に係る	る課題点	等の整理、関係	系者との十分な	協議や調整が	必要である。	
7	後の改	出出								· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

1. 事業内容

事務事	学 夕	—————————————————————————————————————				課	・グループ名	学校	效育課	総務グループ
于初于	未也	我自派父事初				Ē	平価 者 名	教育	部長	中尾 亘
総基	本目標	05 夢を育む体験!あた	たたかい人をつ	くるまちづく	IJ		款	10	教育	費
合施金計施金	策(大)	0 1 幼稚園、学校教育の	の充実			予	項	01	教育組	総務費
	策(中)	05 高等学校教育の充実	実			予 算 」科	目	03	教育	辰興費
画施	策(小)	0 1 間口確保や教育施	殳・設備の充実				大事業	01		辰興事業
事業其		単年度					中事業	01	教育	辰興事務
要求	区分	継続		<mark>町</mark>	長重点政策 -					
根拠法	令等							経費	区分	政策的経費
事業机	概 要	(1)町内唯一の高校である (2)奨学金貸与制度により								
事業目	目的	美幌高等学校の魅力化に対し、奨学金を貸与すること			よる生徒の確保。	。ま	た、経済的	り理由	により	修学が困難な者に対
事業の	対象	生徒、保護者、美幌高等学	单校							
実施系	結果	【実施結果】 美幌町奨学金貸与制度を活 るとともに各種支援策を行		ず与した。ま <i>†</i>	こ、美幌高校の2	主徒	確保のため	りの高	校の態	ま力を町内外に発信す
現状と	課題	【現状と課題】								
		地域みらい留学制度の活用	や学校訪問等に	こより、入学	者確保につながる	3 — F	時的な成り	見は見	しられた	-ものの、依然として
		定員割れが続いていること	から、生徒確保	果のための取り	<u> /組みをさらに</u>	<u> </u>	していく』	<u>ふ要か</u>	<u> ある。</u>	
事業進	捗度	2 予定どおりに進んでおり、順調な進捗状況	進捗度3又は 4の理由	-	左の具体的な 内容					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
Ę	業費		(千円)	21, 919	16, 036	15, 240	13, 703	31, 465	19, 184
	国支出金			579	642	577	891	0	0
	道支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			2, 019	2, 001	5, 106	5, 101	5, 006	5, 006
	一般財源			19, 321	13, 393	9, 557	7, 711	26, 459	14, 178
	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	十 (事業費+人件費)		(千円)	21, 919	16, 036	15, 240	13, 703	31, 465	19, 184

(見込値)

<u>3. ₽</u>	<u> </u>										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
指	奨学:	金貸与者		目標	名		8	8	8	8	8
指標				実績	名		6	5	8		
1				達成率	%		75	62. 5	100		
塢	報徳:	寮入寮者	f数	目標	名		10	10	20	23	23
指標				実績	名		11	13	19		
2				達成率	%		110	130	95		
指	美幌	高等学校	· 入学者数	目標	名		80	80	80	80	80
指標				実績	名		67	46	73		
3				達成率	%		83. 75	57. 5	91. 25		
	項目		評価の視点	į	評	価			理由		
	妥当怕	 生	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど 妥当		·····································		のために町が支			
			うかを評価する。					ことは、地域で			
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高	高い 奨学金については条例 高校支援については事					
			青用と成果のバランスはとれてい	ろか 現行の終							が過りである。 高校支援につい
	効率性	生	費は適正かを評価する。		高	らい		:については教 :徒確保に繋が			司仪又版につい
				現状維持	0	縮小			<u>のことがり効果</u>		
			美幌高校魅力化コー						葉を強化する		評価結果
次年	度の	事業	奨学金制度の活用を						7 C K I D 7 O 0		
取組			人 1 显明及57亿元	LE / 0/20	.> (1937	Z • > 7 12 1		0			
向性	· 改		● 拡充 O	現状維持	0	縮小	0	皆減			拡充
善内	容		美幌高校魅力化コー	ディネータ-	ーによ	る入学す	皆確保に				TIAJL
		予算	向けた取組み等を強化	化する。				予算反映額	3, 944	千円	
			奨学金制度の活用を								
今	後の改	善点	各種支援策の効果検	証を十分に彳	テい、「	限られた	こ予算の	中で生徒確保の	りための効果的	な支援内容を根	検討する必要が┃
	,,,,,,,,,	, LI ///	ある。								

1. 事業内容

事務事業名	高校生食育推進事業	課・グループ名	学校給食課	学校給食グループ							
事物爭未位	同权工及自证是事未	評価者名	教育部長	中尾 亘							
総 基本目標	05 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり	款	10 教育費								
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	0 1 幼稚園、学校教育の充実	_予 項	05 保健体								
	05 高等学校教育の充実	予 算 科 目		合食センター費							
画 施策(小)	0 1 間口確保や教育施設・設備の充実	大事業		食運営事業							
事業期間	8年度 令和2年度 ~ 令和8年度	中事業	03 高校生	E食育推進事業							
要求区分	継続										
根拠法令等			経費区分	政策的経費							
事業概要	美幌高等学校が生産した小麦を使用して商品化した美高うどん、美高ら一めんを、生徒自身に食してもらう食育を目的とするとともに、魅力ある高校づくりを支え、生徒確保に向けた施策として実施する。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止や緊急事態宣言で実施できなかったが、令和3年度~令和5年度は 1回実施している。										
事業目的	美幌高等学校へ、年1回給食を提供する。										
事業の対象	美幌高等学校の生徒										
実施結果	【実施結果】 美高ら一めんを給食として提供し生徒達の食育を推進した。										
現状と課題	【現状と課題】 提供機会が限定される献立のため、実施回数は年1回が妥当である。										
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況										

2. 年度別事業費

(単位:千円)

_	1 12/11 11/12							, i	<u> </u>
				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事	事業費(千円)			65	65	65	65	65	65
	国支出金			0	0	0	0	0	ı
	道支出金			0	0	0	0	0	ı
	地方債			0	0	0	0	0	ı
	その他			0	0	0	0	0	ı
	一般財源			65	65	65	65	65	65
J	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	十 (事業費+人件費)		(千円)	65	65	65	65	65	65

3. 評	陌											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年	F度	令和08年度
塢	美幌	高等学校	の生徒への給食の提	目標	回		3	1	1		1	1
指標	供回			実績	回		1	1	1			
- Î				達成率	%	% 33. 33 100			100			
指				目標								
指 標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指標				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点		評	呼価			理由			
	妥当怕	性	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	べきかど 妥当		自ら育	育てた小麦を活	用し給食として	提供する	事業~	であり、効果的
	У — 1		うかを評価する。					f推進であるこ。				
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	高	ξι ν	│ 農業科の特色を生かす事業でもあり、魅力ある高校づくりと │ 有効性は高い。					交づくりとして
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	±	らい 5しい	小中学	校の給食提供	日に合わせて実	施してい	るたと	の効率的であり
	XJ + 1	Ξ.	費は適正かを評価する。			, c ·	、商品	品の P R にもなっ	るため成果は高	เง _。		
			0 10-75	現状維持		縮小	С	休止・廃止				評価結果
		事業	現状維持のまま実施で	することがii	適当で	ある。				_		1 manual
次年) 取組(尹禾										
向性				現状維持		縮小	С	」 皆減			7	現状維持
善内	容	マ 竺	現予算額を維持する。	ことが適当で	である。	o		文質 Cnb to			•	ンのなく中田で
		予算						予算反映額	0	千円		
			西井州の加井 40.7F	ナセキナフ	. +8 /4.	コ* 4. 4.8.4	- 4 G #	(概算)	18 + 5 1-10h =	曲女媧は		1 + +n = + +r+
今	後の改	善点	原材料の収穫、製造るな献立の提供などもな				‡ 1 回か	〜 <u> </u>	か、さらに地元 	展産物や) 	川	もも加えた新た

1. 事業内容

事務事業名	多文化共生推進事業	課・グループ名	社会教育課	【社会教育グループ							
于初于木石	タスに六工作と手术	評価者名	教育部長	中尾 亘							
総 基本目標	05 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり	款	10 教育	費							
総 基本目標 施策(大) 施策(中)	02 生涯学習の充実	予 項	04 社会	教育費							
	03 生涯学習活動の促進	科目		教育振興費							
画 施策(小)	06 外国人に対する学習機会の提供	上 大事業		教育事業							
事業期間	終期未定 令和2年度 ~	中事業	03 多文	化共生推進事業							
要求区分	継続 町長重点政策 〇										
根拠法令等			経費区分	政策的経費							
事業概要	町内に在住する外国人技能実習生等に日本文化や教養を学ぶ機会を提供(日本文化体験)するとともに事業所及び町民への外国人理解の機会提供を行い相互交流の機会を創出する。(やさしいにほんご講座) 事業開始年度 令和2年度 対象事業所 22事業所(令和7年7月末日現在) 【町長重点施策】										
事業目的	外国人技能実習生が単に労働だけではなく、美幌町で日本文化や教養に 滞在できるような生涯学習の機会を提供するとともに、共生に向けたタ			こ愛着を持って就労・							
事業の対象	町内在住の外国人及び事業所を主とした一般町民										
実施結果・現状と課題	【実施結果】 町内外国人技能実習生及び町民を対象とした「やさしい日本語講座」を 用しやすいよう新たにパンフレットを作成し、町民を講師とした内容を 【現状と課題】			体験としてさらに活 							
SO IN C MINE	取組としては開催できたものの、今後、持続可能な取組とするべく町民の参画などを考える必要がある。										
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は - 左の具体的な</mark> り、順調な進捗状況 4の理由 内容										

2. 年度別事業費

(単位:千円)

			令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)		27	115	401	307	588	588	
国支出金			0	0	0	0	0	0
道支出金			0	0	0	0	0	0
地方債			0	0	0	0	0	0
その他			27	0	300	300	300	300
一般財源			0	115	101	7	288	288
人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)		(千円)	27	115	401	307	588	588

(見込値)

		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
指	実施	回数		目標	事業		4	3	4	3	8	
指 標				実績	事業		2	3	4			
1				達成率	%		50	100	100			
指				目標								
指 標 2				実績								
				達成率	%							
指 標 3				目標								
標				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点		評	呼価			理由			
	妥当	性	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	妥当 外国人人			外国人人材は町内においても急激に増加傾向にあり、外国人				
	Д 🗆 і		うかを評価する。	する生活支援及び町民への埋解促進の値						の面において	[必要性が高く妥	
	有効	'	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	膚	まい しょうしょう	事業を	・通して事業所(こおける肯定的]な評価及び地	地域住民との交流	
	13 293 1		評価する。		機会の拡大に繋がっており有効である。							
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい									
	.,,,		費は適正かを評価する。					美所への支援体質	制にも繋がって	いるため妥当	である。	
			- ,,,,,,,	<u>現状維持</u>		縮小	C	71 70	0 TII / II / II / II / II	1. 1. 7	評価結果	
次年	# ω	事業	加速的に外国人人材が		.\o∟	とから、	外国人	、文援及ひ町氏/	>の埋解促進に	かかる		
取組(于不	サポーターを養成すん	ଚ ୍ଚ								
向性			● 拡充 O	現状維持	0	縮小) 皆減			14.4	
善内			サポーター養成に係ん								拡充	
		予算	要が高まっているこ					予算反映額	187	千円		
								(概 算)				
今:	後の改	善点	外国人住民の増加に								ポーターの育成	
<mark> </mark>												

1. 事業内容

事務事業名		課・グル	レープ名	図書	館課図	書館グループ						
于初于木石	机自自良性医学术	評価	者 名	教育	部長	中尾 亘						
基本目標	05 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり		款	10	教育費	Ē						
総 合 施策(大) 計 施策(中)	02 生涯学習の充実	予	項	04	社会教	対育費						
計 施策(中)	04 図書館、読書活動の充実	科	目		図書館							
画 施策(小)		O 4 子どもの読書活動の推進、読書習慣の形成 P 大事業 03 図書館活動促										
事業期間	終期未定	中	事業	03	読書習	習慣推進事業						
要求区分	継続 <mark>町長重点政策</mark> 一											
根拠法令等	<mark>— 経費区分</mark> 政策的経費											
事業概要	小学校、保育園での読み聞かせボランティア団体を支援すると共に新たなボランティアの発掘養成のための講座を行う。また、乳幼児期から学齢期にかけての子どもたちの読書習慣を形成し、豊かな感性と情操を育むことを目的として「子ども未来絵本036事業」を実施、ブックスタート事業(0歳対象:10か月健診時)、ブックセカンド事業(3歳対象:3歳児健診時)、ブックサード事業(6歳対象:小学校訪問)の各事業を継続実施する。											
事業目的	図書館ボランティアの育成及び活動支援 子どもの読書活動の促進及び読書習慣の形成											
事業の対象	図書館ボランティア、町内の0、3、6歳児											
実施結果 ・ 現状と課題	【実施結果】											
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況											

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事	業費		(千円)	776	684	533	459	486	500
	国支出金			0	0	0	0	0	0
	道支出金			0	0	0	0	0	0
	地方債			0	0	0	0	0	0
	その他			600	500	400	400	300	300
	一般財源			176	184	133	59	186	200
J	、件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
Ē	(事業費+人件費)		(千円)	776	684	533	459	486	500
	•	•	,						(目3.体)

(見込値)

<u>3. 計</u>	. 評価											
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
指	配布。	人数		目標	人		295	295	260	260	260	
指 標				実績	人		298	245	262			
1				達成率	% 101. 01 83. 05 100. 77							
指				目標								
指 標				実績								
2				達成率	%							
指				目標								
指 標				実績								
3				達成率	%							
	項目		評価の視点	į	部	呼価			理由			
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかうかを評価する。					芒当	法的には外部委託も可能だが、公共性に鑑み現段階では考え いない。					
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	言	引い	事業終了後のアンケート等からも好評であり、子どもの読書 慣づくりを支える事業として有効である。					
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	現行の経 高い 支援ボランティアや関係団体の協力を得て実施している					近している。		
			○ 拡充 ●	現状維持	0	縮小	С	休止・廃止			評価結果	
			現状維持のまま実施・	することがi	窗当。						11 國和木	
次年。	~	事業										
向性	• 改		0 11	現状維持		縮小	С	上 皆減			現状維持	
善内容	容	予算	現状維持のまま実施	することがii	適当 。			予算反映額(概 算)	į c	千円	20.0CME 14	
			現在の活動につい	て融昌だけっ	でけかり	広が困難	# t: t_ xt	1111 211	アの支揺が必要	不可欠だが	ボランティアの	
今	後の改	善点	後継者不足が大きな							作り入だが、	ホノン / 1 / 0 /	

1. 事業内容

事務事業名	博物館活動推進事業	課・グループ名	博物館課博	物館グループ							
学 份学术句	诗彻站/1到] [[[]]]	評価者名	教育部長	中尾 亘							
基本目標	O 5 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり	款	10 教育費	\$							
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	02 生涯学習の充実	予 項	04 社会教								
	05 博物館の充実	算 科 目	06 博物館								
画 施策(小)	0 1 学校教育との連携の充実	上 大事業		官活動推進事業							
事業期間	単年度	中事業	01 博物館	官活動推進事業							
要求区分	継続 <mark>町長重点政策</mark> 一										
根拠法令等	博物館法										
事業概要	博物館法に基づき、美幌町の自然や歴史、芸術等に関する資料を調査研究し、それを展示や講座等の教育活動に活かし、町民等に広く紹介する。 (1) 調査研究事業(2) 展示事業(3) 講座教室事業(4) 特別展【展示事業】 (6) いきいきふるさと推進事業助成金【特別展】										
事業目的	美幌町の自然や歴史、芸術等を後世に伝える。 美幌町の自然や歴史、芸術等について認識を広げ、郷土愛を醸成する。										
事業の対象	一般町民、博物館来館者										
実施結果	した体験授業の実践した。	展示や各種講	座を開催。加 	 えて学校教育と連携 							
現状と課題	【現状と課題】 年々、体験学習の実施件数および内容が充実してきている。そのため、対応できる職員が不足してきていることから 、ボランティアなどの協力が不可欠となっている。										
事業進捗度	2 予定どおりに進んでおり、順調な進捗状況 進捗度3又は 4 の理由 - 内容										

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費(千円)	8, 444	8, 903	11, 376	10, 643	9, 850	10, 400
国支出金	0	0	0	0	0	_
道支出金	0	0	0	0	0	-
地方債	0	0	0	0	0	_
その他	2, 000	3, 500	5, 470	5, 100	4, 000	_
一般財源	6, 444	5, 403	5, 906	5, 543	5, 850	10, 400
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	8, 444	8, 903	11, 376	10, 643	9, 850	10, 400

(見込値)

3. 評	7価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
指	講座	教室等		目標	口		140	140	140	140	140
指 標				実績	□		138	180	189		
1				達成率	%	% 98.57 128.57 135					
坮				目標							
指 標				実績							
2				達成率	%						
指				目標							
指 標				実績							
3				達成率	%						
	項目		評価の視点		割	F 価			理由		
	妥当怕	Д-	目的や現状及び課題から、町で、	今やるべきかど	妥当		ふるさとの自然、歴史、芸術等の貴重さ・面白さを、多くの町具				
	女当	±	うかを評価する。		女	=	に理解してもらい、興味を抱いてもらうためには、				
	有効性	<u></u>	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	±	รีเง	講座教	(室等の充実を	図ることは、目	標達成のため	、非常に有効な
	ונא פי	Τ	評価する。	同()			手段である。				
	効率性	生	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	喜	ξι\	│ 類似事業を整理(統合・廃止)したりすることで、経				、経費の効率化
	<i>γ</i> η+ι		費は適正かを評価する。		I	10.	を図っている。				
			- ,,,,,,	現状維持		縮小	0	休止・廃止			評価結果
		事業	現状維持のまま実施 ⁻	することがヨ	そ当では	ある。					H.I. Immirial Size
次年		争未									
取組(O #:*	TEI 112 4# +±		を		EE2 E			
向性 善内			<u>○ 拡充</u> ● 現状維持のまま実施	現状維持		縮小	O	皆減			現状維持
告 [7]		予算	現仏稚行のまま美胞	9 O C C 10.3	τ Ξ ()	める。		予算反映額	i n	千円	
		- 2.						(概 算)		' ' ' ' '	
۵	後の改	·盖占	講座教室は今後も充っ	実させる。ま	た、	教育旅行	テや企業	研修の受け入れ	ιなどを充実さ	せるため、課	や組織を越えて
7	及切以	一一	連携を図っていく必要	要がある <u>。</u>							

1. 事業内容

事務事業名	びほろっ子夢へのチャレンジプロジェクト事業	課・グループ名 社会教育課・社会教育グルー								
节仍节木石	いはつう「夢への)、ドレンノノロフェノト事未	評 価 者 名	教育部長	中尾 亘						
総基本目標	O 5 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり	款	xx							
合 施策(大) 計 施策(中)	03 青少年の健全育成	予 項	xx							
	02 青少年育成活動の充実	算 目	XX							
画 施策(小)	01 生きる力を育む体験活動の充実	大事業 大事業		っ子夢へのチャレ						
事業期間	3年度 令和6年度 ~ 令和8年度	中事業	00							
要求区分	継続									
根拠法令等			経費区分	政策的経費						
事業概要	町内小学5年生~高校3年生までを対象に自身の夢に向かって今チャ3名に最大30万円の助成を行う。(企業版ふるさと納税活用事業)。	ァレンジしたり	い内容を募集	し、選定のうえ最大						
事業目的	児童生徒の持つ夢が叶うまでの過程を自らの力で考え実行実践すること 感の向上を図ると同時に、ふるさと美幌町への愛着心を高める	こで、子どもだ	たちの自主自	立の精神や自己肯定						
事業の対象	町内在住の11歳~18歳までの児童生徒									
実施結果	【実施結果】 13名の応募があり、結果3名のチャレンジを採択し、滞りなく実施する	ことができた								
現状と課題										
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
事業費 (千円)	0	0	0	914	927	927
国支出金	-	_	0	0	0	0
道支出金	-	_	0	0	0	0
地方債	-	_	0	0	0	0
その他	_	_	0	700	700	700
一般財源	0	0	0	214	227	227
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費)(千円)	0	0	0	914	927	927
_	•	•	•	•	•	(目3.値)

		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07	7年度	令和08年度
指	本事	業を活用	し自らの夢を叶える	目標	人				3		3	3
指標	ため	の具体的	実践をした子どもの	実績	人				3			
1	数			達成率	%				100			
指				目標								
指 標 2				実績 達成率								
					%							
指				目標								
指 標 3				実績								
3				達成率	%							
	項目	l	評価の視点		評	呼価			理由			
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で、今やる				<u> </u>	2当	将来の夢に挑戦する子どもたちを直接支援できる取組であり、					対組であり、町
	Х —	-	うかを評価する。			の人材育成方針にも合致しており、妥当で						
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	喜	売し い	_)チャレンジに[
	13773		評価する。			<u> </u>						
	効率	生	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	膏	うしい						
			費は適正かを評価する。	TO 15 6# 14		<u>د د د د د د د د د د د د د د د د د د د </u>		が及んでいる。	ことを勘案する	と現行の	り経費に	送当と評価で
			0 ,,,,,,	現状維持		縮小	C	休止・廃止			曺	平価結果
次年	ı# Λ	事業	現状のまま維持する。	ことか週当り	ごめる	0				ŀ		
	-	子水										
取組の方 向性・改 ○ 拡充 ● 現状維持					0	縮小	C) 皆減			-	D.11.44.1+
善内			現状のまま維持する。	20 P 11 E 1 1				1 1/94			ţ	見状維持
		予算				_		予算反映額	0	千円		
								(概 算)				
今:	後の改	養点	採択者に対する支援を					オローが十分で	でないと考えら	れるため)、意欲	で低下させな
い実施の方法やフォローアップ体制の充実を図る。												

1. 事業内容

事務事業名	未来のアーティスト応援事業	課・グループ	名 社:	会教育課	文化振興グループ
争伤争未有	木木のナーナイスト心抜争未	評価者名	教:	育部長	中尾 亘
基本目標	O 5 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり	款	10	教育費	Ę
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	04 芸術、文化の振興	予 項	04	社会教	枚育費
	0 1 芸術文化活動の促進	_	02		対育振興費
画 施策(小)	0 1 芸術や文化活動団体の育成、援助	大事業			アーティスト応援
事業期間	終期未定	中事業	01	未来0	アーティスト応援
要求区分	継続 <mark>町長重点政策</mark> C	<u> </u>			_
根拠法令等			経費	区分	政策的経費
事業概要	芸術文化活動において高い技術と感性を有する高等学校卒業までの 一部を補助することにより、本町の文化振興を担う人材を育成する。 【政策的経費】	青少年に、₫	È道、全	全国及び	国際大会出場経費の
事業目的	芸術文化活動に係わる青少年への支援により文化振興を図る。				
事業の対象	町民				
実施結果	【実施結果】 全道大会補助2件、全国大会補助を6件計18名に対し1,240千円の補助を 軽減を行うことができ、コンクールに挑戦することで、それそれの技				
現状と課題	【現状と課題】				
	補助について活用が増えてきていること、宿泊費等が高騰しているこ	とから、補助	力を必要	要として	いる万へアブローチ
	出来るよう予算額の増並びに基準の見直しを検討したい。				
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお <mark>進捗度3又は</mark> - 左の具体的な 内容				

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	•	令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
Г	事業費(千円)	862	1, 119	1, 000	1, 239	1, 500	1, 500
	国支出金	0	0	0	0	0	0
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	800	800	1, 000	1, 000
	一般財源	862	1, 119	200	439	500	500
	人件費(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
	計(事業費+人件費) (千円)	862	1, 119	1, 000	1, 239	1, 500	1, 500
							(目17 体)

3. 評	評価										(Jul. 11)
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
th	補助	件数		目標	件		10	10	10	10	10
指 標				実績	件		8	8	8		
i i				達成率	%		80	80	80		
指				目標							
指標	票			実績							
2	2			達成率	%						
指	指			目標							
標	<mark>指</mark> 標			実績							
3				達成率	%						
	項目		評価の視点		評	評価 理由					
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で			今やるべきかど	77	:当	今後σ	美幌町の文化	を支える青少年	の育成の取り	組みとして役割
	女コリ	I	うかを評価する。	<u> </u>			をはた	:している。			
	有効性	生	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	高い 補助金を支出し、コンクールに出場する機会を応援する				援する現状の形		
	H WIT	т	評価する。		「「」が適当である。						
	効率性	4	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	か、現行の経 高い 現状として、補助の対象項目・対象者につ			と者について適	正である。		
	797 — 1	<u> </u>	費は適正かを評価する。			•					
			· ,,,,,,	現状維持		縮小	C	<u> </u>			評価結果
		事業	目標件数に達している								at images
次年	~ ' '	争未	だけるよう、継続的に		5必要	があると	ともに、	申請希望を受け	けた時点で丁寧	な説明	
取組(も続けて取り組んでし			を		EE 2 21			
向性 善内3			■ 拡充 O 宿泊・交通費の高騰	現状維持		縮小	<u>C</u> E々たけ				拡充
告內		予算	旭石・文通真の高騰 めていく目的より拡			主 9 つノ	コペをル	予算反映額	500	500千円	
				1. C. 20 SC :	, .O.			(概 算)	300	''''	
Δ.	後の計	羊占	SNS等も活用した周知	を行い、利	用を仮	進して	いく。				
今後の改善点 今後の改善点 3NO等も活用した同知を行い、利用を促進していて。											

1. 事業内容

事務事業名	スポーツ団体育成助成事業	課・ク	グループ名	スオ	゚゚ーツ振	興課スポーツ振興グルー
尹仂尹未石	スポープ団体自成功成争未	評(価 者 名	教育	子子 子子	中尾 亘
総 基本目標	05 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり		款	10	教育費	t
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)		予	項	05	保健体	本 育費
		予 算 科	目	01	1-1-12-11	本育総務費
画 施策(小)		-	大事業	01		- ツ推進事業
事業期間			中事業	02	スポー	-ツ団体育成助成事
要求区分	継続					
根拠法令等				経費	区分	政策的経費
事業概要	本町のスポーツ振興のためにスポーツ協会、スポーツクラブBeet等限れるスポーツ合宿に対する補助を行い、スポーツ団体の競技力の向上を			援を	·行う。	また、本町で開催さ
事業目的	団体の自立運営、強化及び合宿による競技力向上、町内経済への効果。					
事業の対象	スポーツ団体					
実施結果	【実施結果】 団体との連絡調整、情報の共有。					
現状と課題	【現状と課題】 青少年の優秀な活躍や活動を支えるため、選手・指導者における大会参	· 参加へ	・の負担を		するこ	ک 。
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況					

2. 年度別事業費

(単位:千円)

	1 200 1 1 1 1 1 1 1								
				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
=	事業費 (千円)			3, 076	4, 424	5, 063	4, 346	4, 946	4, 946
	国支出金			0	0	0	0	0	1
	道支出金			0	0	0	0	0	1
	地方債			0	0	0	0	0	_
	その他			0	0	0	0	0	_
	一般財源			3, 076	4, 424	5, 063	4, 346	4, 946	4, 946
	人件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	十(事業費+人件費)		(千円)	3, 076	4, 424	5, 063	4, 346	4, 946	4, 946

3. 評	严価										(元之祖/
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年月	令和08年度
培	補助	団体数		目標	団体		3	3	3		3 3
指 標				実績	団体		3	4	5		
1				達成率	%		100	133. 33	166. 67		
指				目標							
指 標 2				実績							
				達成率	%						
指 標 3				目標							
標	<mark> </mark>			実績							
3				達成率	%	-					
	項目		評価の視点	į	評価 理由						
	妥当性 目的や現状及び課題から、町で			今やるべきかど	<u> 7</u>	2当	スポー	-ツ活動を普及	振興を図るた	:めには、各	種スポーツ団体と
	х –	<u> </u>	うかを評価する。					・支援が不可定			
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が	適切かどうかを	信	まし					とスポーツ活動の
		·	評価する。					に繋がること			
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい	るか、現行の経	高	引い			スポーツ団体と	連携し行う	ことにより適正な
			費は適正かを評価する。	TD-115 //4-14		/ 台 . L		:なっている。			
			0 ,,,,,,	<u>現状維持</u>		縮小	<u>0</u>	FI-32 7032			評価結果
次年	_曲 の	事業	スポーツ団体の活動	を維持継続	りるに	♥)/用助員	手来を継	統する。			
取組		1.26									
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	皆減			1111-144-14
善内			現状どおりに事業を	推進するため	カの予:	算を維持	<u> </u>				現状維持
		予算						予算反映額	i c	千円	
								(概 算)			
今	後の改	Z善点	指導者資格取得補助	事業の活用技	広大						

1. 事業内容

事務事業名	未来のアスリート応援事業	課・グループ名 スポーツ振興課スポーツ振興グルー								
尹仍尹未石	本本のテスケード心坂事未	į	評価者名	教育	育部長 中尾	亘				
※ 基本目標	O 5 夢を育む体験!あたたかい人をつくるまちづくり		款	10	教育費					
総 基本目標 合 施策(大) 計 施策(中)	05 スポーツの振興	予算	項	05	保健体育費					
計 施策(中)	03 スポーツ活動の促進	_ _ 科	目	01	保健体育総	務費				
画 施策(小)		B	大事業	03		リート応援事				
事業期間	終期未定		中事業	01	未来のアス	リート応援事				
要求区分	<mark>継続 町長重点政策</mark> ○)								
根拠法令等				経費	<mark>区分</mark>	政策的経費				
事業概要	本町の更なるスポーツ振興のため、頑張る未来のアスリートを応援 向上に寄与するとともに、スポーツ競技への意欲と各個の競技力を向。				域愛の醸成り	や町民満足度の				
事業目的	競技力の向上及びスポーツ振興。									
事業の対象	町民									
実施結果	【実施結果】 全国・全道レベルで活動する選手や指導者に対して、経済的負担の軽減	咸を	図ることか	バでき	: t= .					
現状と課題										
事業進捗度	2 予定どおりに進んでお り、順調な進捗状況									

2. 年度別事業費

(単位:千円)

				令和04年度決算	令和05年度決算	令和06年度予算	令和06年度決算	令和07年度予算	令和08年度予算
틬	事業費(千円)			6, 750	7, 291	7, 000	8, 279	8, 500	8, 500
	国支出金			0	0	0	0	0	_
	道支出金			0	0	0	0	0	_
	地方債			0	0	0	0	0	-
	その他			920	750	3, 600	4, 095	6, 700	_
	一般財源			5, 830	6, 541	3, 400	4, 184	1, 800	8, 500
	件費		(千円)	0	0	0	0	0	0
	(1人当たり給与費	千円)	(人工)	0	0	0	0	0	0
言	†(事業費+人件費)		(千円)	6, 750	7, 291	7, 000	8, 279	8, 500	8, 500

(見込値)

3. 評	価										
		指	標名		単位	令和0	4年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
塢	全国	・全道大	会等派遣補助団体数	目標	団体		25	25	25	2	25 25
指 標 1				実績	団体]体 34		36	30		
Ï				達成率	%		136	144	120		
指	育成	強化奨励	金補助件数	目標	人		19	19	19	1	9 19
指 標 2				実績	人		20	9	10		
2				達成率	%	1	05. 26	47. 37	52. 63		
指				目標							
指 標 3				実績							
3				達成率	%						
	項目 評価の社				評	評価 理由 理由					
	妥当	性	目的や現状及び課題から、町で、 うかを評価する。	今やるべきかど	끃	妥当 未来のアスリートを経済的な側面から支援する必要				必要がある。	
	有効	性	目標達成度から、手段や対象等が 評価する。	適切かどうかを	普	·通]な側面から支 :繋がる。	援することによ	り、競技への	の意欲と競技力の
	効率	性	費用と成果のバランスはとれてい 費は適正かを評価する。	るか、現行の経	高	高い 町が行うことにより、公平で適正な経費となる。)
			〇 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	休止・廃止			評価結果
次年原取組織	-	事業	未来のアスリートを	育成するため	かの経済	斉的なす	支援を継	続する。			ат шичиж
向性			O 拡充 ●	現状維持	0	縮小	0	皆減			TE 11: 6# ++
善内容		予算	現行制度を推進する			11H V		予算反映額 (概 算)	0)千円	現状維持
今後の改善点 強化指定区分等の見直しを図るため、美幌町育						可成強化	選手奨励金交付	寸要綱を改正す	る。		